

デジタルビデオ カメラレコーダー

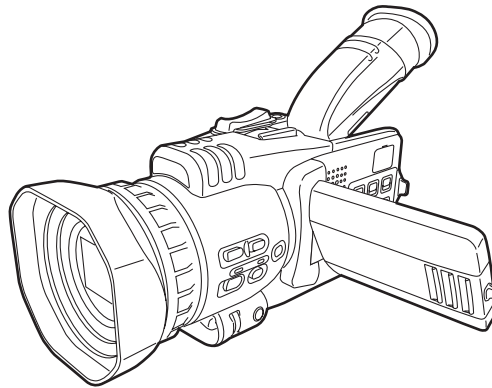
取扱説明書

品番 AG-DVC30

このたびは AG-DVC30 をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

Mini DV NTSC



保証書別添付

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

製造番号は、品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

本機で使用できるカセットは、Mini DV マークの付いたデジタルビデオカセットテープです。

著作権 (録画テープの取り扱い)

あなたがビデオで録画したテープは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用はできません。

上手に使って、上手に節電

ご使用後は、忘れずに電源スイッチを切ってください。

はじめに

各部の名称

備
準影
撮生
再集
編

画面の表示

メ
ニ
ュー

Q & A

そ
の
他

目次

はじめに

安全上のご注意	4
まずお読みください!	10
使用上のご注意	11
保管上のご注意	13
付属品	14
システム動作の確認	15
準備する	15
電源コードを接続する	15
カセットテープを入れる	16
電源を入れる	16
撮影する	17
撮影した内容を確認する(レックチェック)	17
テープを取り出す	18
電源を切る	18
電源コードを外す	18
グリップベルトの調節	19
ハンドルの取り付け	19
大型アイキャップの取り付け	19
ショルダーベルトの取り付け	20
レンズフード	21
カセットテープについて	21

各部の名称

カメラレコーダー本体	22
ワイヤレスリモコン	25

準備

バッテリーについて	26
充電する	26
取り付け	27
取り外す	27
リモコンについて	28
電池を入れる	28
リモコンの設定	28
ファインダーについて	29
ビューファインダーを使う	29
液晶モニターを使う	29
画面表示を調整する	30
メニュー画面の表示を英文にする	31
タイムデータについて	32
カレンダーを合わせる	32
内蔵電池の充電	33
ユーザーズビットを設定する	34
タイムコードを設定する	36
タイムコードを指定する	36

撮影

通常の撮影	38
準備と点検	38
撮影する	38
目的に合わせて撮影する	39
ローアングル撮影	39
撮影した場面を探す(イメージサーチ)	39
ズーム機能	39
対面撮影	40
タイムスタンプ記録	40
高感度(SNS)撮影	40
手ぶれ補正機能	41
ウィンドノイズリダクション	41
映画感覚の撮影	41
フォトショット	42
カラーバー	42
ゼブラパターン	42
マーカー	42
フィールド撮影とフレーム撮影	43
コマ撮り撮影	43
映像サイズを変える	43
USER ボタンの活用	44
ワンプッシュズーム機能	44
逆光補正機能	44
AEロック機能	44
インデックス記録	44
バックアップ記録	45
マニュアルモードへの切り替え	45
フォーカス(ピント合わせ)	45
シャッタースピード調整、絞り調整、ゲイン調整	46
シャッタースピード調整	46
絞り調整とゲイン調整	47
ホワイトバランス調整	48
オートホワイトバランス	48
ホワイトバランスの設定	48
ホワイトバランスの手動調整	49
オーディオレベルの調整	50
マイク入力の音声レベル調整	50
ヘッドホンの音量調整	51

再生

通常の再生	52
テープを再生する	52
音量を調整する	53
テレビに接続して見る	53
撮影日時を確認する	53
変速再生	54
スロー再生	54
静止画再生	54
コマ送り再生	54
早送り再生/巻き戻し再生	54
サーチ機能	55
可変速サーチ	55
ブランクサーチ	55
インデックスサーチ	56
カウンター	57
カウンター表示	57
カウンターメモリー機能	57

編集

外部機器の接続	58
ヘッドホン	58
デジタルビデオ機器	58
テレビ	59
ビデオデッキ	59
外部マイク (ピンジャック対応)	60
外部マイク (XLR 対応)	60
アフレコ	61
ダビング	63
アナログ入力	63
アナログ出力	64
デジタル入出力	65

画面の表示

画面の表示	66
CAMERA モードと VCR モードでの表示	66
VCR モードだけの表示	69
警告表示	69
MODE CHK ボタンで表示	70
表示モード項目の設定	70

メニュー

メニューの操作	71
メニューモードにする	71
メイン項目を選ぶ	72
サブ項目を選ぶ	72
設定値を決める	73
他のサブ項目を設定する	74
メイン項目の画面に戻る	74
他のメイン項目を設定する	74
メニューモードを解除する	74
メニュー画面の表示を英文にする	74
メニューの設定を初期化する	74
メニューの構成	75
CAMERA モードのメニュー	75
VCR モードのメニュー	76
シーンファイル (SCENE FILE) 画面	77
カメラキノウ (CAMERA SETUP) 画面	77
再生キノウ (PLAYBACK FUNCTION) 画面	78
スイッチモード (SW MODE) 画面	79
記録設定 (RECORDING SETUP) 画面	80
AV 入出力設定 (AV IN/OUT SETUP) 画面	82
表示設定 (DISPLAY SETUP) 画面	82
ソノタ設定 (OTHER FUNCTIONS) 画面	83

Q & A

故障?と思ったら (Q & A)	85
電源関係	85
バッテリー関係	85
通常記録時	85
いろいろな録画時	86
編集関係	86
表示関係	86
再生関係 (画像)	86
再生関係 (音声)	87
その他	87

その他

結露	88
タリーランプ	88
システムリセット	88
ビデオヘッド	89
お手入れについて	89
保証とアフターサービス	90
定格	91




● LEICA/ライカは、ライカマイクロシステム IRGmbH の登録商標です。
 ● DICOMAR/ディコマーは、ライカカメラ AG の登録商標です。
 その他、この説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

安全上のご注意




必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

危険

バッテリーを分解・加工（はんだ付けなど）・加圧・加熱・火中投入などをしない



液漏れ・発熱・発火・破裂につながります。

禁止

- 不要（寿命）になったバッテリーについては、12 ページを参照してください。

バッテリーの端子部（ \oplus と \ominus ）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない



液漏れ・発熱・発火・破裂につながります。

禁止

- ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。

バッテリーの充電は、専用の充電器を使う



機器の形状が同じでも性能が異なると、バッテリーの液漏れ・発熱・発火・破裂につながります。

- バッテリーを指定以外の機器に使わないでください。













バッテリーを炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない



液漏れ・発熱・発火・破裂につながります。

禁止

警告

<p>不安定な場所に置かない</p> <p> 落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。</p> <p>禁止</p>	<p>ACコードや接続コードに重いものを載せない</p> <p> 本機の下敷きにならないよう注意してください。 コードが傷ついて、火災や感電の原因になります。</p> <p>禁止</p>
<p>付属品・オプションは、指定の製品を使用する</p> <p> 本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。</p>	<p>機器の開口部から異物を差し込んだり、落とし込んだりしない</p> <p> 火災や感電の原因になります。</p> <p>禁止</p>
<p>本機を改造しない</p> <p> 火災や感電の原因になります。</p> <p>分解禁止</p>	<p>水場で使用しない</p> <p> 火災や感電の原因になります。</p> <p>水場使用禁止</p>
<p>機器が濡れたり、水が入らないようにする</p> <p> 火災や感電の原因になります。 雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。</p>	<p>ACコード・電源プラグが破損するようなことはしない 傷つけたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない</p> <p> 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。</p> <p>禁止</p>
<p>指定のカバー以外は外さない</p> <p> 感電の原因になります。</p> <p>分解禁止</p> <ul style="list-style-type: none">点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。	<p> 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。</p> <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none">コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。
<p>表示された電源電圧以外は使用しない</p> <p> 火災や感電の原因になります。</p> <p>禁止</p>	<p>定格出力以上の負荷をとらない</p> <p> 火災の原因になります。</p> <p>禁止</p>

警告

電源プラグは、根元まで確実に差し込む



火災や感電の原因になります。傷んだプラグやゆるんだコンセントのまま使用しないでください。

ACコードが傷んだ場合は、交換を依頼する



そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- お買い上げの販売店にご相談ください。

本機を落としたり破損した場合や、内部に異物や水などが入った場合は、電源を切り、バッテリーを外す



そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- お買い上げの販売店にご相談ください。

本機を落としたり破損した場合や、内部に異物や水などが入った場合は、電源を切り、電源（プラグ）を抜く



そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

電源プラグを抜く

- お買い上げの販売店にご相談ください。

煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、電源を切り、バッテリーを外す



そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、電源を切り、電源（プラグ）を抜く



そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

電源プラグを抜く

- お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

機器使用の乾電池/バッテリーを、お子さまの手の届く所に置かない！



電池は、お子さまの手の届かないところに置く。

禁止

- 万一、飲み込んだ場合は、医師に相談してください。

乾電池やバッテリーは、極性（+、-）を正しくつなぐ



破裂や液漏れにより、火災やけが、周囲の汚染原因になります。

⚠ 注意

ACコードを熱器具に近づけない



禁止

コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になる恐れがあります。

油煙や湯気、湿気やほこりの多い場所に置かない



禁止

火災や感電の原因になる恐れがあります。

本機の通風孔をふさがない



禁止

内部に熱がこもり、火災の原因になる恐れがあります。

- 風通しの悪い所に押し込まないでください。
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください。

プラグやコネクターを抜くときは、コードを引っ張らない



禁止

コードが傷つき、火災や感電の原因になる恐れがあります。

- 必ずプラグやコネクターを持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグやコネクターに触れない



禁止

感電の原因になる恐れがあります。

カセットテープ挿入口に、指をはさまれないように注意する



指に注意

けがをする恐れがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグを抜く

火災の原因になる恐れがあります。

移動させる場合は、電源を切り、プラグを抜き、外部の接続コードを外す



コードが傷つき、火災や感電の原因になる恐れがあります。

長時間使用しないときは、バッテリーを外す



火災の原因になる恐れがあります。










運転中や歩行中は、操作や鑑賞をしない



禁止

操作や鑑賞をする場合、必ず車を停止させて行ってください。事故の原因になります。

⚠ 注意

<p>専用の AC アダプター以外は使用しない</p> <p> 定格外の AC アダプターを使用すると、火災の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>雷が鳴り出したら、本機の金属部や AC アダプターなどの電源プラグにふれない</p> <p> 落雷すると、感電につながります。</p> <p>接触禁止</p>
<p>使用時は、安定した場所と、十分な体勢を確保する</p> <p> けがや事故につながる恐れがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>不安定な場所で、三脚を使わない</p> <p> 倒れると、けがをする恐れがあります。</p> <p>禁止</p>
<p>コードやショルダーベルトを下にたたらさない</p> <p> 触れたり、引っ掛けたりすると、落ちてけがをする恐れがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>バッテリー（パック）を充電しているときは、周囲に燃えやすいものを置かない</p> <p> 火災や感電の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁止</p>
<p>レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けたままにしない</p> <p> 集光により、内部部品破損の原因となり、破損したまま使うと、ショートや絶縁不良で発熱し、火災のおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>高温になるところに放置しない</p> <p> 特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約 60℃以上）になります。カセットテープやカメラレコーダーを絶対に放置しないでください。外装ケースが変形するだけでなく、内部部品も破損し、故障の原因となります。</p> <p>そのまま使うと、ショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電のおそれがあります。</p>
<p>飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う</p> <p> 本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を及ぼすおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none">● 病院などで使うときも、病院の指示に従ってください。	

⚠ 注意

お手入れの際は、電源を切り、電源（プラグ）を抜く



火災や感電の原因になる恐れがあります。

電源プラグ
を抜く

お手入れの際は、電源を切り、バッテリーを外す



火災や感電の原因になる恐れがあります。

1年に1度ぐらいは、販売店に内部の掃除の相談をしてください



本機の内部にほこりがたまったまま、使用すると、火災や故障の原因になる恐れがあります。

指定外の乾電池やバッテリーは、使用しない



破裂や液漏れにより、火災やけがの原因になる恐れがあります。

禁止

ボタン電池の \oplus ・ \ominus 部に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない



接触すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。

禁止

- ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。

IRライトが点灯しているときは、IRライトを直接見ない



IRライトが点灯しているときは、赤外線領域の光が照射されています。

禁止

IRライトを直接見ると、目を痛める恐れがあります。

まずお読みください！

事前に必ず、試し撮りをしてください

大切な録画（結婚式など）の場合は、必ず事前に試し撮りし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

特に「特殊効果」や「逆光補正」をご使用の際は、設定をご確認ください。

記録内容の補償はできません

本機およびカセット（テープ）の不具合で撮影（録画など）や録音されなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

著作権にお気を付けください

あなたが撮影（録画など）や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気を付けください。

本書内のイラストについて

- 本書内の製品姿図・イラスト・メニュー画面などは実物と多少異なりますが、ご了承ください。
- カメラレコーダー本体と同じ操作をリモコンのボタン操作で行える場合は、リモコンのイラストを並記して示しています。

参照ページについて

参照していただくページは、(P00) で示しています。

使用できるカセットテープ

本機で使用できるカセットテープは、Mini DV マークの付いたデジタルビデオカセットテープです。

使用上のご注意

雨天、降雪中、海岸などで使うときは、カメラレコーダーに水が入らないようご注意ください。

- カメラレコーダーやカセットの故障につながります。(修理できなくなることがあります。)

磁気を発生する機器（テレビ、テレビゲームなど）からカメラレコーダーを遠ざけてください。

- テレビの上やその周辺でカメラレコーダーを使用すると、電磁波の放射により画像や音声にひずみが生じることがあります。
- スピーカーや大型モーターが発生する強力な磁場は、テープ録画を破損したり、画像をゆがめることがあります。
- マイクロコンピュータから放出される電磁波は、カメラレコーダーに悪影響を及ぼし画像や音声にひずみを生じさせることがあります。
- 磁気を発生する機器によりカメラレコーダーが悪影響を受け、正確に動作しなくなった場合は、カメラレコーダーの電源を切り、バッテリーを外すか、ACアダプターをコンセントから抜きます。そしてもう一度バッテリーを入れるか、ACアダプターを接続します。その後カメラレコーダーの電源を入れます。

カメラレコーダーをラジオ送信機や高電圧機器の近くで使用しないでください。

- ラジオ送信機や高電圧機器の近くで使用すると、記録した画像や音に悪影響が出るおそれがあります。

海岸などで使用する場合、砂やほこりがカメラレコーダーに入らないようご注意ください。

- 砂やほこりでカメラレコーダーやカセットが破損することがあります。(カセットを出し入れするときにはご注意ください。)

ACアダプターとバッテリーについて

- バッテリー本体の温度が極端に高かったり低かったりするとき、もしくはバッテリーが長期間使用されず放電したままになっているとき、[CHARGE] ランプが数回点滅し、充電が自動的に始まります。
- バッテリーが適温でも [CHARGE] ランプが点滅し続けるときは、バッテリーか AC アダプターに故障が起きている可能性がありますので、販売店にご相談ください。

- バッテリーが温かいとき、充電時間は通常より長くかかります。
- AC アダプターをラジオの近くで使用すると、ラジオの音がひずむ場合があります。ACアダプターとラジオは 1m 以上離してお使いください。
- AC アダプターの使用中に、ノイズ音が出る場合がありますが、故障ではありません。

カメラレコーダーを持ち運ぶときは、落とさないようご注意ください。

- 強い衝撃でカメラレコーダー本体が破損し、正しく動作しなくなることがあります。
- カメラレコーダーを持ち運ぶときは、グリップベルトやハンドル、または、ショルダーベルトを持って、ていねいに取り扱いってください。

カメラレコーダーに殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。

- 殺虫剤や揮発性のものがかかると、カメラレコーダー本体が変形したり、塗装がはげるおそれがあります。
- カメラレコーダーは、ゴム製品やビニール製品に長期間接触させたままにしないでください。

使用後は、必ずカセットを取り出し、バッテリーを外すか、ACコードをコンセントから抜いておきます。

- カセットを入れたままにしておくと、テープがたるみ、テープをいためます。
- 長期間バッテリーをカメラレコーダーに付けておくと、バッテリーの電圧値が下がらずに、バッテリーは、充電しても再使用できなくなります。

使用上のご注意 (つづき)

バッテリーの特性について

このバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。内部の化学反応で電気エネルギーを発生しています。この化学反応は周囲の温度や湿度の影響を受けやすく、バッテリーの有効使用時間は温度が高くなる、または、低くなるほど短くなります。極端に温度が低い環境で使用した場合は、たった5分ほどしかもちません。

バッテリーが極端に高温になると、保護機能が働き、しばらく使用できなくなります。

使い終わったら、必ずバッテリーを外してください。

カメラレコーダーからバッテリーを確実に外してください。(付けたままにしておくと、カメラレコーダーの電源が切れていても、微量電流が消費されてしまいます。) 長期間バッテリーを付けたままにしておくと、過放電になり、充電しても使用できなくなるおそれがあります。

使用できなくなったバッテリーを処理するとき

- バッテリーには、寿命があります。
不要になった電池(バッテリー)は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

バッテリーの端子部を保護してください。

バッテリーの端子部にほこりや異物が付かないようにしてください。

また、バッテリーを誤って落下させてしまった場合、バッテリー本体と端子部が変形していないか確認してください。

変形したバッテリーをカメラレコーダーに入れたり、ACアダプターに付けると、カメラレコーダーやACアダプター側を傷めることがあります。

液晶について

- 液晶モニターやビューファインダーに、同じ映像や文字が長時間表示されたまま放置されると、画面に映像の焼き付きが生じることがありますが、数時間電源をOFFにしておくと、元に戻ります。
- 液晶部は、精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。これは故障ではなく、記録された映像に何ら影響を与えるものではありません。
- 温度差が激しいところでは、液晶モニターの液晶部に露がつくことがあります。そのような場合は柔らかい乾いた布で拭いてください。
- カメラレコーダが冷え切っている場合、電源を入れた直後は、液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

レンズやビューファインダーは、太陽に向けないでください。

内部の部品が破損するおそれがあります。

端子の保護キャップについて

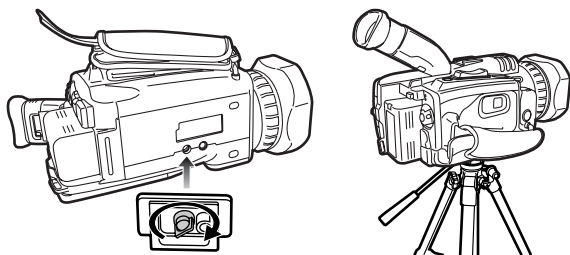
使用しない接続端子には、保護キャップを取り付けておいてください。

IRライトが点灯しているときは、IRライトを直接見ないでください

IRライトが点灯しているときは、赤外線領域の光が照射されています。

IRライトを直接見ると、目を痛める恐れがあります。

三脚に取り付ける



三脚のカメラ台
(1/4-20UNC タイプのネジ)

三脚取り付け穴の深さは、5.5mmです。本機を三脚に取り付けるときは、三脚のネジを無理に締め付けしないでください。また、1/4-20UNC タイプ以外のネジを使用すると、本機が破損する場合があります。

保管上のお願い

保管時は、カメラレコーダーからカセットを出し、バッテリーを外してください。

湿気が少なく比較的湿度が一定な場所にそれぞれ保管してください。

[推奨温度：15℃～25℃]

[推奨相対湿度：40%～60%]

カメラレコーダー

- ほこりが入らないよう、柔らかい布で包んでください。

バッテリー

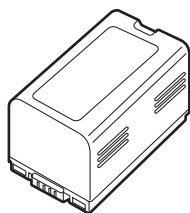
- 極端に低温、高温になる所では、バッテリーの寿命が短くなります。
- 油煙やほこりの多い所に保管すると、端子が錆びるなどして故障の原因となることがあります。
- **バッテリーの端子に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させないでください。端子間がショートし発熱することがあり、この状態で触れると大やけどをするおそれがあります。**
- バッテリーは放電した状態で保管してください。長期保管する場合、1年に1回は充電し、カメラレコーダーで充電容量を使いきってから再保管することをおすすめします。

カセットテープ

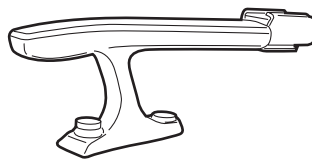
- テープは始端（巻き始め）まで巻き戻して保管してください。テープを途中で止めた状態で半年以上（保管状態により異なります）置いておくとテープがたるみます。必ず始端まで確実に巻き戻してください。
- もとのケースに入れ保管してください。ほこりや直射日光（紫外線）、湿気などはテープをいためることがあります。ほこりには堅い鉱物質の粒子も混じっており、カセットにはほこりが入るとカメラレコーダーのヘッドやその他の部品をいためてしまいます。必ずもとのケースに戻す習慣を付けてください。
- 半年に一度は巻き直しをしてください。テープを1年以上巻いたままにしておくと、温度や湿度の変化による膨張、収縮などでゆがみが起きることがあります。また、テープどうしが張り付いてしまうことがあります。
- 強い磁気を持つ物質や機器の近くにカセットを置かないでください。
- テープの表面には極めて細かな磁気粒子がコーティングされており、ここで信号を記録しています。磁気ネックレスやおもちゃなどは、思ったより磁気が強く、録画内容を消したり、画面や音声にノイズを発生させる原因となることがあります。

付属品

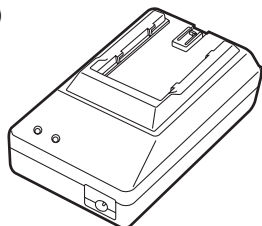
バッテリー (*)



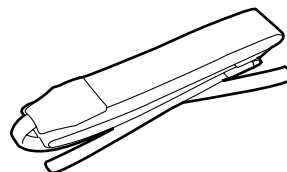
ハンドル
(VYH0312)



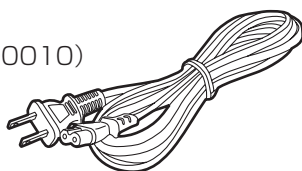
AC アダプター (*)



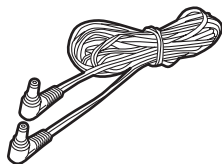
ショルダーベルト
(VFC3891)



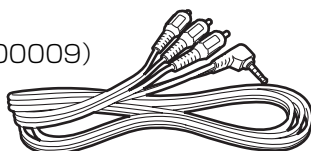
AC コード
(K2CA2DA00010)



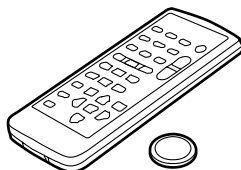
DC コード
(K2GJ2DC00002)



AV ケーブル
(K2KC4CB00009)



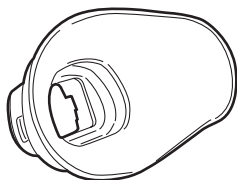
ワイヤレスリモコン
(VFA0402)



ボタン電池
(CR2025)



アイキャップ (大型)
(VMG1370)



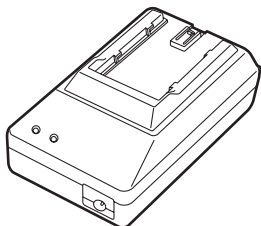
*:
「バッテリー」「AC アダプター」の品番につ
きましては、【別売周辺機器】の項目を参照
してください。(P92)

システム動作の確認

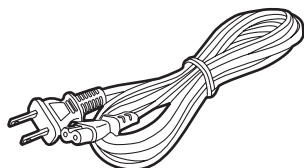
ご購入後、撮影を行う前に、システム動作の確認手順に従って操作を行い、本機が正常に動作することを確認してください。

準備する

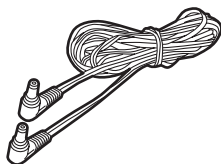
AC アダプター



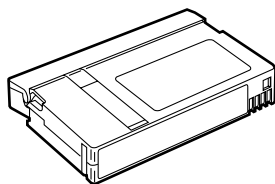
AC コード



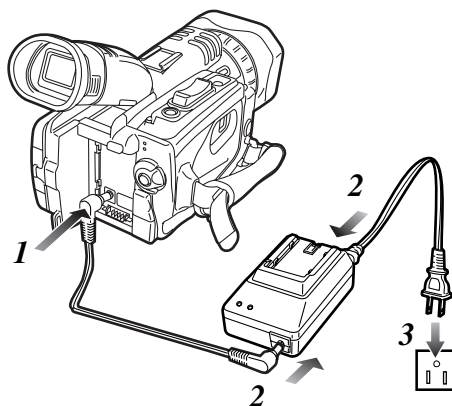
DC コード



ミニ DV カセットテープ



電源コードを接続する



- 1 DC コードを電源端子に接続します。
- 2 DC コードと AC コードを AC アダプターに接続します。
- 3 AC コードをコンセントに接続します。

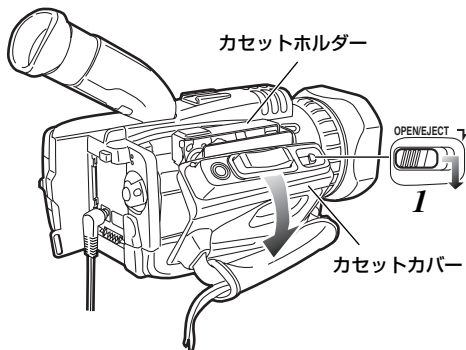
図のように正しく接続してください。

- AC アダプターからカメラレコーダー本体に電源を供給しているときは、バッテリーの充電を行うことができません。

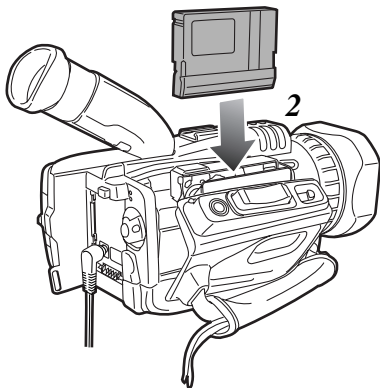
AC アダプターは、自動で全世界の電源電圧（100V、120V、220V、240V）、電源周波数（50Hz、60Hz）に切り替わるように設計されています。ただし、国によって電源コンセントの形状は異なります。その国に合ったプラグを準備してください。変換プラグはお買い上げの販売店にご相談のうえ、お求めください。

カセットテープを入れる

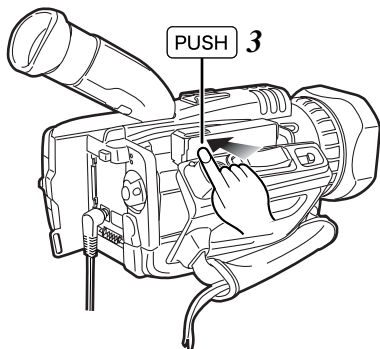
1 矢印の方向に OPEN/EJECT レバーをスライドさせて、カセットカバーを開きます。最後まで開くと、カセットホルダーが自動的に出てきます。



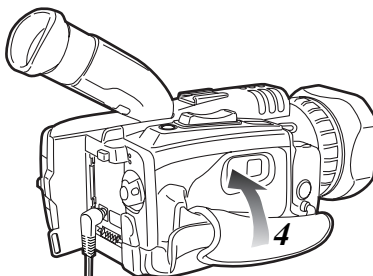
2 カセットテープを挿入します。



3 PUSH が表示されている部分を押し、カセットホルダーを閉じます。確実に閉じると、カセットホルダーが自動的に収納されます。

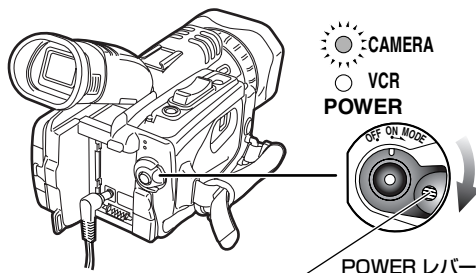


4 カセットカバーを閉じます。カセットホルダーが完全に収納されてから閉じてください。



- カセットカバー側だけを持って、テープの出し入れを行わないでください。カセットテープの出し入れは、安定した水平な場所に置いて行うか、カセットカバーが開いても、安定した状態が保てるように、両手で本機を支えながら行ってください。
- カセットホルダーが動作しているときに、カセットホルダーを無理に押し込まないでください。故障の原因になります。
- カセットカバーは、カセットホルダーが完全に収納されてから閉じてください。カセットホルダーが動作しているときに、カセットカバーを閉じると、故障の原因になります。

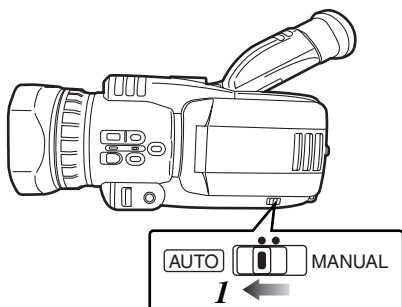
電源を入れる



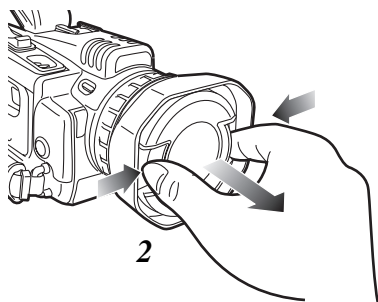
白いボタンを押さながら、ON の位置まで POWER レバーを回します。CAMERA (赤) ランプが点灯し、撮影の一時停止モードになります。

撮影する

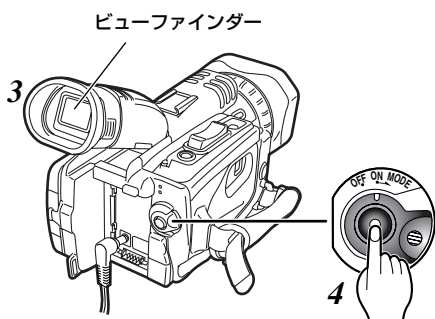
- 1 AUTO/MANUAL 切り替えスイッチを AUTO の位置にします。



- 2 レンズキャップの両側をつまんで、レンズキャップを外します。



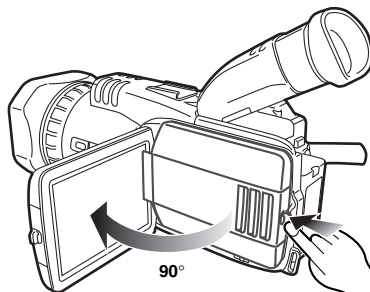
- 3 ビューファインダーで撮影する映像を確認します。



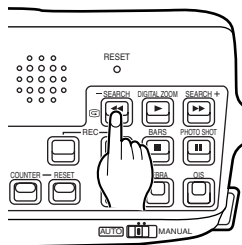
- 4 POWERレバーの START/STOP (赤) ボタンを押すと撮影を開始します。再度、このボタンを押すと撮影の一時停止モードに戻ります。

撮影した内容を確認する (レックチェック)

- 1 パネルロックボタンを押しながら、液晶モニターを開きます。開く角度は、90° までです。それ以上、無理に開くと、本機の故障につながります。



- 2 撮影の一時停止モードで ◀◀ ボタンをポンと押します。最後に撮影した部分を 2 ~ 3 秒間再生します。再生後は、撮影の一時停止モードに戻ります。



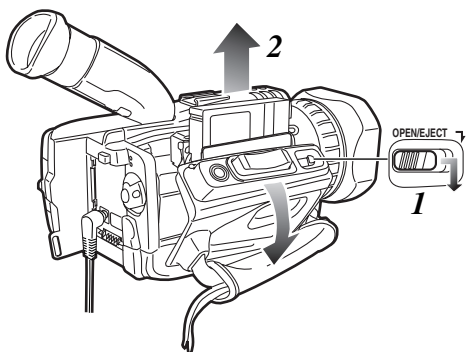
撮影の一時停止モードで ◀◀ ボタンを押したままにすると、イメージサーチ (P39) を行います。レックチェックを行うときは、◀◀ ボタンを押し続けないようにしてください。

テープ保護モードについて

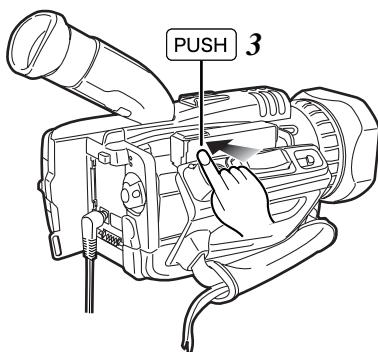
撮影一時停止の状態ですら、約 5 分が経過すると、自動的に本機はテープ保護モードになり、電源が切れます。メニューを操作 (P71 - P74) して、ソノタ設定画面のテープホゴ項目で「タイキ」を選択すると、テープ保護モードのときに電源を切らず、シリンダーヘッドを停止状態にすることができます。(P84)

テープを取り出す

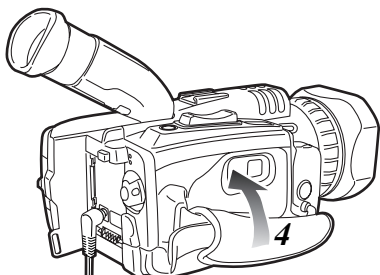
- 1 OPEN/EJECT レバーをスライドさせて、カセットカバーを開きます。最後まで開くと、カセットホルダーが自動的に出てきて開きます。



- 2 カセットテープを取り出します。
- 3 PUSH が表示されている部分を押し、カセットホルダーを閉じます。



- 4 カセットホルダーが完全に収納されてからカセットカバーを閉じます。



- カセットテープを取り出すときも、本機に電源がつながっていることを確認して、OPEN/EJECT レバーをスライドさせてください。
- カセットテープを取りだし後すぐに、再びカセットを挿入しない場合は、カセットカバーを閉めておいてください。
- 記録中は、この操作を行わないでください。カセットカバーは開きますが、記録を継続していますので、外部の光やホコリがテープに悪影響を及ぼします。

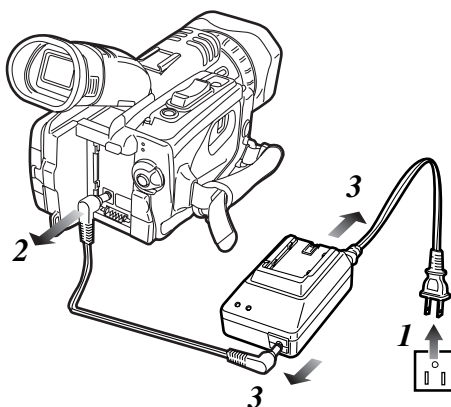
電源を切る

- CAMERA
 - VCR
- POWER



白いボタンを押さえながら、OFF の位置まで POWER レバーを回します。電源が切れて、CAMERA ランプが消灯します。

電源コードを外す

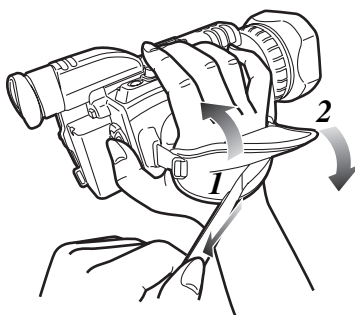


- 1 AC コードをコンセントから外します。
- 2 DC コードを電源端子から外します。
- 3 DC コードと AC コードを AC アダプターから外します。

グリップベルトの調節

グリップベルトを手の大きさに合わせて調節してください。

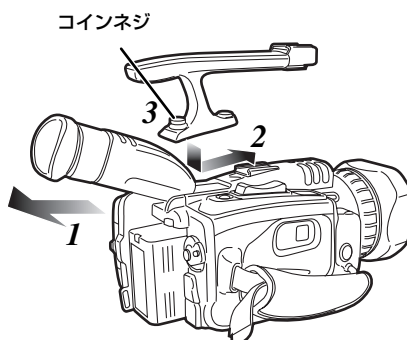
- 1 カバーを開き、ベルトの長さを調節します。
- 2 カバーを元に戻します。
 - しっかりとカバーを密着させてください。



ハンドルの取り付け

ハンドルを付けると、ローアングルの撮影を行うときや持ち運びに便利です。

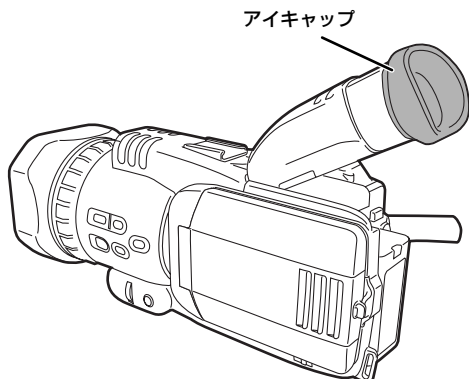
- 1 ビューファインダーを引き出します。
- 2 ハンドルをスライドさせて取り付けます。
- 3 コインネジを締めて、確実に固定します。
 - コインネジがゆるんでいると、ハンドルが外れて、カメラレコーダー本体が落下する恐れがあります。



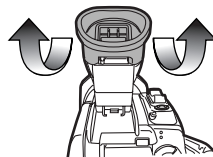
ハンドルを外すときは、まず、ビューファインダーを引き出し、コインネジを緩めてハンドルを外してください。

大型アイキャップの取り付け

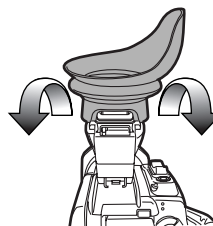
メガネをかけてビューファインダーを見るときや、周囲が明るすぎるときに大型アイキャップ（付属品）を付けると、ファインダー映像が見やすくなります。



- 1 標準で装備されているアイキャップを、めくるようにして矢印の方向に外します。



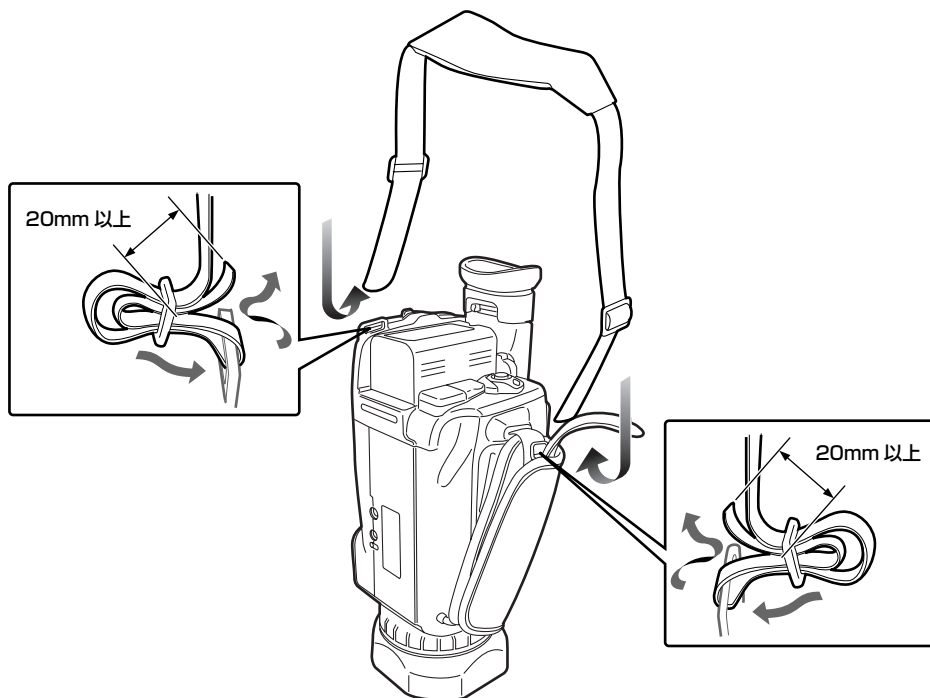
- 2 ビューファインダーに大型アイキャップをかぶせて、矢印の方向にはめ込みます。



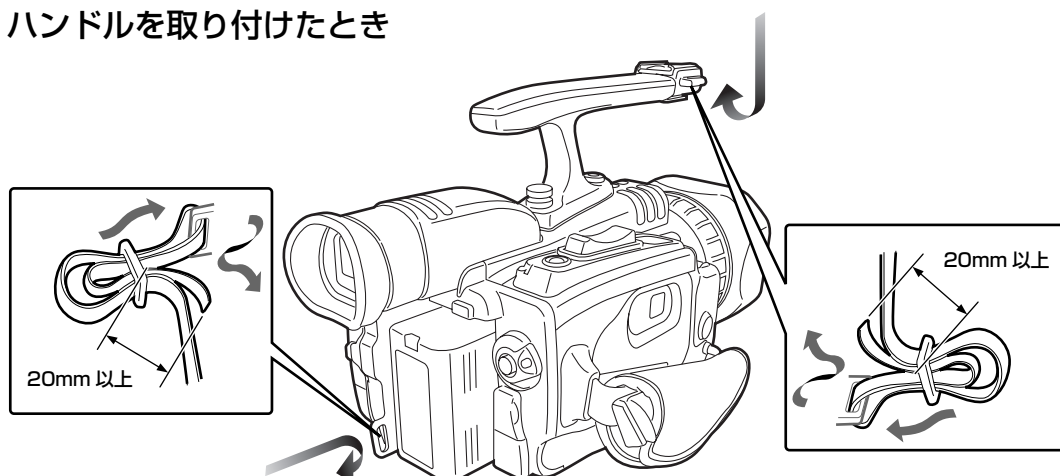
ショルダーベルトの取り付け

カメラレコーダーを落とさないように、ショルダーベルトを取り付けることをお奨めします。

ハンドルを取り付けないとき



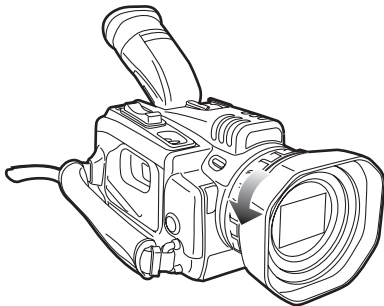
ハンドルを取り付けたとき



レンズフード

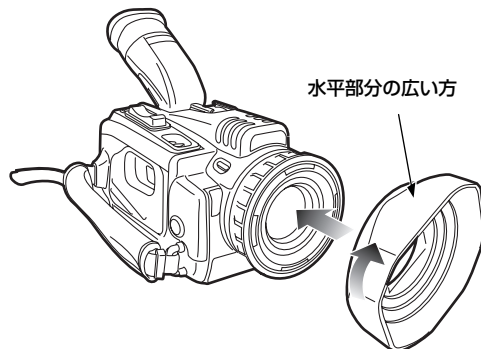
レンズフードを外す

- 反時計方向にレンズフードを回して外します。



レンズフードを取り付ける

- 水平部分の広い方が天面になるようにして、レンズフードをはめ込みます。
- 時計方向にレンズフードを回して取り付けます。



カセットテープについて

- 本機では、下記のミニ DV カセットテープの使用を推奨しています。

AY-DVM30 (SP モードで 30 分)

AY-DVM60 (SP モードで 60 分)

- LP モードで撮っても画質は悪くなりませんが、モザイク状のノイズなどが出たり、機能が制限される場合があります。

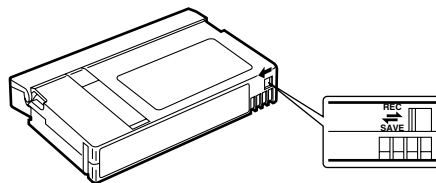
次のようなときにモザイク状のノイズが出たり、正常な再生ができない場合があります。

- 本機で LP モードで撮影したテープを、他のデジタルビデオ機器で再生する場合
- 他のデジタルビデオ機器で LP モードで撮影したテープを、本機で再生する場合
- 本機で LP モードで撮影したテープを、LP モードがないデジタルビデオ機器で再生する場合
- スロー／コマ送り再生をしている場合
- イメージサーチを行っている場合

- LP モードではテープ上のトラック幅がヘッド幅より狭いため、アフレコはできません。

誤消去を防ぐには

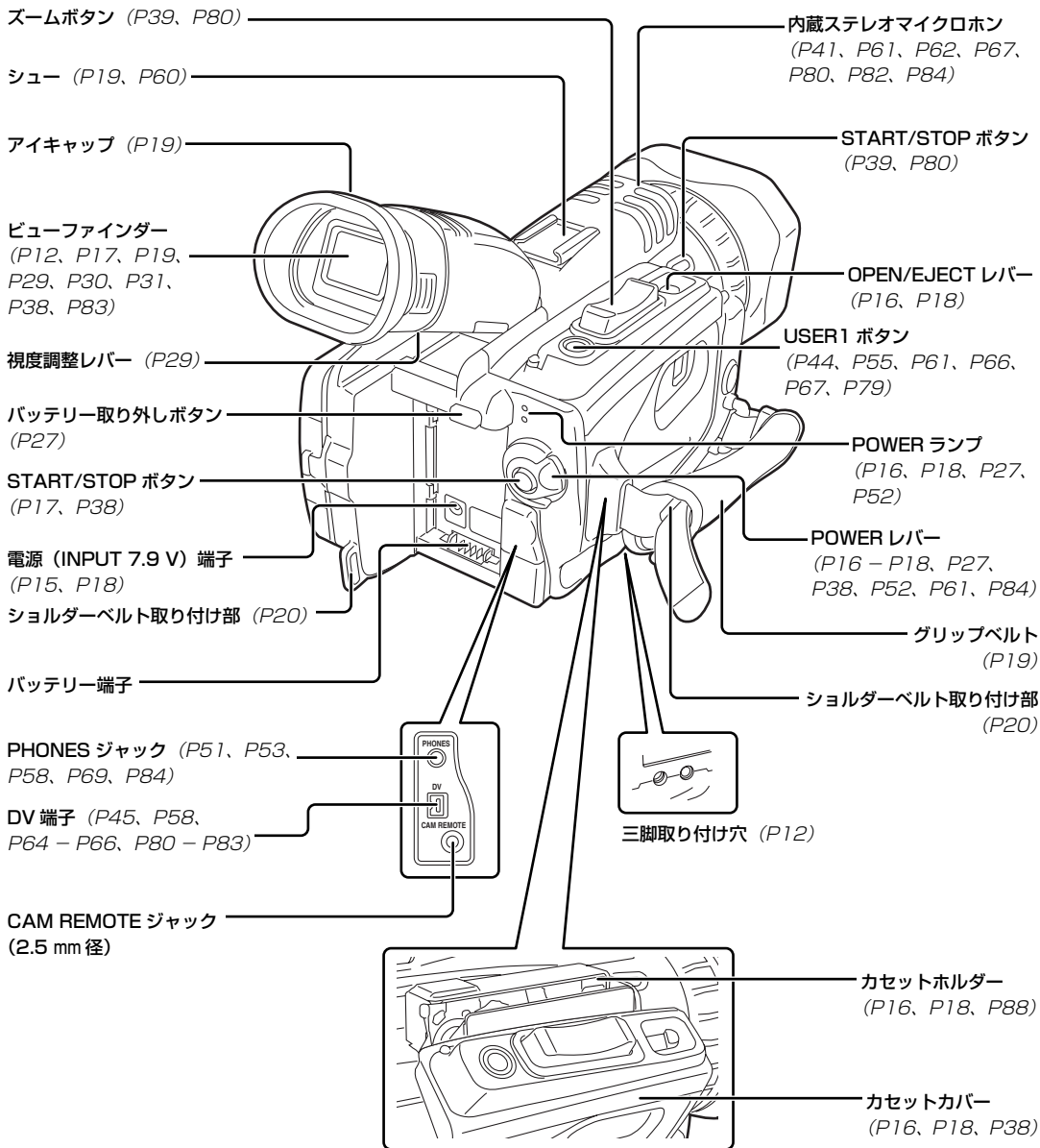
テープの記録内容を誤って消してしまうのを防ぐには、カセットのツメを「SAVE」側にします。



各部の名称

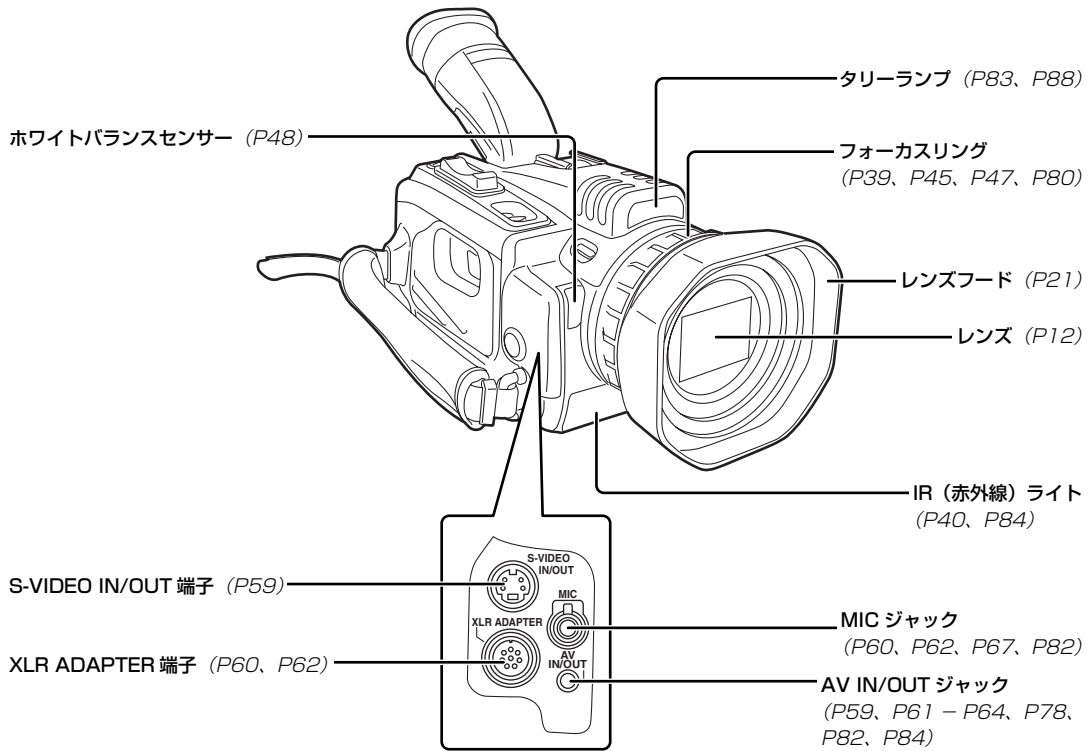
詳しくは、それぞれのページをお読みください。

カメラレコーダー本体



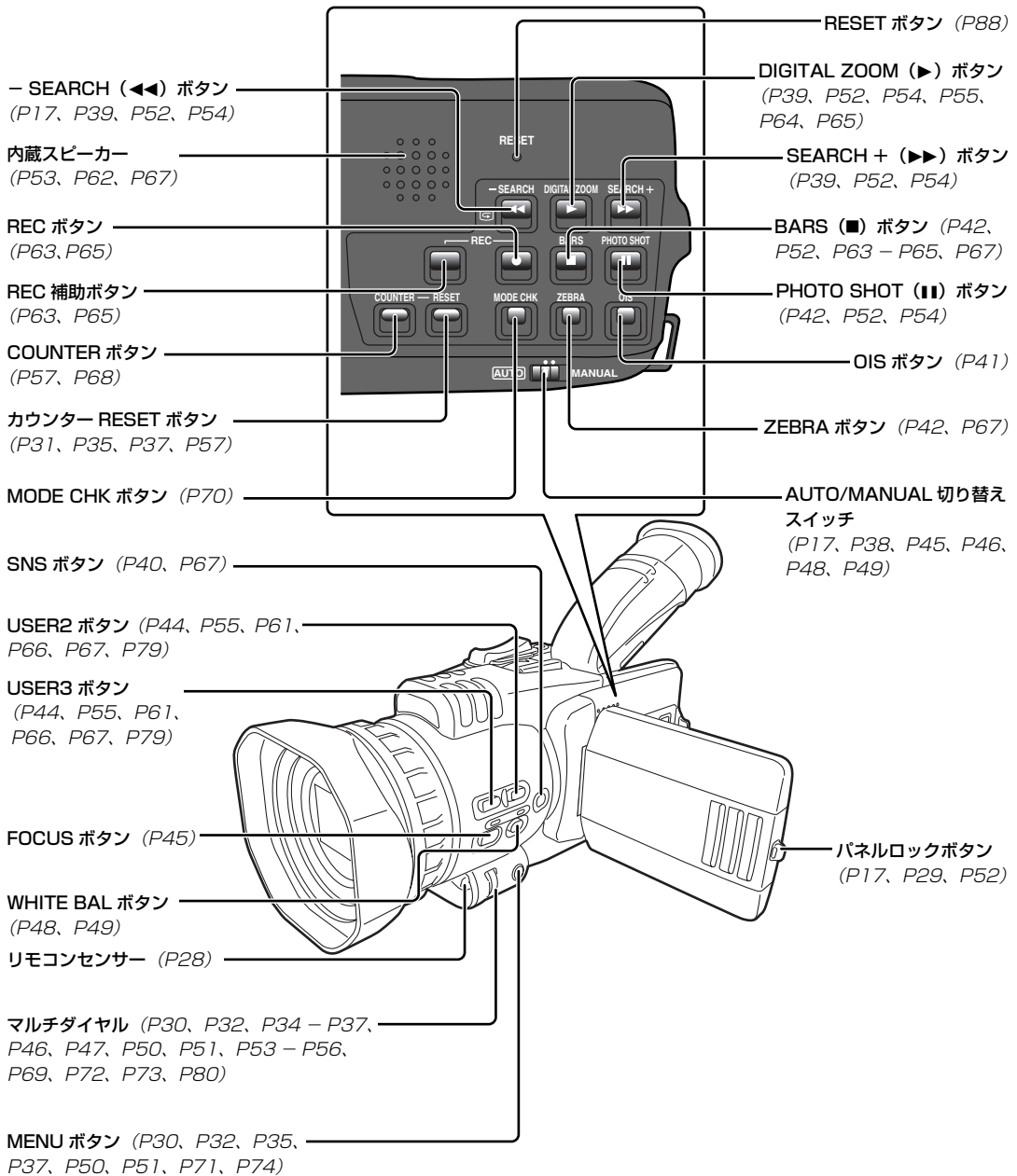
各部の名称 (つづき)

カメラレコーダー本体



各部の名称

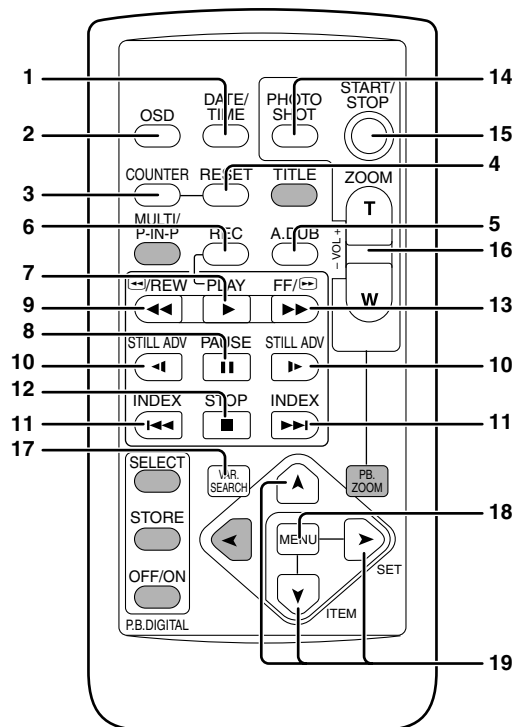
カメラレコーダー本体



ワイヤレスリモコン

下記に示すボタンは、本機では動作しない機能のボタンです。ご了承ください。

- TITLE
- SELECT
- OFF/ON
- ◀
- MULTI/P-IN-P
- STORE
- PB. ZOOM



1. DATE/TIME ボタン (P53)
2. OSD ボタン (P53)
3. COUNTER ボタン (P57)
4. カウンター RESET ボタン (P31, P35, P37, P57)
5. A. DUB ボタン (P61)
6. REC ボタン (P63, P65)

< 再生操作部 >

7. PLAY ボタン (▶) *1 (P52, P54, P55, P63 - P65)
8. PAUSE ボタン (⏸) *1 (P52, P54, P61)
9. ◀/REW ボタン (◀◀) *1 (P39, P52, P57)
10. STILL ADV ボタン (◀, ▶) (P28, P54)
11. INDEX ボタン (◀◀, ▶▶) (P56, P78)
12. STOP ボタン (■) *1 (P28, P52, P63 - P65)
13. FF/▶ ボタン (▶▶) *1 (P39, P52, P57)

*1 : 再生時は、カメラレコーダー本体のボタンと同じ働きをします。


< 撮影操作/音量調節部 >

14. PHOTO SHOT ボタン *2 (P42)
15. START/STOP ボタン *2 (P38)
16. ZOOM/VOL ボタン *2 (P53)
- *2 : 撮影時は、カメラレコーダー本体のボタンと同じ働きをします。
17. VAR. SEARCH ボタン (P55)
18. MENU ボタン (P30, P32, P34, P35, P37, P50, P51, P71, P74)
19. [▲] [▼] [▶] ボタン (P30, P32, P34 - P37, P50, P51, P55, P56, P72, P73)

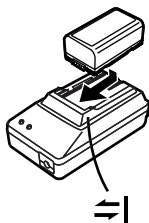
バッテリーについて

充電する

バッテリーを使用する前に、ACアダプターでフル充電を行ってください。
また、予備のバッテリーを1本用意されることをお奨めします。

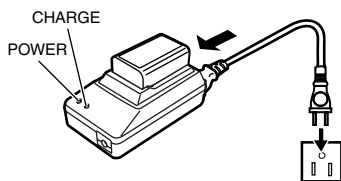
1 ACアダプターの  マークにそってバッテリーを水平にのせ、スライドさせます。

- ACアダプターにDCコードを接続している場合は、取り外しておいてください。接続していると、充電できません。



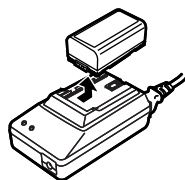
2 ACコードをコンセントに接続します。

- ACアダプターのPOWERランプとCHARGEランプが点灯し、充電を開始します。
- バッテリーを取り付けたときCHARGEランプが点灯しない場合、バッテリーを取り付け直してください。



3 充電が終わると、ACアダプターのCHARGEランプが消灯します。

4 バッテリーをスライドさせて取り外します。



付属のバッテリーの充電時間と録画時間

充電時間	連続録画可能時間
約 120 分	約 120 (100) 分

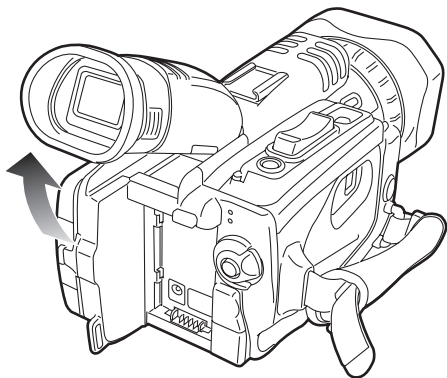
- 上の表は、おおよその時間です。() の中は、液晶モニターを使用する場合の時間です。
- 上の表は、動作周囲温度 20℃、動作相対湿度 60%での時間です。それ以外の温度や湿度では、充電時間が長くなる場合があります。

- **バッテリーの端子に、金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させないでください。端子間がショートして発熱することがあり、この状態で触れると大やけどをするおそれがあります。**
- バッテリーは、使用中や充電中には温度が高くなります。またカメラレコーダー本体も、同じように温度が高くなります。
- 必要以上に録画と停止を繰り返しますと、録画時間は上の表より短くなります。
- バッテリーは、放電した状態で保管してください。長期保管する場合、1年に1回は充電し、カメラレコーダーで充電容量を使いきってから再保管することをお勧めします。
- バッテリーの温度が極端に高かったり低かったりするときは、CHARGEランプが数回点滅してから、充電が始まります。また、バッテリーが長期間使用されず放電したままになっているときも、CHARGEランプが数回点滅してから、充電が始まります。
- バッテリーが適温でも、CHARGEランプが点滅し続けるときは、バッテリーかACアダプターに故障が起きている可能性がありますので、販売店にご相談ください。
- バッテリーが温かいとき、充電時間は通常より長くなります。
- ACアダプターをラジオの近くで使用すると、ラジオの音がひずむ場合があります。ACアダプターとラジオは1m以上離してお使いください。
- ACアダプターの使用中に、ACアダプターからノイズ音が出る場合がありますが、故障ではありません。
- ACアダプターからカメラレコーダー本体に電源を供給しているときは、バッテリーの充電を行うことができません。

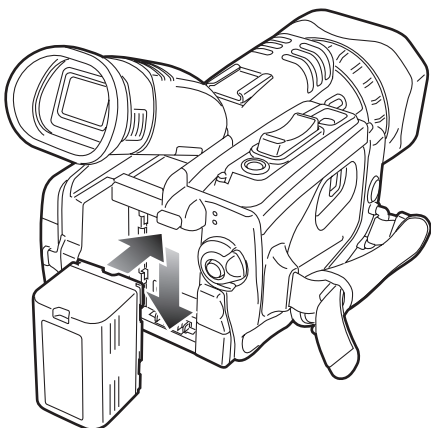
バッテリーについて (つづき)

取り付ける

1 ビューファインダーを起こします。



2 バッテリーをまっすぐ押しあて、「カチッ」と音がするまで下にずらしします。

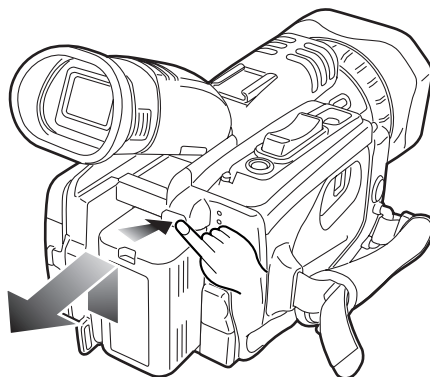


3 ビューファインダーを元の位置に戻します。

取り外す

- POWER レバーを OFF の位置まで回して、POWER ランプ (CAMERA/VCR) が消灯したことを確認してからバッテリーを外してください。
- バッテリーを落下させないように手で支えておいてください。

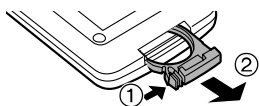
バッテリー取り外しボタンを押しながら、上にずらして外します。



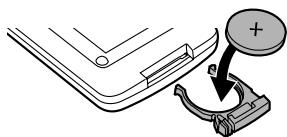
リモコンについて

電池を入れる

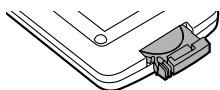
- 1 つまみを矢印①の方向に押しながら、ホルダーを引き抜きます。



- 2 電池の“+”マークを上に向け、入れます。



- 3 ホルダーを元に戻します。



- 電池 (CR2025) が消耗した場合は、新しい電池と交換してください。(電池の寿命は使用頻度にもよりますが、約1年です) リモコンを本機のリモコンセンサーの近くで操作しても動作しない場合は、電池が消耗しています。
- 電池は、幼児の手の届かないところに置いてください。

リモコンの設定

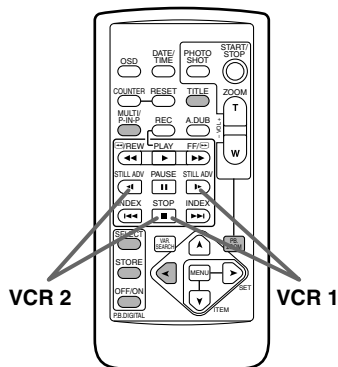
本機と付属のワイヤレスリモコンには、同時に2台のカメラレコーダーを使用したときに、リモコン操作での誤動作を防ぐため、[VCR1]用と[VCR2]用に設定することができます。

- リモコンセンサーは、本機のレンズ側にあります。ワイヤレスリモコンで本機を操作するときは、本機のレンズ側にワイヤレスリモコンを向けて行ってください。

設定方法

- ワイヤレスリモコン
STOP (■) と STILL ADV (▶) を同時に押すと VCR1 用のリモコンに設定されます。同様に、STOP (■) と STILL ADV (◀) を同時に押すと VCR2 用のリモコンに設定されます。
リモコンの電池を交換したときは、VCR1用の設定になります。
- カメラレコーダー本体
メニューを操作 (P71 - P74) してソノタ設定画面のリモコン項目を設定します。(P83)

カメラレコーダー本体とリモコンの設定が違うときは、ビューファインダーや液晶モニターに赤い文字の REMOTE が点灯して表示されます。



ファインダーについて

本機のファインダーには、小型の LCD を採用したビューファインダーと、3.5 インチの液晶モニターがあります。

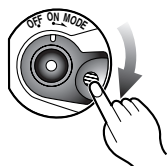
用途や撮影条件に合わせて、使い分けてください。

- ビューファインダーや液晶モニターの映像と、モニターテレビの映像とでは、明るさや色合いが違う場合があります。最終的な映像は、モニターテレビで確認してください。

ビューファインダーを使う

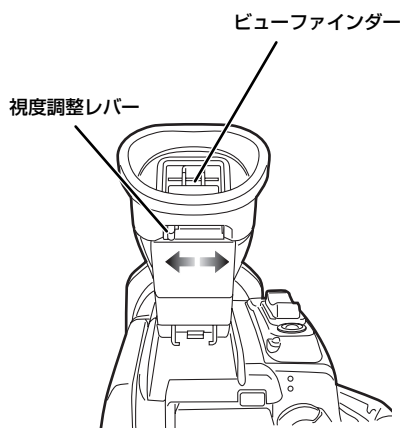
1 POWER レバーを ON の位置にし、ビューファインダーに映像が映っていることを確認します。

- 液晶モニターは閉じたままにしてください。



2 ビューファインダーの角度を調節して、画面が一番見やすい位置にします。

3 視度調整レバーで、ファインダー画面の文字がはっきり見えるように調整します。



ビューファインダーは、太陽に向けしないでください。

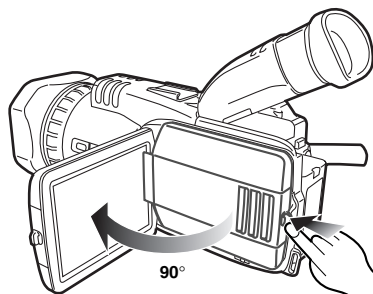
内部の部品が破損するおそれがあります。

液晶モニターを使う

1 POWER レバーを ON の位置にします。

2 パネルロックボタンを押しながら、液晶モニターを開きます。

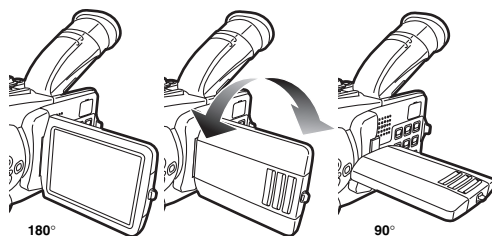
開く角度は、90° までです。それ以上、無理に開くと、本機の故障につながります。



3 液晶モニターの画面が、一番見やすい位置にします。

- レンズ方向に 180°、手前方向に 90° まで回転します。

それ以上、無理に回したり、90° 回転した状態で閉じると、本機の故障につながります。

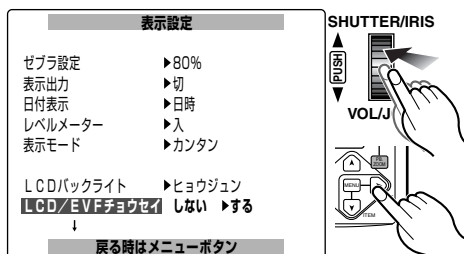


● 液晶モニターを閉じるときは、確実に閉じてください。

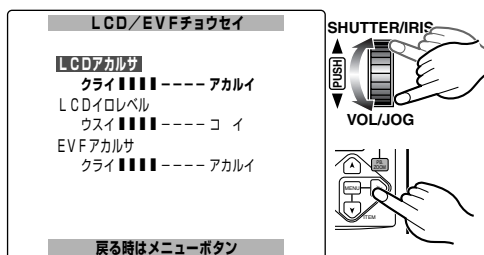
● 液晶モニターをレンズ方向へ回転させたとき（対面撮影時）は、ビューファインダーと液晶モニターが同時に点灯します。

画面表示を調整する

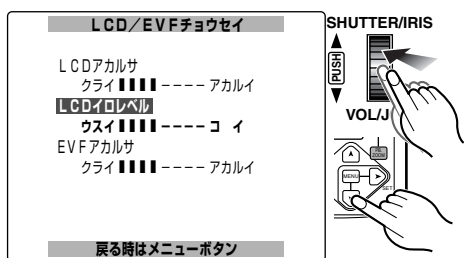
- 1 メニューを操作 (P71 - P74) して、表示設定画面の LCD/EVF チョウセイ項目で「する」を選択します。



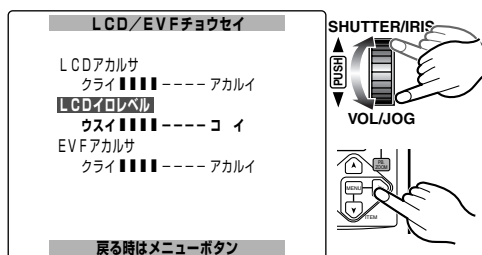
- 2 「LCD アカルサ」が選択されている LCD/EVF チョウセイ画面が表示されますので、マルチダイヤルを回して、液晶モニター画面の明るさを調整します。



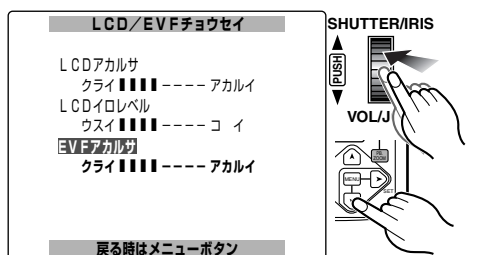
- 3 調整が終わると、マルチダイヤルを押して「LCD イロレベル」を選択します。



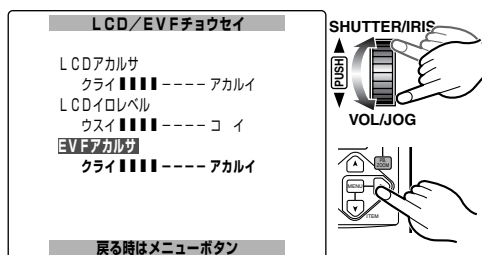
- 4 マルチダイヤルを回して、液晶モニター画面の色濃度を調整します。



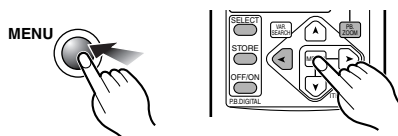
- 5 調整が終わると、マルチダイヤルを押して「EVF アカルサ」を選択します。



- 6 マルチダイヤルを回して、ビューファインダー画面の明るさを調整します。



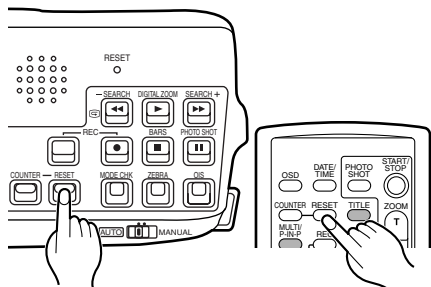
- 7 MENU ボタンを3度押して、メニューモードを解除します。



リモコンの [▶] ボタンで調整しているときは、レベルメーターが最大 (または最小) の位置になると、逆方向に戻って変化していきます。

画面表示を調整する

- LCD/EVF チョウセイ項目を選択して、設定値の変更が可能な状態のときにカウンター RESET ボタンを押すと、その項目 (LCD アカルサ/LCD イロレベル/EVF アカルサ) の設定値を工場出荷時の値にすることができます。



- 表示設定画面の EVF モード項目で「入」を選択すると、液晶モニターを開いても、常にビューファインダーに映像を表示します。(P83)
- ビューファインダー映像は、表示設定画面の EVF カラー項目で、カラー表示とモノクロ表示を選択することができます。(P83)
なお、カラーもモノクロも、同じ解像度の映像です。
- EVF DTL 機能を割り当てた USER ボタンを押すと、ビューファインダー映像や液晶モニター映像の輪郭が強調され、フォーカスが合わせやすくなります。(P79)
また、表示設定画面の EVF ディテール項目で「入」を選択しても、ビューファインダー映像や液晶モニター映像の輪郭が強調され、フォーカスが合わせやすくなります。(P83)

メニュー画面の表示を英文にする

メニューを操作 (P71 - P74) して、ソノタ設定画面のメニュー項目を「エイゴ」に設定すると、メニュー画面と日付の表示が英文に変更されます。(P84)

タイムデータについて

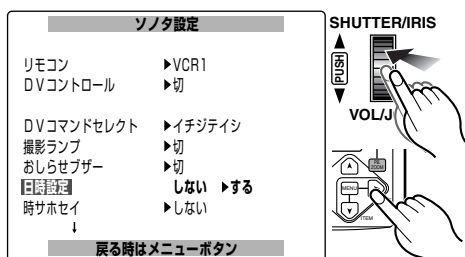
カレンダーを合わせる

カレンダーを2004年12月25日午後5時20分に設定する手順を示します。

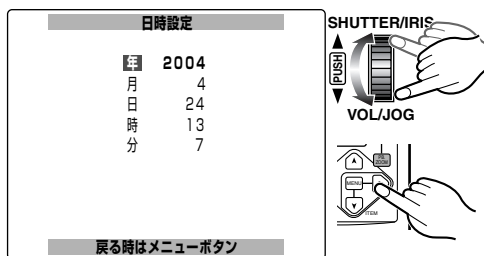
1 POWERレバーをONの位置にします。



2 メニューを操作 (P71 - P74) して、ソノタ設定画面の日付設定項目で「する」を選択します。

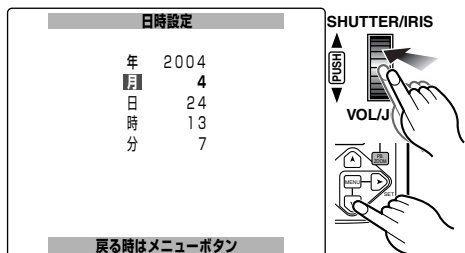


3 「年」が選択されている日付設定画面が表示されますので、マルチダイヤルを回して2004にします。

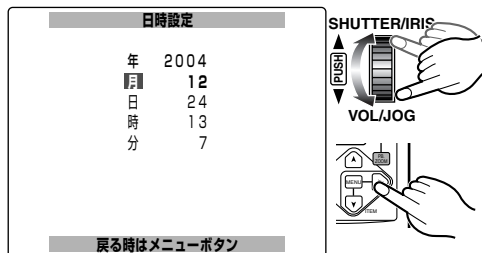


2000 から 2089 まで設定できます。

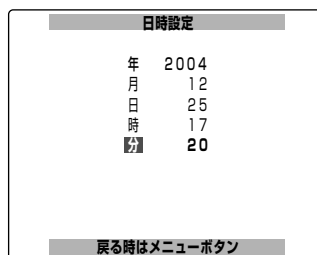
4 マルチダイヤルを押して、設定項目を「月」に移動します。



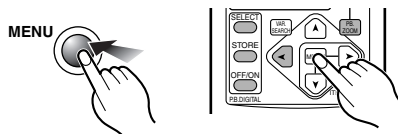
5 マルチダイヤルを回して12にします。



6 同様に、「日」を25に、「時」を17に、「分」を20にマルチダイヤルで設定します。
● 「時」は、24時間表示です。



7 MENUボタンを3度押しして、メニューモードを解除します。



時刻には誤差が生じますので、撮影前に時間が合っているか確認してください。

内蔵電池の充電

カレンダー（年月日や時刻）は、内蔵電池を使って記憶させています。

ビューファインダーや液晶モニターの画面に [🔋] の表示が出るときは、内蔵電池が消耗しています。

以下の方法で充電してください。

充電完了後、日時を設定してください。

- 1** 本機に電源コードを接続します。(P15)
 - 液晶モニターは閉じたままにしてください。
- 2** POWER レバーの位置は、**OFF** のままにします。
- 3** 約 4 時間、そのままの状態にしておきます。
 - 内蔵電池が充電されます。

ユーザーズビットを設定する

ユーザーズビットを設定することにより、16進数8桁までのメモ(日付、時刻)などの情報をテープのサブコードトラックに記録できます。

ユーザーズビットの設定内容は、自動的にメモリーされ、電源を切った後も保持されます。

1 POWER レバーを ON の位置にします。



2 メニューを操作 (P71 - P74) して、記録設定画面の UB モード項目で「ユーザー」を選択します。

記録設定	
↑ TC記録モード	▶リジネ
TCプリセット	▶しない
UBモード	▶ユーザー 時間 TCG
UBプリセット	▶しない
ワンショット録画	▶切
録画時間	▶0.5S

戻る時はメニューボタン

3 マルチダイヤルを回して、UB プリセット項目に移動します。

記録設定	
↑ TC記録モード	▶リジネ
TCプリセット	▶しない
UBモード	▶ユーザー
UBプリセット	▶しない する
ワンショット録画	▶切
録画時間	▶0.5S

戻る時はメニューボタン

4 マルチダイヤルを押して、▶を「する」に移動します。

記録設定	
↑ TC記録モード	▶リジネ
TCプリセット	▶しない
UBモード	▶ユーザー
UBプリセット	▶しない ▶する
ワンショット録画	▶切
録画時間	▶0.5S

戻る時はメニューボタン

5 下記の画面が表示されますので、マルチダイヤルでユーザーズビットを設定します。

UBプリセット							
0	0	0	0	0	0	0	0

戻る時はメニューボタン

マルチダイヤルを回してユーザーズビットの文字を選択します。

- 設定できるユーザーズビットの文字は、数字の0～9とアルファベットのA～Fです。

UBプリセット							
F	0	0	0	0	0	0	0

戻る時はメニューボタン

マルチダイヤルを押して次の桁に移動します。

UBプリセット							
F	0	0	0	0	0	0	0

戻る時はメニューボタン

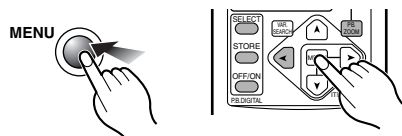
タイムデータについて (つづき)

ユーザズビットを設定する

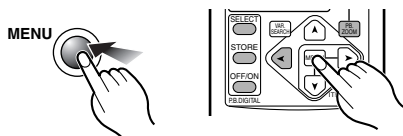
ユーザズビットを設定しているときにカウンター RESET ボタンを押すと、ユーザズビットをゼロにリセットします。



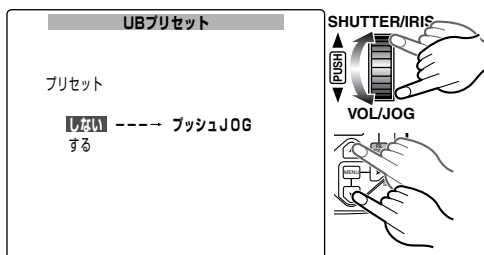
9 MENU ボタンを2度押して、メニューモードを解除します。



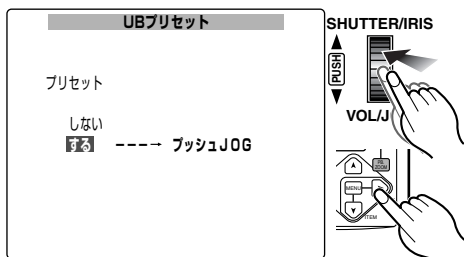
6 ユーザズビットの設定が完了すると、MENU ボタンを押します。



7 下記の画面が表示されますので、マルチダイヤルを回して「する」を選択します。



8 マルチダイヤルを押すとユーザズビットが確定します。



タイムコードを設定する

記録設定画面の下記の項目で、タイムコードに関わる各種の設定を行います。(P80、P81)

- TCG 項目
- TC 記録モード項目
- TC プリセット項目
- 1394 TC リジエネ項目 (VCR モードのときにメニュー項目が表示されます)

- VCR モードのときは、1394 TC リジエネ項目が「入」に設定されていると、左記に示す項目の設定を変更することができません。

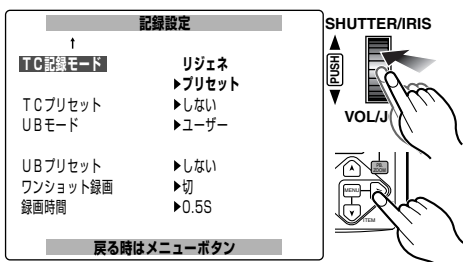
タイムコードを指定する

記録開始時のタイムコードを、ユーザーが指定する値を初期値として記録することができます。

1 POWER レバーを ON の位置にします。



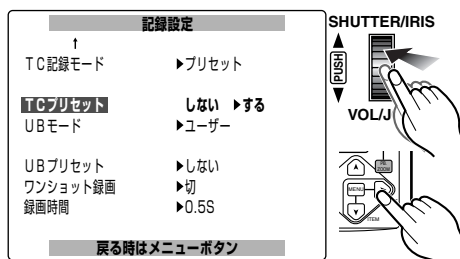
2 メニューを操作 (P71 - P74) して、記録設定画面の TC 記録モード項目で「プリセット」を選択します。



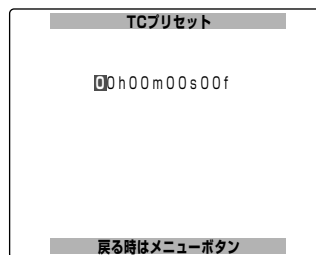
3 マルチダイヤルを回して、TC プリセット項目に移動します。



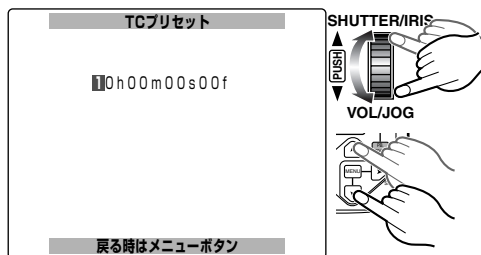
4 マルチダイヤルを押して、▶を「する」に移動します。



5 下記の画面が表示されますので、マルチダイヤルでタイムコード値を設定します。

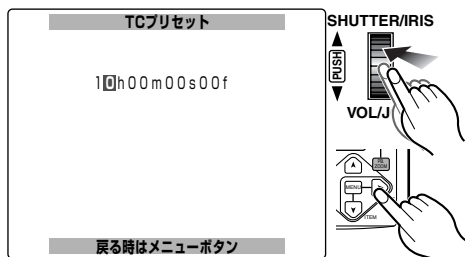


マルチダイヤルを回してタイムコード値を指定します。

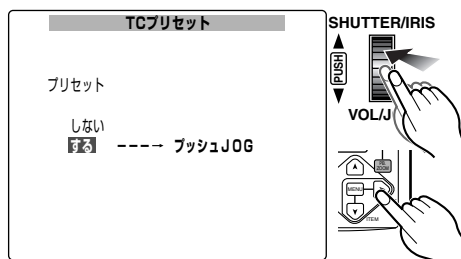


タイムコードを指定する

マルチダイヤルを押して次の桁に移動します。



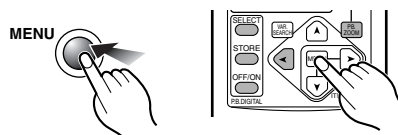
8 マルチダイヤルを押すとタイムコード値が確定します。



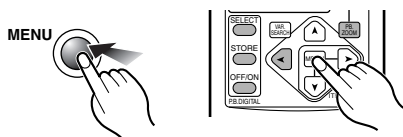
タイムコード値を設定しているときにカウンター RESET ボタンを押すと、タイムコード値をゼロにリセットします。



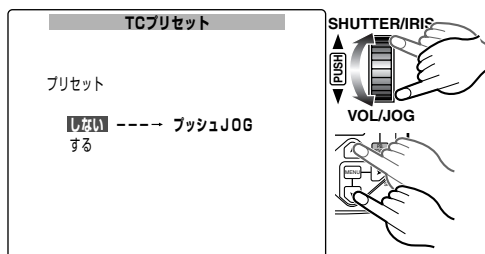
9 MENU ボタンを2度押して、メニューモードを解除します。



6 タイムコード値の設定が完了すると、MENU ボタンを押します。



7 下記の画面が表示されますので、マルチダイヤルを回して「する」を選択します。



通常の写真

準備と点検

撮影の前に、本機が正常に動作することを確認してください。
また、撮影条件に合わせて、機材の確認をしてください。

■ バッテリー (P26)

充電済みのバッテリーを用意します。
また、予備のバッテリーを1本用意されることをお奨めします。

■ カセットテープ (P16、P21)

カセットテープが記録できる状態のテープか確認してください。

- 誤消去防止状態になっていないか。
- 大切な映像が記録されていないか。
- カセットカバーが確実に閉じているか。

■ ビューファインダー (P29)

ファインダーの視度調整ができていないか確認してください。

■ ズーム/フォーカス/アイリス

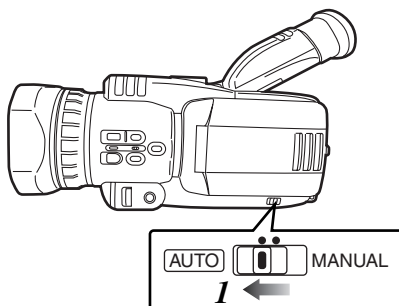
- モータードライブでのズーム操作ができることを確認してください。(P39)
- ピント合わせの操作がオートとマニュアルで行えることを確認してください。(P45)
- レンズ絞りの操作がオートとマニュアルで行えることを確認してください。(P47)

■ タイムデータ (P32 - P37)

- カレンダーや時刻が正しいか確認してください。
- タイムコードやユーザーズビットが正しく設定されているか確認してください。

撮影する

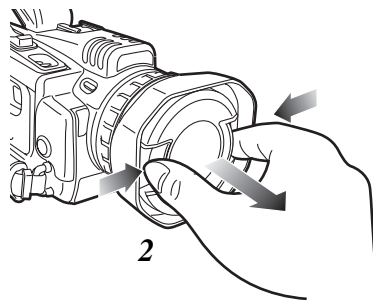
- 1 AUTO/MANUAL 切り替えスイッチを AUTO の位置にします。



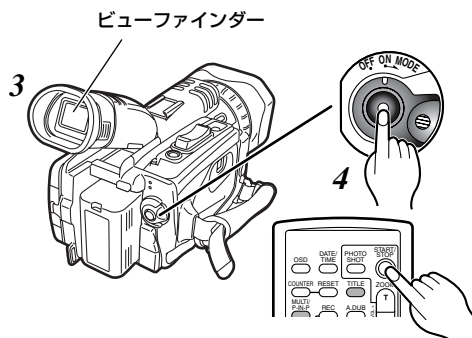
オートモードのときは下記の調整が自動的に行われません。

- フォーカス
- シャッタースピード
- 絞り
- ゲイン
- ホワイトバランス

- 2 レンズキャップの両側をつまんで、レンズキャップを外します。



- 3 ビューファインダーで撮影する映像を確認します。



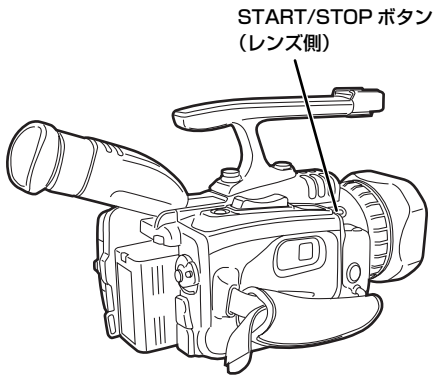
- 4 POWER レバーの START/STOP (赤) ボタンを押すと撮影を開始します。
再度、このボタンを押すと撮影の一時停止モードに戻ります。

目的に合わせて撮影する

ローアングル撮影

ローアングルで撮影するときは、付属品のハンドルを取り付け (P19)、レンズ側の START/STOP ボタンで撮影を行うことができます。

このボタンの記録動作は、スイッチモード画面のフロント録画ボタンキンシ項目で設定することができます。(P80)



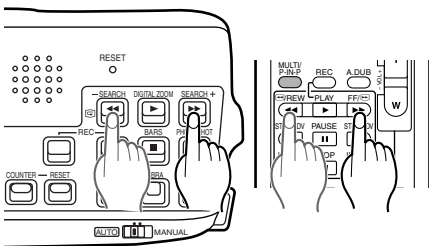
撮影した場面を探す (イメージサーチ)

撮影した内容をすぐに確認するときは、ロックチェック (P17) を行います。

撮影の一時停止モードのときに、今まで撮影した場面を探すときは、イメージサーチを行います。

探し出した場面から続けて撮影 (つなぎ撮り) を行うときに便利です。

1 撮影の一時停止モードで **▶▶** ボタンや **◀◀** ボタンを押したままにします。押し続けている間、テープを再生、または、逆再生を行います。



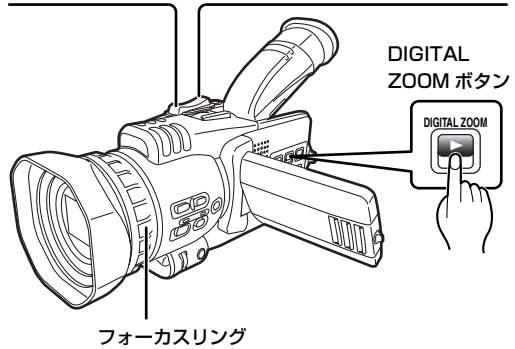
2 場面が見つかったら、ボタンから指を離します。イメージサーチ終了後は、撮影の一時停止モードに戻ります。

ズーム機能

本機は、16倍光学ズームを備えています。ZOOM ボタンを軽く押すとゆっくりとズームを行い、強く押すと速くズームを行います。軽く押したときのズーム速度は、スイッチモード画面のズームモード項目 (P80) で設定することができます。

ZOOM (T) ボタン (ズームイン)

ZOOM (W) ボタン (ズームアウト)



撮影の一時停止モードのときに、DIGITAL ZOOM ボタンを押すと、デジタルズーム機能が働きます。

スイッチモード画面のデジタルズーム項目 (P80) で「× 24」を選択すると、ボタンを押す毎に、× 1.25 倍 ▶ × 1.5 倍 ▶ × 1 倍 (OFF) のデジタルズーム機能が働き、最大 24 倍までズームすることができます。

「× 160」を選択すると、ボタンを押す毎に、× 2 倍 ▶ × 5 倍 ▶ × 10 倍 ▶ × 1 倍 (OFF) のデジタルズーム機能が働き、最大 160 倍までズームすることができます。

ズームポジションは、画面右上に常に表示されていますが、デジタルズーム機能が働いているときは、デジタルズームの倍率も表示されます。(P68)

- ただし、撮影中は、DIGITAL ZOOM ボタンで倍率を変更することができません。
- デジタルズーム機能を使ったときの画質は、通常のズーム (光学ズーム) だけで撮影を行ったときと、同等の画質を得ることができません。

メニューを操作 (P71 - P74) して、スイッチモード画面のフォーカスリング項目で「ズーム」を選択すると、オートフォーカスモードで撮影しているときだけ、フォーカスリングでズーム操作を行うことができます。(P80)

目的に合わせて撮影する (つづき)

対面撮影

液晶モニターを開き、レンズ側に180度回転させて撮影者自身を撮影すると、撮影した画像が普段と異なる印象を持つ場合があります。

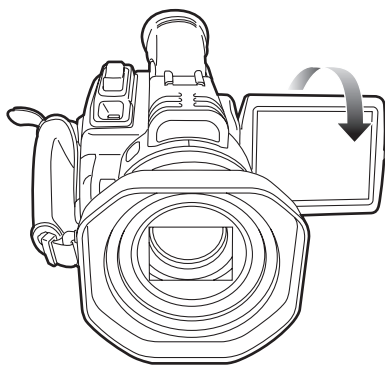
メニューを操作 (P71 - P74) して、表示設定画面のタイムモード項目で「ミラー」を選択すると、液晶モニターには、左右を反転した映像が表示され、鏡を見ているイメージで撮影ができます。(P83)

ただし、ミラーモードで撮影を行っても、記録された映像は通常に撮影されたものと同じです。鏡に映した状態では記録されません。

ミラーモードで撮影する場合、ビューファインダーや液晶モニターに表示される情報が下記に制限されます。

- : 撮影
- || : 撮影一時停止
- ▣▤▥▦ : バッテリー残量表示
- ! : 警告表示

! を表示した場合、液晶モニターを元に戻して、警告表示の内容を確認してください。



タイムスタンプ記録

メニューを操作 (P71 - P74) して、記録設定画面の日時記録項目で「入」を選択すると、撮影時刻や日付などを、撮影映像に重ねてテープに記録することができます。(P80)

日時記録項目で「入」を選択すると、画面に[R]が表示されます。

- スイッチモード画面のデジタルズーム項目 (P80) で「×160」を選択したときは、タイムスタンプ記録を行うことができません。
- 撮影を行っているときにオーディオレベルの調整 (P50、P51) を行うと、その操作中は、タイムスタンプ記録を中断します。

高感度 (SNS) 撮影

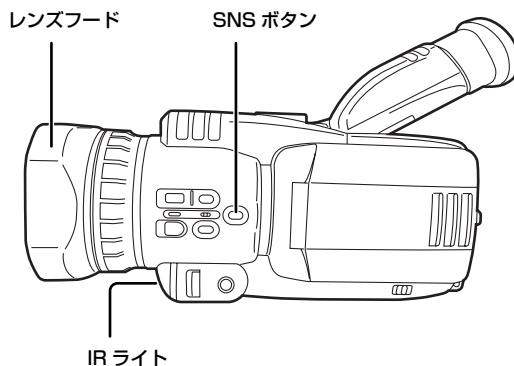
本機は、非常に暗い場所でも撮影が行える、高感度撮影機能を装備しています。

通常のカメラでは撮影できない、赤外線 (Infrared Rays) 領域の光 (IR ライト) とシャッター速度を組み合わせて、3つのモードで高感度撮影を行うことができます。

SNS ボタンを押すと、高感度撮影になります。再度、SNS ボタンを押すと、通常の撮影に戻ります。

高感度撮影モードは、スイッチモード画面の SNS 項目で選択します。(P80)

- 通常の撮影を行っているときに SNS ボタンを押しても、高感度撮影を行うことができません。撮影の一時停止の状態ですべて SNS ボタンを押してください。



高感度撮影モード	IR ライト	シャッター速度	記録映像
IR	点灯	1/60 秒	モノクロ
SUPER_IR	点灯	1/4 秒	モノクロ
COLOR_NS	消灯	1/4 秒	カラー

SNS : Super Night Shooting system


目的に合わせて撮影する (つづき)

- 高感度撮影モードの IR や SUPER_IR を選択したときは、マルチダイヤルで絞りを調整することができませんが、COLOR_NS を選択したときは、マルチダイヤルで絞りとゲインを調整することができます。(P47)
- IR ライトの点灯制御は、ソノタ設定画面の IR ランプ項目で変更することができます。(P84)
- IR ライトが点灯しているときは、IR ライトを直接見ないでください。
- IR ライトを手などでふさがないでください。
- 本機の IR ライトを使用するときは、レンズフードを外して撮影を行ってください。(P21)
- より高度な高感度撮影を行うときは、別売の IR ライト (AG-YRL30G) を使用することをお薦めします。
- 高感度撮影を行うと、残像が残る、画質が劣化する、フォーカスがうまく合わない、などの現象が起こることがあります。

高感度撮影モードの SUPER_IR や COLOR_NS を選択したときは、CCD が信号を蓄積する時間を通常の約 16 倍にして撮影を行います。
このため、通常では見えない微少な輝いている点が、映像として記録されることがありますが、異常ではありません。

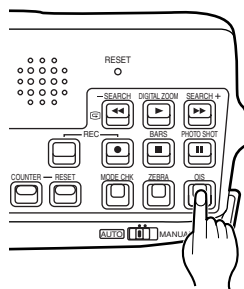
手ぶれ補正機能

カメラを持って撮影する場合は、手ぶれ補正機能を使うことで、手ぶれの少ない撮影を行うことができます。

手ぶれ補正機能が働いているときは、画面にが表示されます。

手ぶれ補正機能を解除するときは、OIS (Optical Image Stabilizer) ボタンを押します。再度、OIS ボタンを押すと手ぶれ補正機能が働きます。

三脚を使用するときは、手ぶれ補正機能を解除して撮影することで、自然な映像を得ることができます。



- 大きくぶれたときや、動いている被写体を追いかけてながら撮影した場合、補正しきれない場合があります。
- デジタルズーム機能が働いているときは、手ぶれ補正機能が正しく動かない場合があります。

ウィンドノイズリダクション

メニューを操作 (P71 - P74) して、記録設定画面のウィンド NR 項目で「入」を選択すると、風の強いときなど、マイクに当たる風により発生するノイズを低減することができます。(P80)

ウィンドノイズリダクションが働いているときは、画面に「WIND CUT」が表示されます。

- 内蔵マイクと外部マイクの両方に機能します。
- 低域の音声では、一部風の音と一緒に低減されることがあります。

映画感覚の撮影

メニューを操作 (P71 - P74) して、シーンファイル画面のファイルセンタク項目で「4. MOVIE-LIKE」を選択すると、映画感覚の映像を撮影することができます。(P77)

目的に合わせて撮影する (つづき)

フォトショット

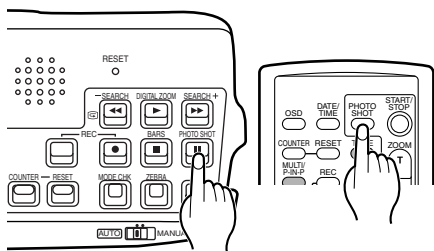
写真を撮るような感覚で、静止画をテープに記録することができます。

撮影の一時停止モードのときに PHOTO SHOT ボタンを押すと、約 7 秒間の静止画を記録します。

記録が終わると、撮影の一時停止モードになります。

フォトショットで記録した映像部分には、フォトインデックスが記録され、再生するときに検索(フォトインデックスサーチ)することができます。(P56)

- 撮影中は、PHOTO SHOT ボタンを押しても、静止画を記録することができません。



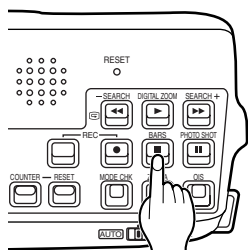
カラーバー

撮影中や撮影の一時停止モードのときに BARS ボタンを押すと、テレビや外部モニターの画質調整に便利なカラーバー (SMPTE 準拠) を表示することができます。

再度、BARS ボタンを押すと、元の映像に戻ります。

また、メニューを操作 (P71 - P74) して、記録設定画面の ID 設定項目で ID 情報を設定しておく、カラーバーと一緒に ID 情報が画面に表示されます。(P80)

このとき、START/STOP ボタンを押すと、カラーバーに ID 情報が重なった映像をテープに記録することができます。



- デジタルズーム (P39) を行っているときは、カラーバーが表示されません。

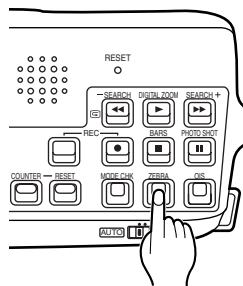
ゼブラパターン

ZEBRA ボタンを押すと、露出オーバーで白トビが発生する可能性のある部分を、縞模様で表示することができます。

- 極端に明るい部分
- 光っている部分

ゼブラパターンがなくなるように、マニュアルモードでアイリスやシャッタースピードを調整すると、白トビの少ない映像を得ることができます。

メニューを操作 (P71 - P74) して、表示設定画面のゼブラ設定項目でゼブラパターンを表示する輝度レベルを設定することができます。(P82)



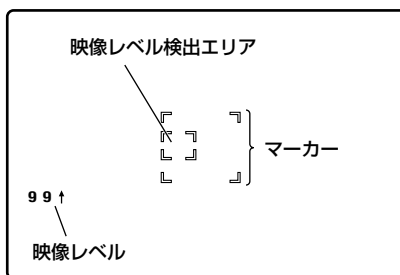
再度、ZEBRA ボタンを押すと、マーカを表示します。

マーカ

ゼブラパターンを表示しているときに、再度 ZEBRA ボタンを押すと、画面中央にマーカを表示します。

マーカを表示しているときは、画面の左下に映像レベルを表示します。

映像レベルは、0 ~ 99 で表示し、99 を越えるときは、「99 ↑」を表示します。



再度、ZEBRA ボタンを押すと、通常の画面に戻ります。

- デジタルズーム (P39) を行っているときは、映像レベルと映像レベル検出エリアが表示されません。

目的に合わせて撮影する (つづき)

フィールド撮影とフレーム撮影

本機は、通常、フィールド記録（1 秒間に 60 コマ）で撮影を行います。

メニューを操作（P71 - P74）して、シーンファイル画面のファイル設定項目で「ドウガモード」の設定を「フレーム」にすると、フレーム記録（1 秒間に 30 コマ）で撮影を行うことができます。（P77）

静止画を再生するときなど、高画質の映像を得ることができます。

- 通常（動画）の再生を行うと、「コマ落とし」のように、カクカクとした動きの映像になります。

フィールド記録

Ao	Ae	Bo	Be	Co	Ce	Do	De	Eo	Ee	Fo	Fe	Go	Ge	Ho	He	Io	Ie	Jo	Je
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

フレーム記録

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

フレーム記録で撮影を行う場合は、シャッタースピードを 1/60 に設定されることをお奨めします。（P46）

コマ撮り撮影

メニューを操作（P71 - P74）して、記録設定画面のワンショット録画項目で「入」を選択すると、コマ撮り撮影を行うことができます。（P81）

撮影する秒数は、同じ画面の録画時間項目で設定します。

START/STOP ボタンを押すと、設定されている秒数の撮影を行い、撮影の一時停止モードになります。

- コマ撮り撮影モードに設定すると、画面に表示されている VCR の動作モードの左に「*」が点滅します。記録を開始すると「*」が点灯します。
- コマ撮り撮影モードに設定しても、電源を OFF にしたときは、コマ撮り撮影モードが切（OFF）に戻ります。

映像サイズを変える

本機は、テープに記録する映像のサイズ（アスペクト比）を変えることができます。

メニューを操作（P71 - P74）して、カメラキノウ画面のガカク設定項目で選択します。（P77）

ヒョウジュン：

標準の 4 : 3 モードで記録します。



レターボックス：

画角を 16 : 9 モードにして記録します。画面の上下に黒い帯が記録されます。



スクイーズ：

カメラ映像を水平方向に圧縮して記録します。記録された映像をワイド画面に対応したモニターテレビで再生すると、アスペクト比 16 : 9 の映像になります。

スクイーズに設定されているときは、画面に「SQU」が表示されます。



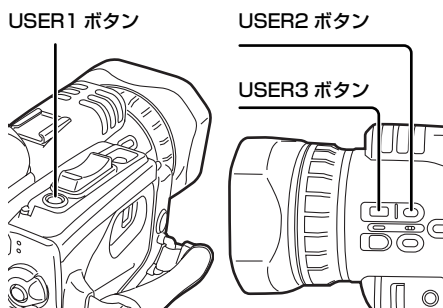
- スクイーズに切り替えたとき、一瞬、画面の映像が乱れることがありますが、故障ではありません。
- スクイーズに設定して記録した映像を再生したときは、画質が劣化する場合があります。

USER ボタンの活用

USER1、USER2、USER3 の各ボタンには、メニューで選択した機能をそれぞれのボタンに割り当てることができます。

被写体に合わせて、撮影する条件を切り替えることや、フェード効果を映像に加えることができます。

スイッチモード画面の USER1 項目、USER2 項目、USER3 項目で USER ボタンの機能を選択できます。(P79)



ワンプッシュズーム機能

撮影中に (PUSH) AF+ZOOM 機能を割り当てた USER ボタン (P79) を押すと、ワンプッシュズームを行います。

ボタンを押している間、現在のズーム位置からズームインして被写体を大きく撮影し、ピントを自動で合わせます。

ボタンを離すと、元のズーム位置まで戻ります。マニュアルフォーカスで撮影しているときに、この機能を使うと便利です。

逆光補正機能

逆光で被写体を撮影するときは、BACKLIGHT (Back Light Compensation) 機能を割り当てた USER ボタン (P79) を押します。

逆光補正を行い、被写体の映像が暗くなるのを防ぎます。

逆光補正を行っているときは、画面に☒が表示されます。

再度、このボタンを押すと、逆光補正を解除します。

- 絞りの調整を、オートモードで行っているときにこの機能が働きます。

AE ロック機能

AE LOCK 機能を割り当てた USER ボタン (P79) を押すと、シャッタースピードと絞りを固定して撮影を行います。

ズームインして被写体を大きく撮影してボタンを押すと、被写体に合わせたシャッタースピードと絞りに固定されます。

背景の明るさが変化しても、同じ明るさで被写体を撮影することができます。

AE LOCK 機能が働いているときは、画面に **AELOCK** が表示されます。

インデックス記録

撮影や記録の最中に INDEX 機能を割り当てた USER ボタン (P79) を押すと、シーンインデックス信号がテープに記録されます。

また、撮影や記録の一時停止状態のときにこの USER ボタンを押すと、シーンインデックスの記録待機状態になります。

この USER ボタンを押した後に撮影や記録を開始すると、シーンインデックスがテープに記録されます。

シーンインデックスを記録することで、再生時に検索 (シーンインデックスサーチ) することができます。(P56)

目的に合わせて撮影する (つづき)

バックアップ記録

DV 端子に接続した外部機器 (P58) に、本機のカメラ映像を記録し、自動的にバックアップ記録を行うことができます。

ソノタ設定画面の DV コントロール項目と DV コマンドセレクト項目で、外部機器の制御方法を設定してください。

(P83)

バックアップ記録を行う場合は、次のことに注意してください。

- メニュー項目の設定は、電源を OFF にしても記憶されているため、バックアップ記録を行った設定のまま本機を使用すると、接続機器のテープに映像を上書きしてしまうことがあります。バックアップ記録を行った後は、メニュー項目の設定を確認してから本機を操作してください。
- バックアップ記録を行う外部機器として、もう 1 台の AG-DVC30 を使用する場合、外部機器側の DV コントロール項目を「切」に設定し、VCR モードにして使用してください。
- バックアップ記録を行う場合、2 台以上の外部機器を接続すると正しく動作しないことがあります。
- 接続するときの DV ケーブル (IEEE 1394) の長さは、4.5m までにしてください。
- バックアップ記録を行うときは、外部機器で DV 信号を記録できる状態にしておいてください。
- DV コントロール項目で「チェイン」を設定してバックアップ記録を行うと、撮影中に本機のテープが終端付近になったときに、記録待機状態にしているバックアップ用の機器で、自動的に記録を開始します。
- DV コントロール項目で「ガイド」や「チェイン」を設定してバックアップ記録を行っているときに、下記の操作を行うと、バックアップ用の機器で記録している映像や音声が入ることがあります。
 - デジタルズーム (P39)
 - スクイーズ記録 (P43)
 - 高感度撮影 (P40)
 - スローシャッタースピード (P46)
 - フォトショット (P42)
 - フレーム記録 (P43)

マニュアルモードへの切り替え

本機は、下記の操作を手動で行うマニュアルモードに切り替えることができます。

- フォーカス (P45)
- シャッタースピード (P46)
- 絞り (P47)
- ゲイン (P47)
- ホワイトバランス (P48、P49)

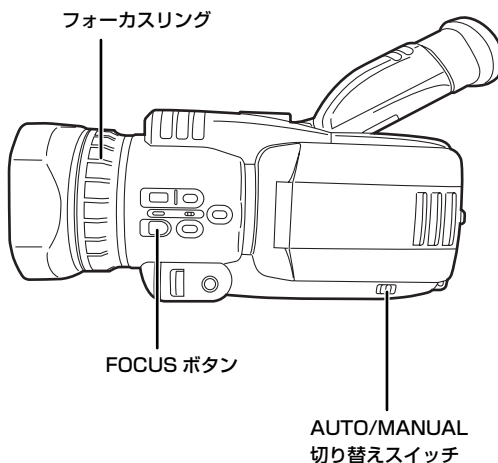
フォーカス (ピント合わせ)

本機は、自動的にピントを合わせるオートフォーカスと、手動で合わせるマニュアルフォーカスを切り替えることができます。

AUTO/MANUAL 切り替えスイッチを MANUAL の位置にして、FOCUS ボタンを押すと、マニュアルフォーカスに切り替わり、画面に「MF」が表示されます。

マニュアルフォーカスのときは、フォーカスリングでピントを調整します。

再度、FOCUS ボタンを押すと、オートフォーカスに切り替わります。



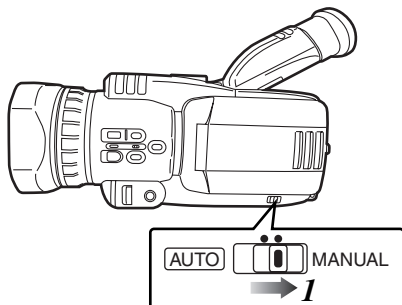
- 広角 (ズームアウト) にして被写体にピントを合わせてから望遠 (ズームイン) にすると、マニュアルフォーカスではピントが合っていないときがあります。
- 背景をぼかして被写体を引き立たせるときは、絞りを開いて (絞りの値を小さくして) ピントを合わせます。逆に、被写体の前後まで広くピントを合わせるときは、絞りを絞って (絞りの値を大きくして) ピントを合わせます。

シャッタースピード調整、絞り調整、ゲイン調整

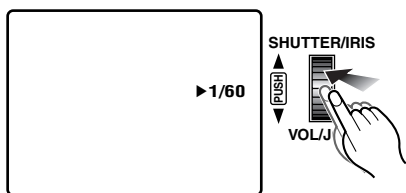
撮影する場面や照明に合わせて、シャッタースピードや絞り、ゲインを調整することができます。

1 AUTO/MANUAL 切り替えスイッチを MANUAL の位置にします。

- AUTO 位置では、調整することができません。



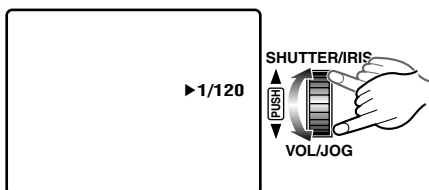
2 マルチダイヤルを押します。



画面にシャッタースピードが表示されます。

シャッタースピード調整

3 マルチダイヤルを回して、シャッタースピードを選択します。



スローシャッタースピード

1/4、1/8、1/15、1/30

通常のシャッタースピード

1/60、1/100～1/4000、1/8000、

シンクロスキャンシャッタースピード

1/60.3～1/250

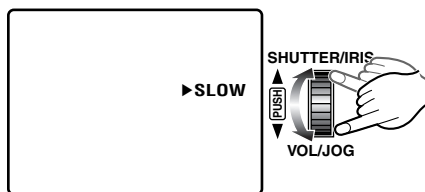
スローシャッタースピードを調整する

通常のシャッタースピードで撮影を行っている最中は、スローシャッタースピードに切り替えることができません。

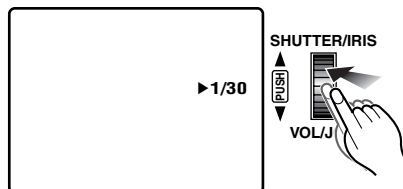
同様に、スローシャッタースピードで撮影を行っている最中は、通常のシャッタースピードに切り替えることができません。

撮影の一時停止状態にしてから、通常のシャッタースピードとスローシャッタースピードを切り替えてください。

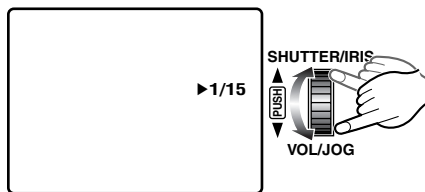
- 1 シャッタースピードが遅くなる方向にマルチダイヤルを回して、SLOW を表示させます。



- 2 マルチダイヤルを押すと、スローシャッタースピードの値が表示されます。

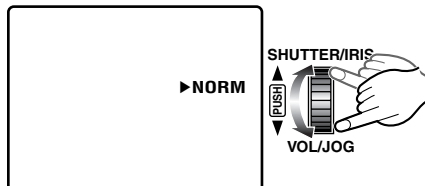


- 3 マルチダイヤルを回して、スローシャッタースピードを選択します。



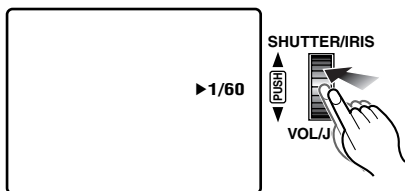
通常のシャッタースピードに戻す

- 4 シャッタースピードが速くなる方向にマルチダイヤルを回して、NORM を表示させます。



シャッタースピード調整、絞り調整、ゲイン調整 (つづき)

- 5 マルチダイヤルを押すと、通常のシャッタースピードの値が表示されます。



- 人工照明、特に蛍光灯や水銀灯などは、電源周波数に同期して輝度が変化しています。電源周波数が 50Hz の地域では、本機の垂直同期周波数 (約 60Hz) と照明の周波数 (50Hz) が互いに干渉するため、ホワイトバランスが周期的に変化することがあります。電源周波数が 50Hz の地域で撮影するときやホワイトバランスを調整するときは、シャッタースピードを 1/100 の設定にして行ってください。
- シャッタースピードが速いほど、カメラの感度は低減します。
- 絞りが自動のとき (絞り値が表示されていないとき) には、シャッタースピードを速くすると絞りが開き (絞りの値が小さくなる)、背景をぼかして被写体を引き立たせることができます。
- スローシャッタースピードで撮影を行うと、残像が残る、画質が劣化する、フォーカスがうまく合わない、などの現象が起こることがあります。
- スローシャッタースピードを選択したときは、CCD が信号を蓄積する時間を通常より長くして撮影を行います。このため、通常では見えない微少な輝いている点が、映像として記録されることがありますが、異常ではありません。

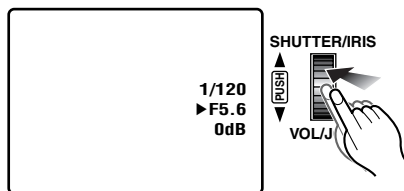
シンクロナスキャンシャッタースピード

テレビ画面やパソコンのモニター画面を撮影するときのシャッタースピードをシンクロナスキャンシャッタースピードと呼んでいます。シンクロナスキャンシャッタースピードは、マルチダイヤルでシンクロナスキャンシャッタースピードを選択しているときに、カメラキノウ画面のシンクロナスキャン項目で設定します。(P77)

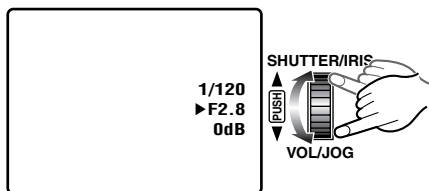
- テレビ画面やパソコンのモニター画面の周波数に合わせて、シャッタースピードを調整すると、テレビ画面を撮影したときに発生する水平方向のノイズを最小限にして、撮影することができます。

絞り調整とゲイン調整

- 4 マルチダイヤルを押すと、絞り値とゲイン値が表示されます。



- 5 マルチダイヤルを回して、絞り値を選択します。

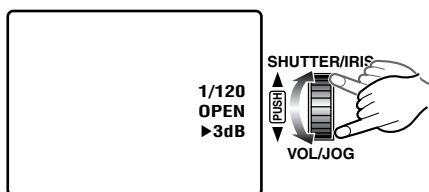


絞り値 (F 値)

CLOSE、F16、～ F1.7、OPEN

- 6 絞り値を OPEN にすると、▶ がゲイン値に移動します。

- 7 マルチダイヤルを回して、ゲイン値を選択します。



ゲイン値

0dB、3dB、～ 15dB、18dB、

- メニューを操作 (P71 - P74) して、スイッチモード画面のフォーカスリング項目で「シボリ」を選択すると、オートフォーカスモードで撮影を行っているときだけ、フォーカスリングで絞り調整とゲイン調整を行うことができます。(P80)

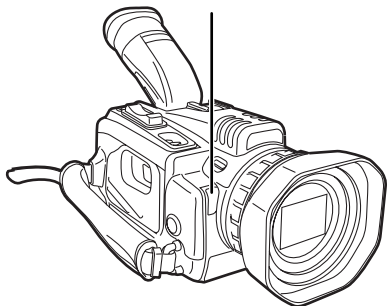
ホワイトバランス調整

オートホワイトバランス

AUTO/MANUAL 切り替えスイッチが AUTO の位置で撮影をしているときは、常にホワイトバランスを自動的に調整しながら記録を行います。

ホワイトバランスセンサーで、撮影時の光源を検知してホワイトバランスを調整していますので、センサーを手などでふさがないでください。

ホワイトバランスセンサー



オートホワイトバランスモードで本機を操作しているときに AWB LOCK 機能を割り当てた USER ボタン (P79) を押すと、ボタンを押したときのホワイトバランスを維持したまま操作することができます。

ボタンを押す毎に、オートホワイトバランスと AWB LOCK が切り替わります。

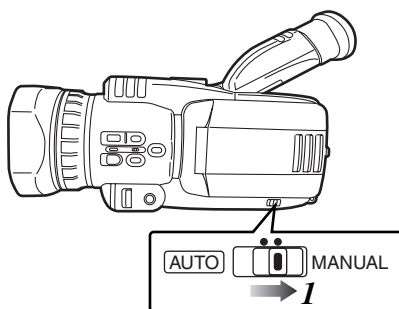
ホワイトバランスの設定

高精度なホワイトバランス調整が必要な場合は、ホワイトバランスの設定モードを選択してください。

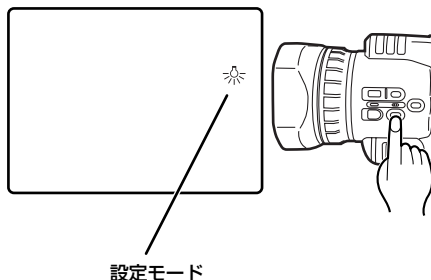
- 電源周波数が 50Hz の地域で撮影するときやホワイトバランスを調整するときは、シャッター速度を 1/100 の設定にして行ってください。

1 AUTO/MANUAL 切り替えスイッチを MANUAL の位置にします。

- AUTO 位置では、調整することができません。



2 WHITE BAL ボタンを押して、ホワイトバランスの設定モードを選択します。



W. LOCK : ロックモード

現在のホワイトバランスを維持

☀ : 屋内 (白熱電球) モード

白熱電球、ハロゲンランプ

* : 屋外モード

屋外の晴天下

☒ : セットモード

- 水銀灯、ナトリウムランプ、一部の蛍光灯
- ホテルの結婚式場のライトや劇場のスポットライト
- 日没・日の出など

表示なし : オートモード

スイッチモード画面のデジタルズーム項目 (P80) で「× 160」を選択してデジタルズームを行っているときは、ホワイトバランスの設定モードを選択することができません。

ホワイトバランス調整 (つづき)

ホワイトバランスの手動調整

セットモード (◻) には、ホワイトバランスを手動で調整した内容を記憶させておくことができます。

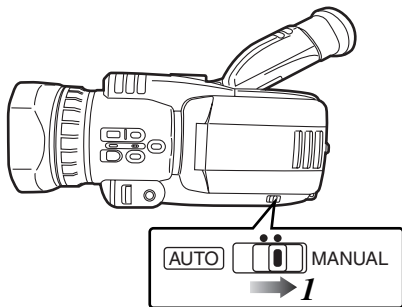
1 被写体の照明光源と同じ条件のところにホワイトパターンを置き、ズームアップして画面全体に白を写します。

被写体近くの白い物 (白布、白壁) を代用することもできます。

- 画面内に高輝度スポットや黄色い被写体を入れないようにしてください。

2 AUTO/MANUAL 切り替えスイッチを MANUAL の位置にします。

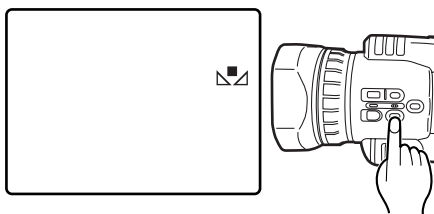
- AUTO 位置では、調整することができません。



3 ◻表示が点灯するまで、WHITE BAL ボタンを押したままにします。

◻表示は、点灯した後すぐに点滅します。

- ホワイトバランスの設定モードを選択していても、この操作が行えます。



4 自動的にホワイトバランスを調整します。その後、画面が一瞬暗くなり、自動的にブラックバランスの調整を行います。

調整が終わると、◻表示が点滅から点灯に変わります。

- 調整が終わるまで、被写体から画面を動かさないでください。

- 撮影中にこの操作を行ったときは、ブラックバランスの調整を行わずに、ホワイトバランスの調整だけを行います。
- 極端に明るい場所や、極端に暗い場所など、ホワイトバランスの調整がうまくできない場合は、◻表示が遅い点滅になります。
- スイッチモード画面のデジタルズーム項目 (P80) で「×160」を選択してデジタルズームを行っているときは、ホワイトバランスの手動調整を行うことができません。

オーディオレベルの調整

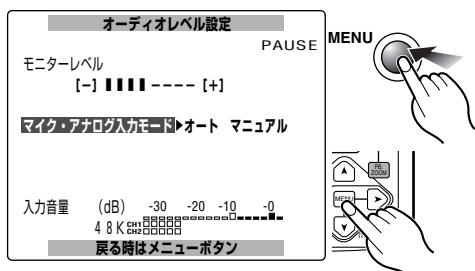
撮影する状況に合わせて、マイクから入力される音声レベルやヘッドホンの音量を調整することができます。

- AV IN/OUT ジャックに接続した機器からの音声入力を調整する場合は、「マイク入力の音声レベル調整」と同じ操作で調整することができます。

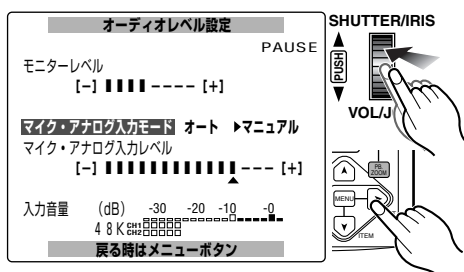
マイク入力の音声レベル調整

1 オーディオレベル設定画面が表示されるまで、MENU ボタンを押したままにします。

- CAMERA モードのときは、マイク・アナログ入力モード項目が選択された画面になります。マイク入力レベルを優先して調整することができます。また、VCR モードときは、モニターレベル項目が選択された画面になり、ヘッドホンとスピーカーの出力を優先して調整することができます。
- オーディオレベル設定画面では、本機の動作状態が画面右上に表示されます。

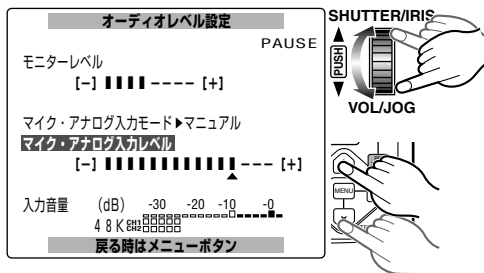


2 マルチダイヤルを押して、[▶] をマニュアルに移動します。

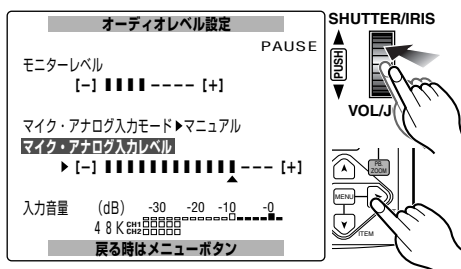


マイク・アナログ入力レベル項目が表示されます。レベルメーターの下に表示される [▲] は、基準レベルの位置を示します。

3 マルチダイヤルを回して、マイク・アナログ入力レベル項目に移動します。

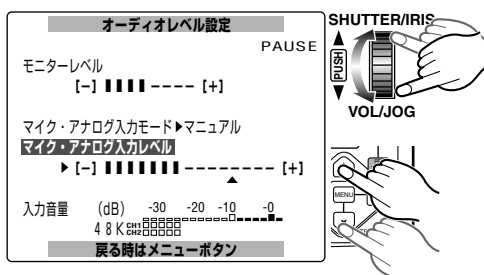


4 マルチダイヤルを押します。

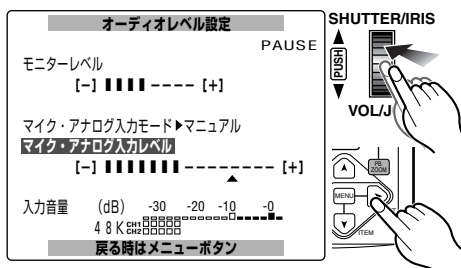


マイク・アナログ入力レベル項目のレベルメーター左に [▶] が表示されます。

5 マルチダイヤルを回して、マイク入力の音声レベルを調整します。

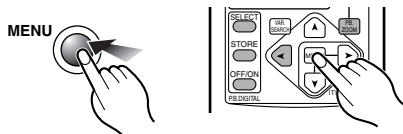


6 マルチダイヤルを押します。[▶] の表示が消えて、マイク入力の音声レベル調整が終了します。



オーディオレベルの調整 (つづき)

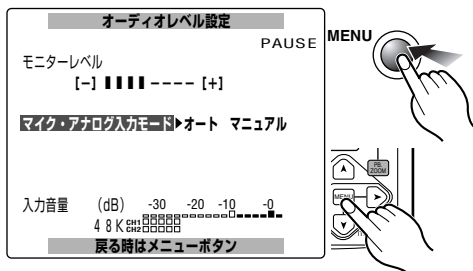
7 オーディオレベル設定画面を解除するとき
は、MENU ボタンを押します。



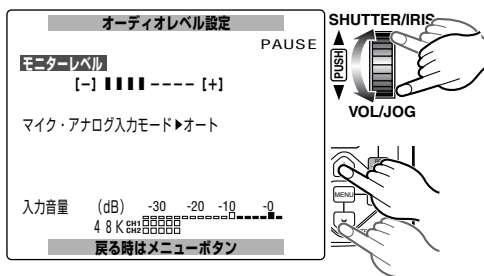
CH1 と CH2 の音声レベルは、連動して調整されます。

ヘッドホンの音量調整

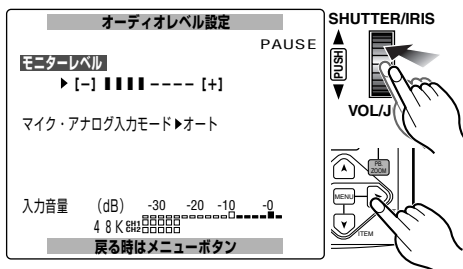
1 オーディオレベル設定画面が表示されるまで、MENU ボタンを押したままにします。



2 マルチダイヤルを回して、マイクモード項目
に移動します。

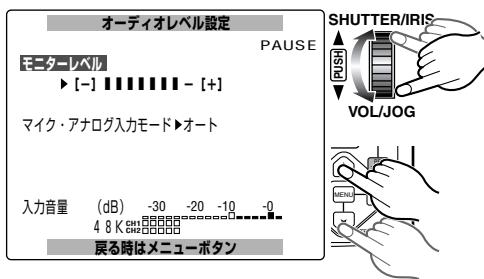


3 マルチダイヤルを押します。



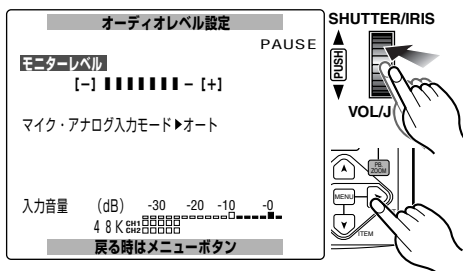
モニターレベル項目のレベルメーター左
に [▶] が表示されます。

4 マルチダイヤルを回して、ヘッドホンの音量
を調整します。

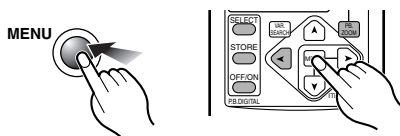


5 マルチダイヤルを押します。

[▶] の表示が消えて、ヘッドホンの音量調整
が終了します。



6 オーディオレベル設定画面を解除するとき
は、MENU ボタンを押します。



撮影

通常の再生

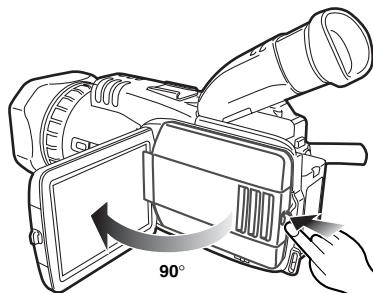
テープを再生する

撮影した映像を、その場で再生することができます。

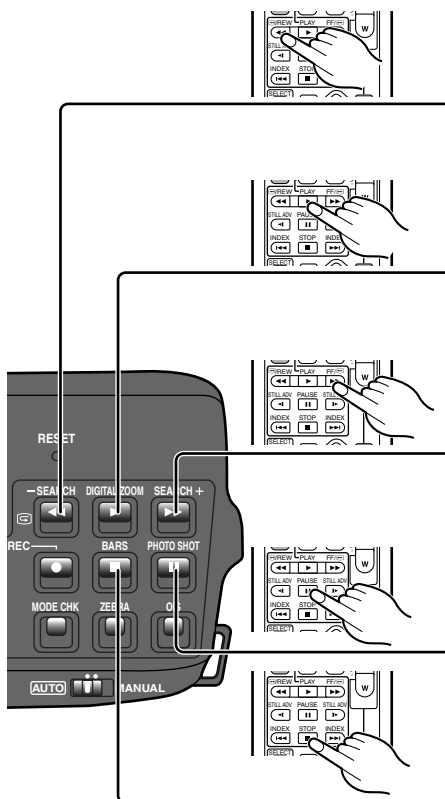
- 1 MODE の位置まで POWER レバーを回します。
VCR（緑）ランプが点灯し、操作モードが VCR モードになります。



- 2 パネルロックボタンを押しながら、液晶モニターを開きます。
開く角度は、90° までです。それ以上、無理に開くと、本機の故障につながります。



- 各操作ボタンを押してテープを再生させます。



停止中は、テープを巻き戻します。
再生中は、× 10 倍速でテープを巻き戻し再生します。

停止中は、テープを再生します。
再生中にこのボタンを押すと、可変速サーチモードになり、[1 ×] が表示されます。(P55)
このとき、音声は出ません。
(リモコンで可変速サーチモードにするときは、VAR.SEARCH ボタンを押します。)

停止中は、テープを早送りします。
再生中は、× 10 倍速でテープを再生します。

再生中にこのボタンを押すと、再生の一時停止状態になります。

テープを停止します。

テープ保護モード

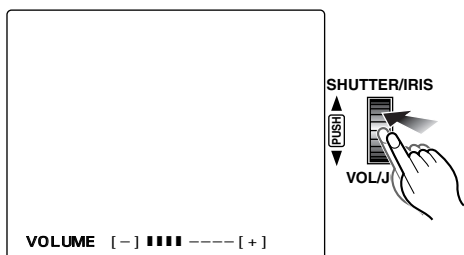
本機は、テープ保護のために再生一時停止や記録一時停止の状態では、約 5 分が経過すると自動的に停止状態になります。

ただし、低温時の再生一時停止状態では、停止状態になる時間が早くなります。

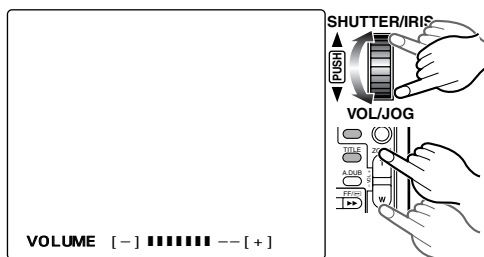
音量を調整する

テープを再生しているときのスピーカー音量を調整することができます。
ヘッドホンを使用しているときは、ヘッドホンの音量を調整します。

- 1 音声のレベルメーターが表示するまで、マルチダイヤルを押したままにします。



- 2 マルチダイヤルを回して、音量を調整します。



- 3 マルチダイヤルを押すと、レベルメーターの表示が消えます。



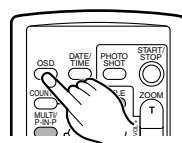
テレビに接続して見る

付属の AV ケーブルや S 映像コード (別売) を接続すると、テレビで再生映像を見ることができます。

- 1 本機とテレビを接続します。(P59)

- 2 本機を再生します。

- 液晶モニターやファインダーに表示されている情報 (カウンター、モード表示) をテレビ画面に表示するときは、リモコンの OSD ボタンを押します。再度、OSD ボタンを押すと、表示が消えます。

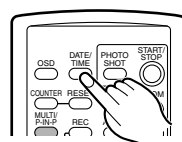


撮影日時を確認する

テープを再生しているときにリモコンの DATE/TIME ボタンを押すと、撮影日時を画面に表示することができます。

DATE/TIME ボタンを押す毎に、下記の表示に切り替わります。

- 時刻
- ↓
- 日付
- ↓
- 時刻と日付
- ↓
- 元の画面

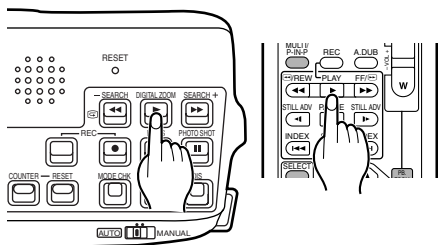


変速再生

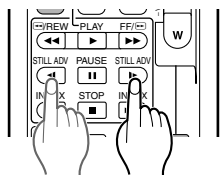
スロー再生

SPモードで記録されたテープは、約 1/5 の速度で再生することができ、LPモードで記録されたテープは、約 1/3 の速度で再生することができます。

1 テープを再生します。



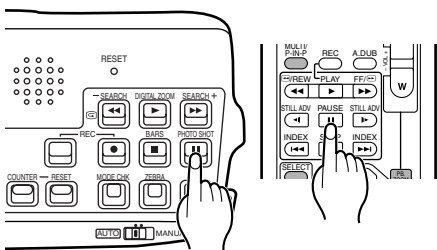
2 リモコンの STILL ADV (▶または◀) ボタンを押します。



- 通常の再生に戻すときは、(▶) ボタンを押します。

静止画再生

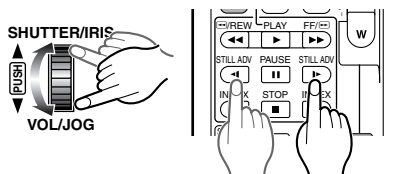
テープを再生しているときに (||) ボタンを押すと、再生の一時停止状態になり、静止画を再生することができます。



- 通常の再生に戻すときは、(▶) ボタンまたは (||) ボタンを押します。

コマ送り再生

静止画再生をしているときにマルチダイヤルを回すと、コマ送り再生することができます。マルチダイヤルを上に戻すと正方向の再生を行い、下に回すと逆方向の再生を行います。



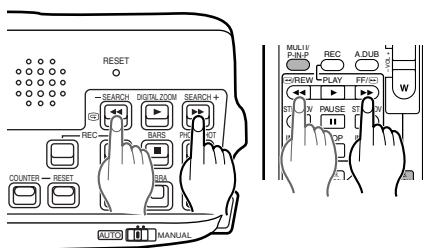
- 通常の再生に戻すときは、(▶) ボタンを押します。

早送り再生/巻き戻し再生

テープを再生をしているときに (▶▶) ボタンをポンと押すと、早送り再生を行います。(◀◀) ボタンをポンと押すと、巻き戻し再生を行います。

また、(▶▶) ボタンを押したままにすると、ボタンを押している間だけ、早送り再生を行います。

(◀◀) ボタンを押したままにすると、ボタンを押している間だけ、巻き戻し再生を行います。



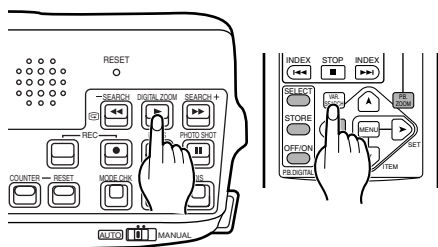
- 通常の再生に戻すときは、(▶) ボタンを押します。

サーチ機能

可変速サーチ

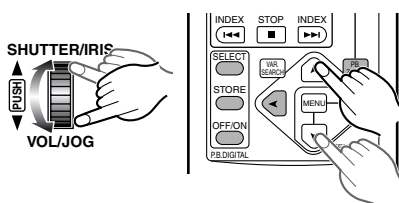
再生速度を変えて、場面を検索することができます。

- 1 テープの再生中に、(▶) ボタンを押します。リモコンの場合は、VAR.SEARCH ボタンを押します。



ビューファインダーや液晶モニターに [1 ×] が表示され、× 1 倍速でテープを再生します。このとき、音声は出ません。

- 2 マルチダイヤルを回します。マルチダイヤルを回すと、1/5 (LPモードは 1/3) 倍速、1 倍速、2 倍速、5 倍速、10 倍速、20 倍速と再生速度が変化します。マルチダイヤルを上に戻すと正方向の再生を行い、下に回すと逆方向の再生を行います。

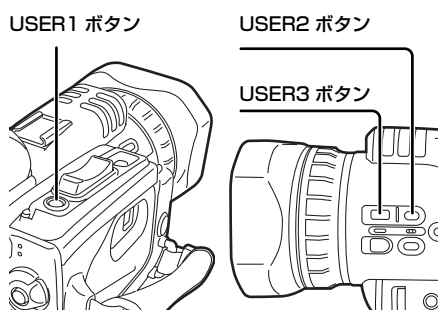


- 通常の再生に戻るときは、(▶) ボタンを押します。

ブランクサーチ

VCR モードのときに BLANK SEARCH 機能を割り当てた USER ボタン (P79) を押すと、撮影した場面の最後の部分 (テープの未使用部分) を探して、最後の場面の約 1 秒手前で静止画になります。

- テープに未記録部分がない場合は、テープ終端で止まります。
- 未記録部分を見つけたあと、そこから撮影を始めると、最後の部分からつなぎ撮りが始められます。



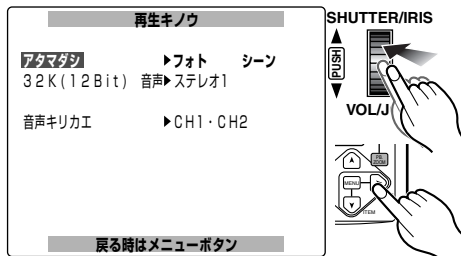
再生

インデックスサーチ

テープに記録されたインデックス信号を検索して、頭出しを行うことができます。

インデックスサーチは、付属のワイヤレスリモコンで行うことができます。

1 メニューを操作 (P71 - P74) して、再生キノウ画面のアタマダシ項目で、検索するインデックスを選択します。



フォト：

INDEX ボタンを押すと、前後にあるフォトインデックス信号が入った画像の頭出しを行います。

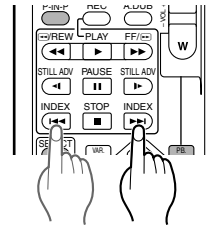
頭出しを行うと、約 4 秒間再生した後、その画像を静止画再生します。(5 分以上静止画再生が続くと、ヘッドの摩耗を防ぐために停止状態になります。)

シーン：

1 回 INDEX ボタンを押すと「S1」が表示され、前後にあるシーンインデックス信号が入った場面を頭出しします。

動作開始後、ボタンを押すごとに「S2」、「S3」と表示され、2 場面目以降の頭出しをすることができます。頭出しをすると、その部分から再生を始めます。(頭出しの指定ができるのは、前後 9 場面目までです。) インデックスとインデックスの間隔が 1 分以内の場合は、うまく働かないことがあります。

2 リモコンの INDEX ボタン (▶▶ または◀◀) を押します。



- サーチを途中でやめる場合は、STOP ボタン (■) を押します。

インデックスについて

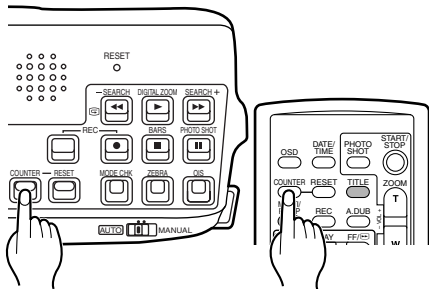
本機では、頭出しをするための目印となるインデックス信号を記録することができます。

- **フォトインデックス：**
フォトショットで撮影したときに記録されます。(P42)
- **シーンインデックス：**
インデックス記録を行ったときに記録されます。(P44、P79)

カウンター

カウンター表示

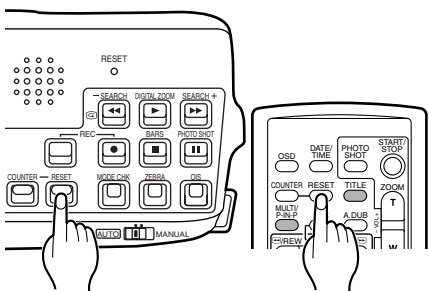
COUNTER ボタンを押すと、撮影や再生の経過時間を示すカウンターを表示することができます。



COUNTER ボタンを押す毎に、下記のデータに切り替わります。

- 0 : 00.0 : カウンター値
- ↓
- M 0 : 00.0 : カウンターメモリー
- ↓
- TC XX : XX : XX.XX : タイムコード
- ↓
- UB XX XX XX XX : ユーザーズビット
- ↓
- 元の画面に戻ります。

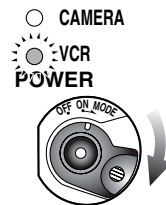
- カウンター値やカウンターメモリーを表示しているときにカウンター RESET ボタンを押すと、その位置でゼロにリセットできます。
- タイムコードとユーザーズビットは、カウンター RESET ボタンでリセットすることができません。



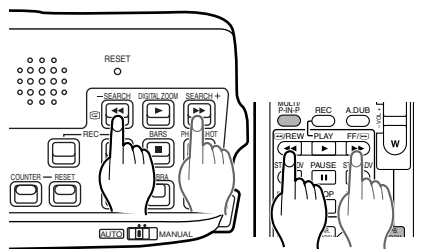
カウンターメモリー機能

撮影や再生を行った後、あらかじめカウンターメモリーでゼロにリセットした位置付近に戻して、自動的にテープを停止させることができます。

- 1 COUNTER ボタンを押して、カウンターメモリーを表示します。
- 2 テープの任意の位置で、カウンター RESET ボタンを押してカウンターメモリー表示をリセットします。
- 3 再生や撮影を行います。
- 4 POWER レバーを回して VCR モードにします。



- 5 テープの巻き戻しや早送りを行うと、カウンターメモリー表示をリセットした付近で、自動的にテープが停止します。

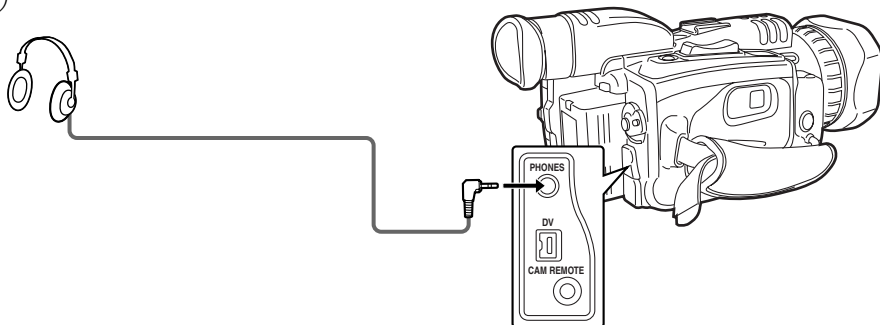


アフレコを行うときにこの機能を使って、アフレコの終了点を設定することができます。(P62)

外部機器の接続

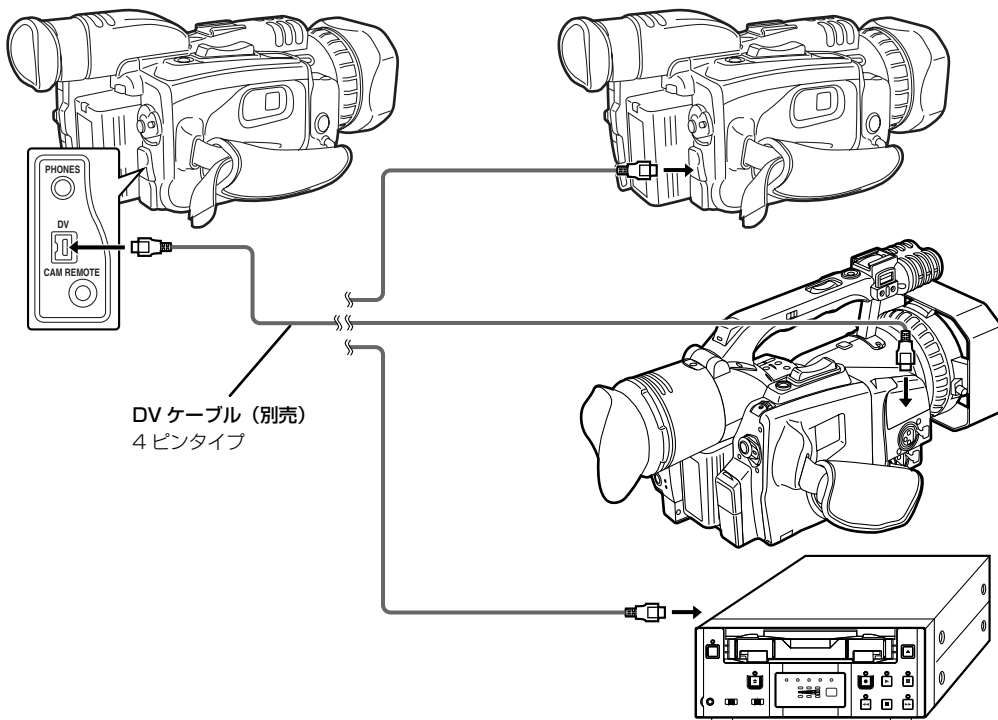
ヘッドホン

(P51)



デジタルビデオ機器

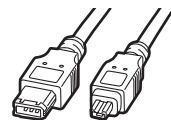
(P45、P64)



- DV ケーブル (IEEE1394) を接続するときや外すときは、必ず、接続する機器の電源を切ってから行ってください。
- 6 ピンタイプの DV 端子を使用している機器と接続する場合、DV ケーブルと端子の形状を良く確認して接続してください。逆に接続すると、本機内部の部品が破損し、故障の原因となります。

また、DV ケーブルは、6 ピンタイプの DV 端子を使用している機器側を先に接続してください。

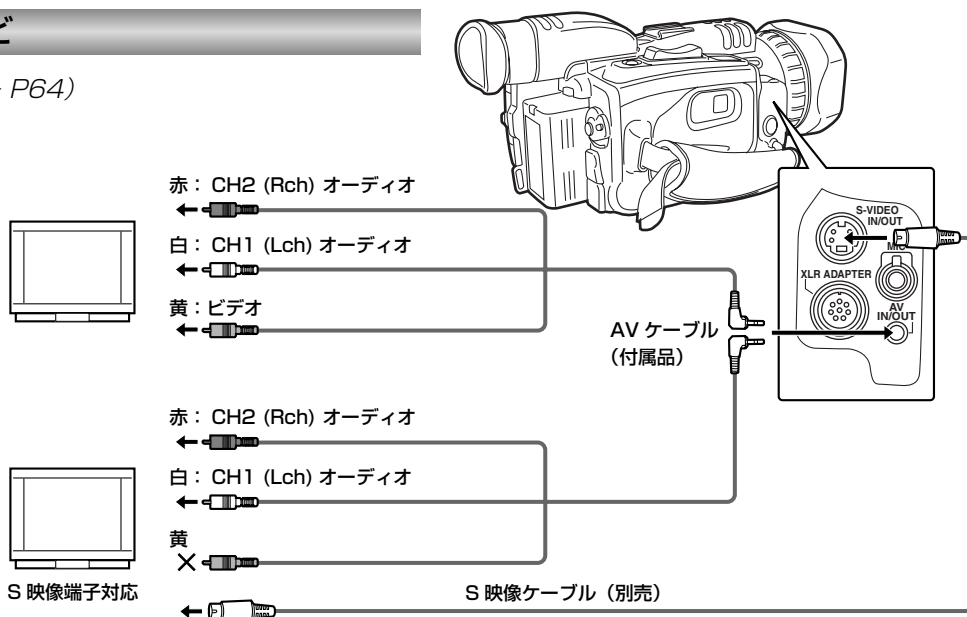
- 外部機器からの信号を記録する場合、映像信号が入力されていることを確認してから記録を行ってください。
- 外部機器から信号を記録しているときは、外部機器側で出力を停止したり、ケーブルを抜かないでください。再度記録を行うときに認識できないことがあります。
- DV 端子が搭載されているデジタルビデオ機器を接続して、映像信号や音声信号、また、タイムコードなどを、デジタルで伝送することができます。
- DV 端子に DV ケーブルを接続したときに、外部から強い負荷を加えないでください。端子が破損することがあります。



6ピンタイプ 4ピンタイプ

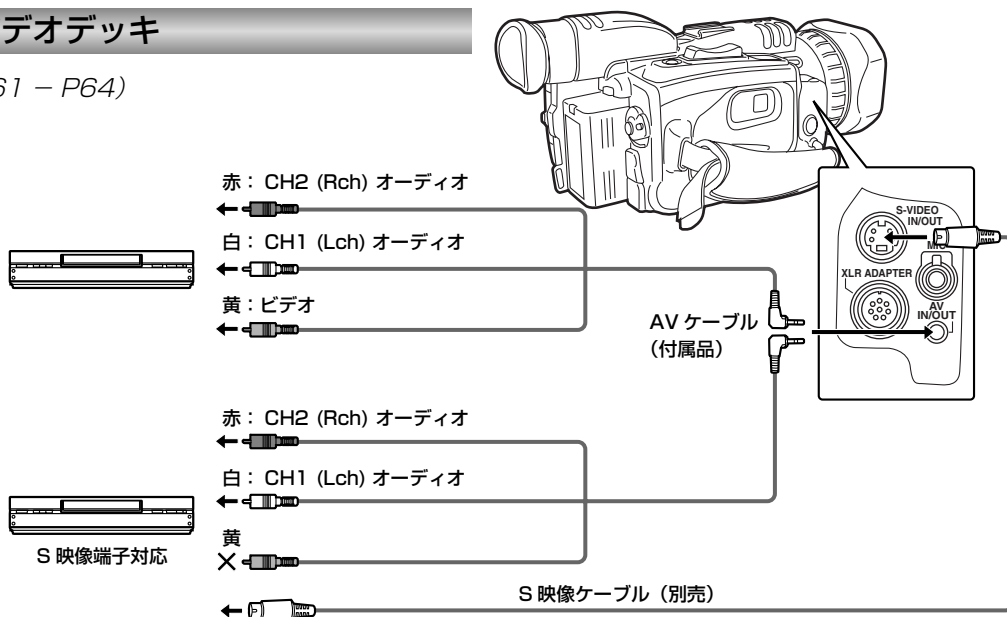
テレビ

(P61 - P64)



ビデオデッキ

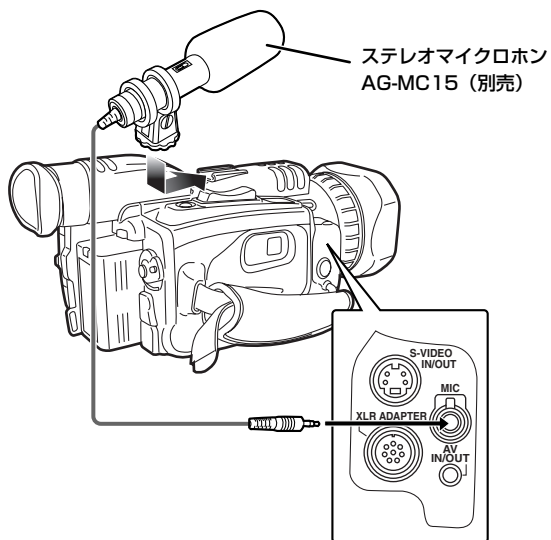
(P61 - P64)



- 外部機器を接続して、外部機器の映像信号や音声信号を本機に入力する場合、外部機器の出力端子に接続します。
- 外部機器を接続して、本機の映像信号や音声信号を外部機器に出力する場合、外部機器の入力端子に接続します。
- S-VIDEO IN/OUT 端子と AV IN/OUT ジャックの両方に映像信号が入力されている場合、S-VIDEO IN/OUT 端子の信号が優先されます。
- アフレコを行うとき以外は、S-VIDEO IN/OUT 端子や AV IN/OUT ジャックに映像信号が入力されていないと、音声信号を記録することができません。

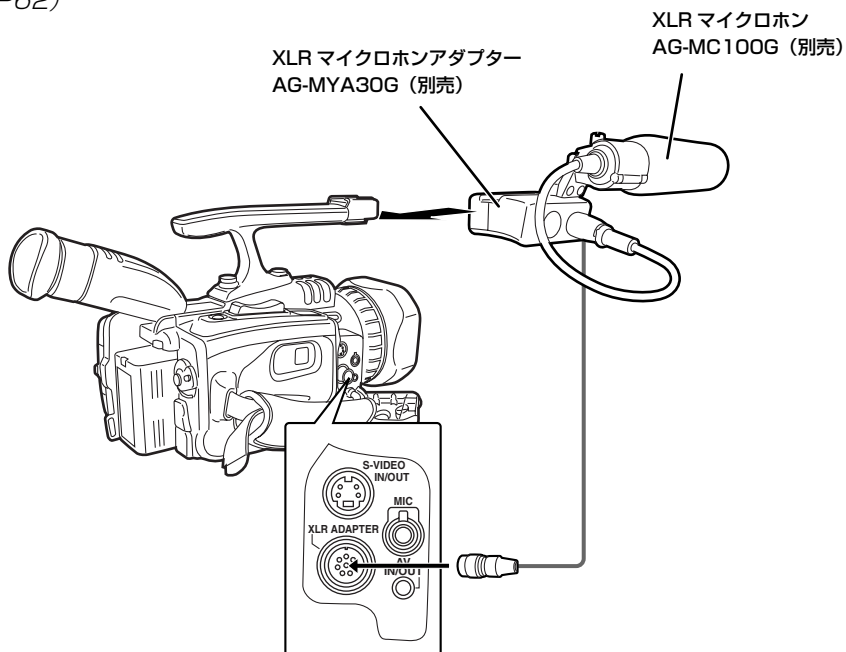
外部マイク (ピンジャック対応)

(P61、P62)



外部マイク (XLR 対応)

(P61、P62)



アフレコ

テープに撮った映像に、BGM やナレーションを入れることができます。(P59、P60)

1 POWER レバーを回して、本機を VCR モードにします。



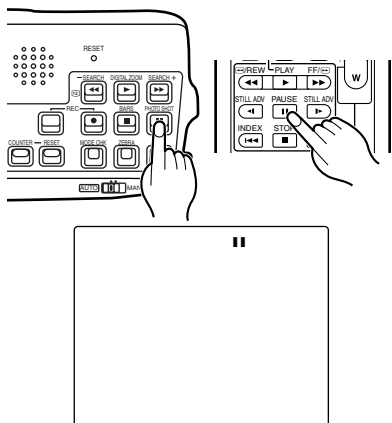
2 メニューを操作 (P71 - P74) して、記録設定画面の音声記録項目で、音声の記録方式を選択します。(P80)

- 32K(12bit) :**
12bit/32kHz (4 チャンネル) で音声を記録します。アフレコを行っても撮影時の音声を残しておく場合は、このモードにしてください。
- 48K(16bit) :**
16bit/48kHz (音質の良い 2 チャンネル) で音声を記録します。アフレコを行うと、撮影時の音声が消えます。

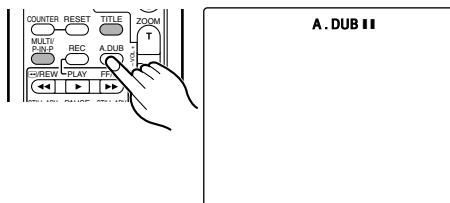
3 AV 入出力設定画面のアフレコ入力項目で、記録する音声を選択します。(P82)

- マイク :**
内蔵のマイクロホンや外部マイクの音声を記録します。
- アナログ入力 :**
AV IN/OUT ジャックに接続したオーディオ機器の音声を記録します。

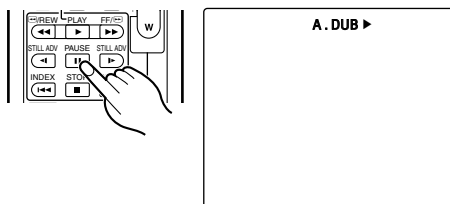
4 音声を入れる場面を探し、静止画再生の状態にします。(P54)



5 リモコンの A. DUB ボタンを押して、アフレコの準備状態にします。



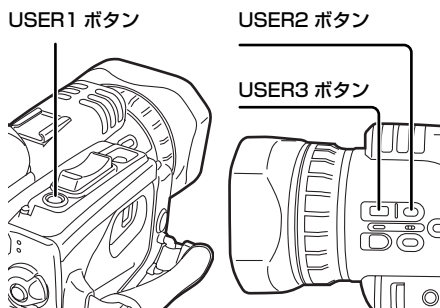
6 リモコンの PAUSE ボタン (||) を押し、音声を入力してアフレコを開始します。



7 リモコンの PAUSE ボタン (||) を押すと、静止画再生の状態になります。引き続きアフレコを行うときは、5・6を繰り返します。

8 リモコンの STOP ボタン (■) を押すと、アフレコを終了します。

カメラレコーダー本体の USER ボタンに AUDIO DUB 機能を割り当てると、リモコンの PAUSE ボタン (||) と同じようにアフレコを行うことができます。



■ アフレコした音声を聞く

再生キノウ画面の 32K (12bit) 音声項目の設定で、アフレコした音声と撮影時の音声を切り替えることができます。(P78)

ステレオ 1 :

撮影時の音声を再生します。

ステレオ 2 :

アフレコした音声を再生します。

ミックス :

撮影時の音声とアフレコした音声を同時に再生します。

■ 音声を聞きながらアフレコする

アフレコの一時停止状態のときに「ステレオ 2」に設定すると、音声を確認することができます。

マイク入力でアフレコを行っているときは、ヘッドホンを使うと音声を聞きながらアフレコすることができます。

ライン入力 (AV IN/OUT ジャックに接続したオーディオ機器) でアフレコを行っているときは、スピーカーで音声を聞きながらアフレコすることができます。

■ カウンターメモリー機能を使ってアフレコの編集をする

- ① あらかじめ、アフレコを終了させる位置でカウンターメモリー表示をリセットしておきます。(P57)
- ② アフレコを開始する位置までテープを巻き戻してアフレコを開始します。
- ③ リセットした位置で自動的にテープが停止します。

■ 音声入力のレベルを調整する

マイク入力やライン入力 (AV IN/OUT ジャックに接続した機器) の音声レベルを調整するときは、「マイク入力の音声レベル調整」(P50) の操作を行ってください。

■ 音声出力のレベルを調整する

ヘッドホンやスピーカーから出力される音声レベルを調整するときは、「ヘッドホンの音量調整」(P51) の操作を行ってください。

各入力と記録される音声トラック

入力	撮影時	アフレコ時 32K (12bit) モード		マイク入力の優先順位 高い ↓ 低い
		アフレコ入力項目： マイク	アフレコ入力項目： アナログ入力	
外部マイク Lch	CH1	CH3	—	
外部マイク Rch	CH2	CH4	—	
INPUT 1 (XLR マイク) *	CH1	CH3	—	
INPUT 2 (XLR マイク) *	CH2 (CH1)	CH4 (CH3)	—	
内蔵マイク Lch	CH1	CH3	—	
内蔵マイク Rch	CH2	CH4	—	
オーディオ IN/OUT CH1 (Lch) (白のピンジャック)	—	—	CH3	
オーディオ IN/OUT CH2 (Rch) (赤のピンジャック)	—	—	CH4	

- 撮影時に記録される音声は、マイク入力の優先順位により自動的に決まります。
- アフレコ時に記録する音声トラックは、AV 入出力設定画面のアフレコ入力項目で変更することができます。(P82)

* XLR マイクを使用する場合は、XLR マイク用アダプター (AG-MYA30G : 別売) が必要になります。(P60)

ダビング

アナログ入力

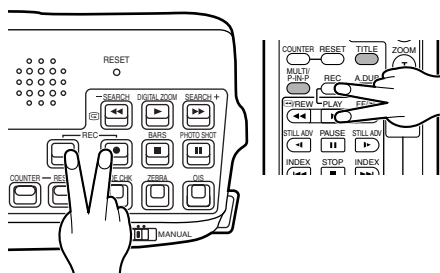
S-VHS(VHS)カセットの内容を DV カセットにダビングしたり、テレビ番組を録画することができます。(P59)

1 POWER レバーを回して、本機を VCR モードにします。



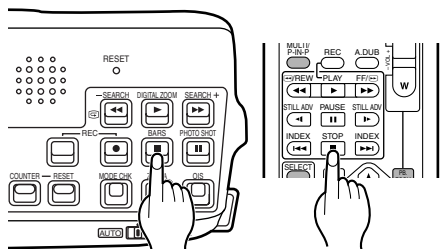
2 外部機器の電源を入れて再生を行います。

3 REC 補助ボタンを押しながら REC ボタンを押して記録を開始します。
リモコンの場合は、REC ボタンを押しながら PLAY ボタンを押します。



- 静止画再生 (P54) のときにこの操作を行うと、記録一時停止になります。
記録一時停止から記録を開始する場合は、(II) ボタンを押してください。

4 (■) ボタンを押して記録を終了します。



5 外部機器の再生を終了させます。

■ 音声入力のレベルを調整する

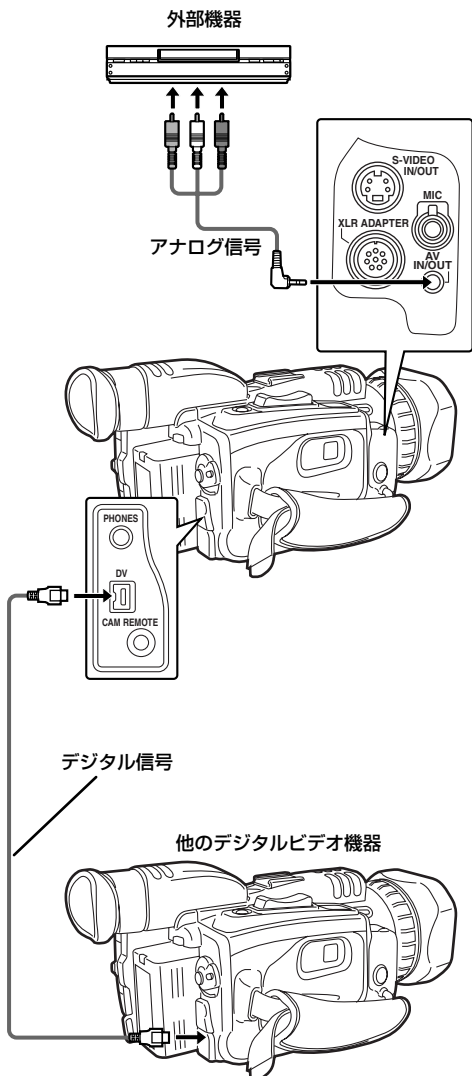
マイク入力やライン入力 (AV IN/OUT ジャックに接続した機器) の音声レベルを調整するときは、「マイク入力の音声レベル調整」(P50) の操作を行ってください。

アナログ入力

■ AD (アナログ/デジタル) 変換について

メニューを操作 (P71 - P74) して、AV 入出力設定画面の DV 出力項目を「入」に設定すると、本機を AD (アナログ/デジタル) 変換として使うことができます。(P82)

外部機器からアナログ信号で入力した映像を、本機の DV 端子を通して、他のデジタルビデオ機器にデジタル信号で出力することができます。



- 通常は、DV 出力項目を「切」にしておいてください。「入」に設定していると、映像が乱れることがあります。

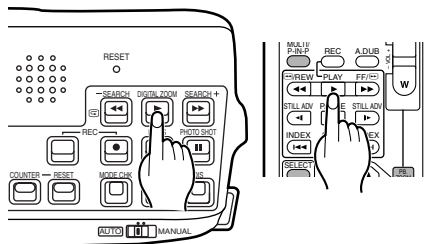
アナログ出力

本機で撮った映像を、ビデオデッキを使って S-VHS (VHS) カセットにダビングすることができます。(P59)

- 1 POWER レバーを回して、本機を VCR モードにします。



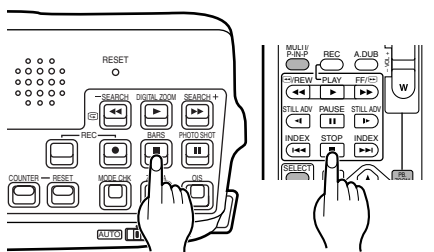
- 2 (▶) ボタンを押して本機を再生します。



- 3 ビデオデッキの記録を開始します。

- 4 ビデオデッキの記録を終了させます。

- 5 (■) ボタンを押して本機の再生を終了します。



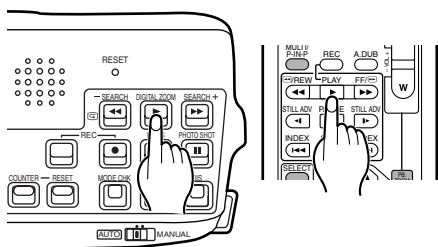
デジタル入出力

DV 端子 (IEEE1394 端子) を持ったデジタルビデオ機器と DV ケーブル (別売) で接続すると、デジタル信号による高画質なダビングを行うことができます。(P58)

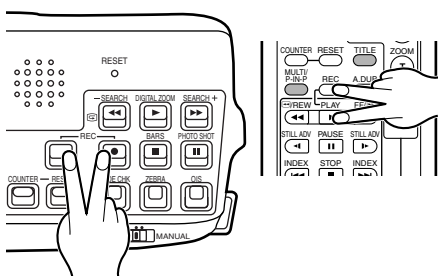
1 POWER レバーを回して、再生側の機器と記録側の機器を VCR モードにします。



2 (▶) ボタンを押して、再生側で再生を行います。

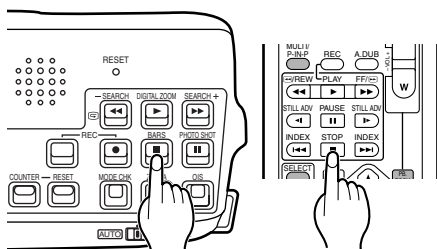


3 REC 補助ボタンを押しながら REC ボタンを押して、記録側で記録を開始します。リモコンの場合は、REC ボタンを押しながら PLAY ボタンを押します。

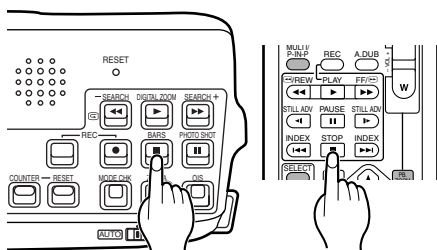


- 静止画再生 (P54) のときにこの操作を行うと、記録一時停止になります。記録一時停止から記録を開始する場合は、(||) ボタンを押してください。

4 (■) ボタンを押して、記録側の記録を終了させます。

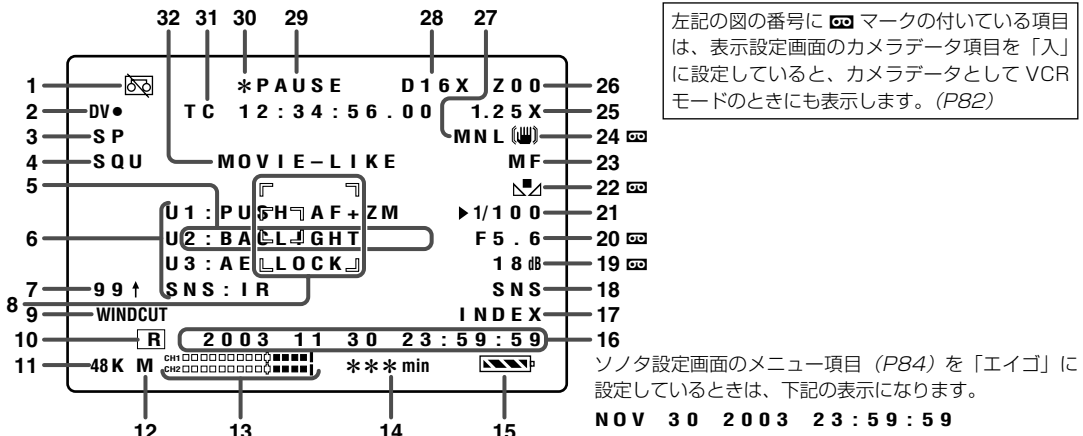


5 (■) ボタンを押して、再生側の再生を終了します。



- デジタルダビングを行ったときの音声は、記録側のメニュー設定に関係なく、再生側のテープと同じ音声モードで記録されます。
- 記録側のメニューで、1394 TC リジエネ項目や 1394 UB リジエネ項目を「入」に設定してダビングを行うと、再生側のタイムコードやユーザズビットをコピーすることができます。(P80、P81) このとき、再生側の映像を受信していることを記録側の画面で確認してから、記録を開始してください。記録側で受信していないときに記録を開始すると、タイムコードやユーザズビットを正しくコピーすることができない場合があります。

CAMERA モードと VCR モードでの表示



1. ワーニング情報

REMOTE :

ワイヤレスリモコンの機器設定が違う場合、点滅します。(P28)



本機内部に結露が発生したときに点滅します。(P88)



シリンダーヘッドが汚れているときに点滅します。



カセットテープが挿入されていないときや記録禁止状態のときに点滅します。



テープが終端位置になったときに点滅します。



ミラーモードで対面撮影を行っているときに、本機に異常が発生すると点滅します。



カレンダー用の内蔵電池が消耗しているときに点滅します。(P33)


2. バックアップ用機器の状態

DV 端子に接続されている、バックアップ機器の状態を表示します。

ソノタ設定画面の DV コントロール項目を、「切」に設定している则表示しません。(P83)

DV ● : 記録

DV II : 記録待機

 : バックアップ機器が制御できない

DV : バックアップ機器が未接続

DV -- : バックアップ機器は接続されていますが、記録や記録待機状態になっていない

3. 記録時間モード

SP : SP (標準) モード

LP : LP (長時間) モード

4. スクイーズ情報

カメラキノウ画面のガカク設定項目でスクイーズを選択して記録を行っているときや、スクイーズモードで記録された映像を再生しているときに表示します。(P43、P77)

5. 設定切り替え

スイッチを切り替えたり、ボタンを押して設定を切り替えたときに、切り替わった設定を表示します。

CAMERA モードと VCR モードでの表示

6. ボタン機能

MODE CHK ボタンを押している間、USER ボタンに割り当てた機能 (P79) と高感度撮影のモード (P40) を表示します。

7. 映像レベル

マーカー付近の映像レベルを表示します。(P42)

8. マーカー

撮影時に ZEBRA ボタンを 2 度押すと、マーカーを表示します。(P42)

9. ウィンドノイズリダクション

記録設定画面のウィンド NR 項目で「入」を選択しているときに表示します。(P41、P80)

10. タイムスタンプ

記録設定画面の日時記録項目で「入」を選択しているときに表示します。日付や時刻を映像としてテープに記録します。(P40、P80)

11. オーディオ記録方式

デジタル音声の記録方式を表示します。(P80)

12. マイクマニュアルモード

内蔵マイクや外部マイクで、マニュアル記録を行うときに表示します。(P50)





13. オーディオレベルメーター



音声の入出力レベルを表示します。


14. テープ残量

テープの残り時間を表示します。計算中は無表示になります。また、スロー再生を行っているときは、テープ残量が表示されません。

15. バッテリー残量

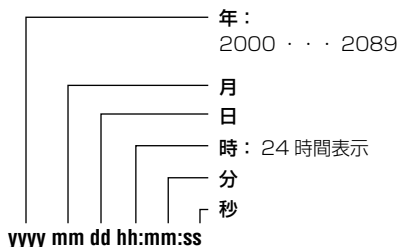
バッテリーの残量が少なくなるにつれ、    と変わります。

容量が無くなると、 () が点滅します。

(AC アダプター使用時に  以外が表示される場合がありますが、問題ありません)

16. カレンダー

現在の日付と時刻を表示します。BARS ボタンを押してカラーバーを表示しているときは、表示設定画面の ID 設定項目で設定した ID 情報を表示します。



17. インデックス記録

記録中に、あらかじめ INDEX 機能を割り当てた USER ボタンを押して、インデックス信号を記録するときに点灯します。(P44、P79)

記録の前に INDEX ボタンを押すと、点滅します。(インデックス信号記録の待機状態)

18. 高感度撮影モード


SNS ボタンを押して高感度撮影を行うときに表示します。(P40)


19. ゲイン値

撮影時のゲイン値を表示します。(P47)

20. 絞り値

撮影時の絞り値 (F 値) を表示します。(P47)

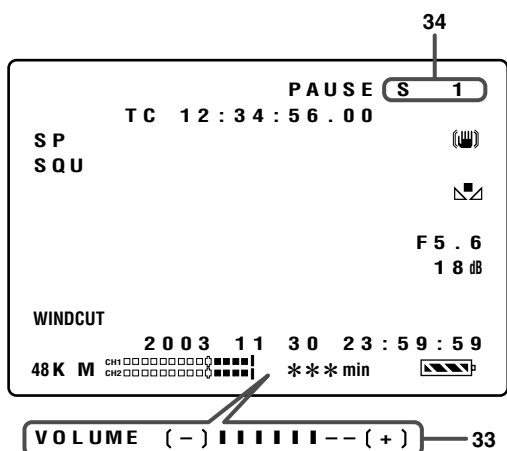
逆光補正を行っているときは、 を表示します。(P44)

スポットライトモードのときは、 を表示します。(P79)

CAMERA モードと VCR モードでの表示

21. シャッタースピード
撮影時のシャッタースピードを表示します。(P46)
22. ホワイトバランス情報
ホワイトバランスの情報を表示します。(P48、P49)
23. マニュアルフォーカス制御
フォーカス (ピント合わせ) をマニュアルで制御にしたときに表示します。(P45)
24. 手ぶれ補正 (📷)
手ぶれ補正機能が働いているときに表示されます。(P41)
25. デジタルズーム
デジタルズーム機能が働いているときに表示されます。(P39)
26. ズームポジション
Z00 (広角最大) ~ Z99 (望遠最大) でズームポジションを表示します。
27. 操作制御
本機の操作制御を表示します。
無表示 : オート (自動) モード
MNL : マニュアル (手動) モード
AELOCK : AE ロック機能が働いているとき (P44)
28. ズーム値
ズーム倍率を変更したときに、数秒間表示します。
デジタルズーム機能が働いているときは、「D」が表示されます。
29. 動作状態表示
REC : 記録
● : 記録 (対面撮影時)
PAUSE : 記録待機
● || : 記録待機 (対面撮影時)
⏮ : 再生一時停止
STNDBY : スタンバイ (シリンダーヘッドを停止)
- A. DUB ⏮ : アフレコ記録待機
A. DUB ▷ : アフレコ記録
▷ : 再生
▷▷ (◀◀) : 早送り/早送り再生 (巻き戻し/巻き戻し再生)
⏮▷ (◀◀) : スロー再生 (逆方向スロー再生)
CHK : レックチェック
▷▷ (KK) : 頭出し (逆方向頭出し)
⏮▷▷ (◀◀◀) : コマ送り再生 (逆方向コマ送り再生)
BLANK : ブランクサーチ
×▷/×▷▷ (×◀/×◀◀) : 可変速サーチ (逆方向可変速サーチ)
30. ワンショット録画
コマ撮り撮影に設定されているときに「*」を表示します。撮影の一時停止モードのときは点滅します。(P43)
31. カウンター
COUNTER ボタンを押す毎に、下記のデータに切り替わります。
0 : 00. 0 : カウンター値
M 0 : 00. 0 : カウンターメモリーモードのカウンター値
TC XX : XX : XX. XX : タイムコード値
タイムコード値がテープから正しく読み取れなかったときには、[TC*] を表示します。
UB XX XX XX XX : ユーザーズビット値
ユーザーズビット値がテープから正しく読み取れなかったときには、[UB*] を表示します。
32. 使用ファイル名
現在撮影に使用しているシーンファイルの名前を表示します。(P77)

VCR モードだけの表示



33. モニター音量レベルメーター

マルチダイヤルを押すと、内蔵スピーカーと PHONES ジャックから出力される音量のレベルメーターが表示されます。

34. サーチ番号

インデックスサーチを行ったインデックス番号を表示します。(S1 ~ S9)

警告表示

本機やテープ等の関する異常が発生したときは、下記のメッセージを画面中央に表示します。

UNPLAYABLE TAPE (OTHER FORMAT)

テープフォーマットが違うため、再生することができません。

COPY INHIBITED

コピーガードされている入力信号なので、正しく記録することができません。

UNABLE TO A. DUB (LP RECORDED)

LP モードで記録されているテープなので、アフレコを行うことができません。

INCOMPATIBLE TAPE

規格が違うテープ(データ保存用テープなど)なので、使用することができません。

EXTERNAL DV DISCONNECT

ソノタ設定画面の DV コントロール項目を「ガイブ」に設定して、DV 端子に外部機器を接続しないで撮影を行ったときに表示します。(P45、P58、P83)

FOCUS LOCK

フォーカス動作に異常が発生したときに表示します。

ZOOM LOCK

ズーム動作に異常が発生したときに表示します。

PSD NG

手ぶれ検出機能に異常が発生したときに表示します。

AUTO OFF

テープ走行系の異常が発生したときに、AUTO OFF を表示します。AUTO OFF が表示したときは、本機の電源が自動的に OFF になります。

CYLINDER LOCK

LOADING LOCK

LOW BATTERY

S REEL LOCK

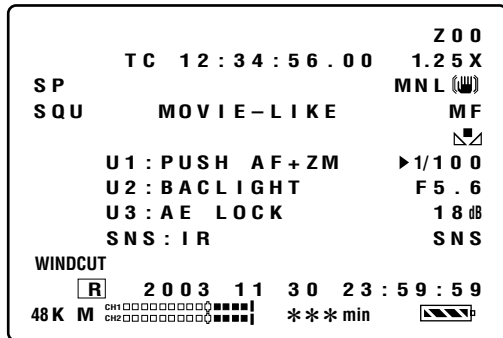
(サブライリールロック)

T REEL LOCK

(テイクアップリールロック)

UNLOADING LOCK

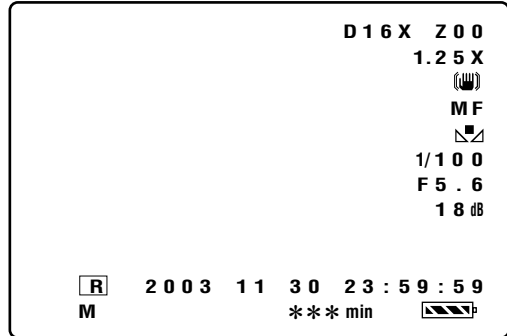
MODE CHK ボタンで表示



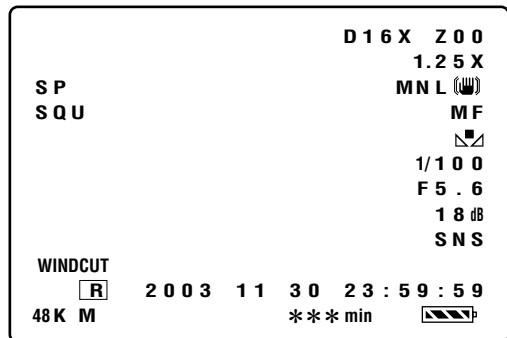
表示モード項目の設定

メニューを操作 (P71 - P74) して、表示設定画面の表示モード項目の設定で、表示する情報量を設定できます。(P82)

「カンタン」に設定



「ショウサイ」に設定



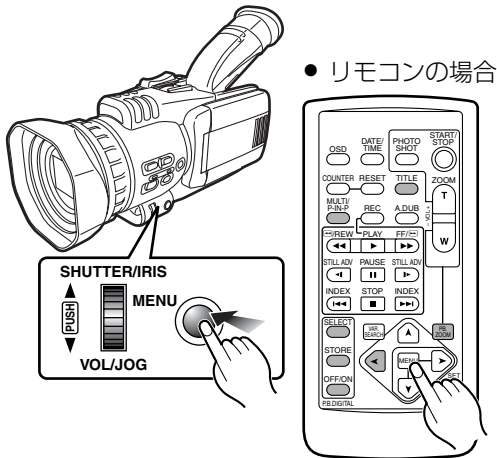
メニューの操作

撮影シーンや記録内容に合わせて、本機の設定をメニューで変更することができます。

- 撮影中や記録中は、メニューの操作を行うことができません。

メニューモードにする

1 MENU ボタンを押します。



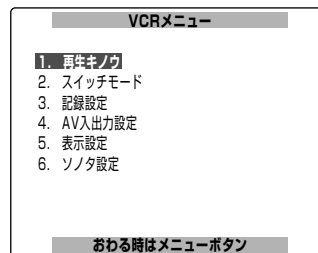
メイン項目が、画面に表示されます。

- CAMERA モードのときは、カメラメニューが表示され、VCR モードのときは、VCR メニューが表示されます。

[CAMERA モード]



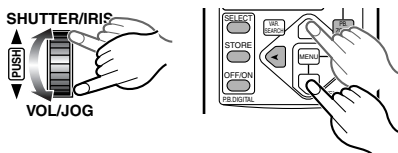
[VCR モード]



メニューの操作 (つづき)

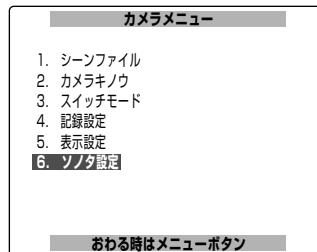
メイン項目を選ぶ

2 マルチダイヤルを回します。

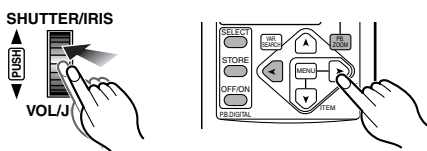


反転表示している項目が移動します。

例：



3 選択する項目の位置でマルチダイヤルを押します。



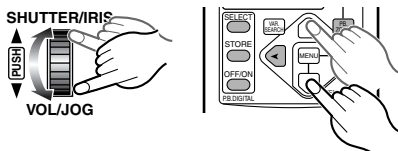
サブ項目が表示されます。

例：



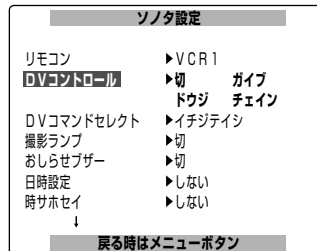
サブ項目を選ぶ

4 マルチダイヤルを回します。



反転表示している項目が移動します。

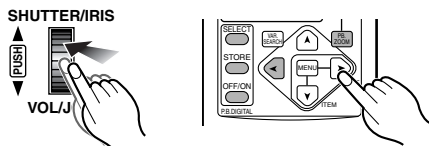
例：



設定値を決める

設定値を選択する項目の場合

- 5 変更する項目の位置でマルチダイヤルを押し、**[▶]** を変更したい設定値に移動します。



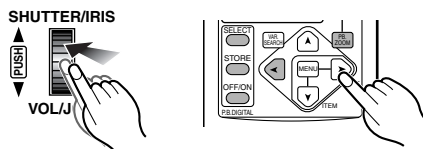
設定が変更されます。

例：

ソノタ設定	
リモコン	▶VCR1
DVコントロール	切 ▶ガイブ ドゥジ チェイン
DVコマンドセレクト	▶イチジテイシ
撮影ランプ	▶切
おしらせブザー	▶切
日時設定	▶しない
時サホセイ	▶しない
↓	
戻る時はメニューボタン	

数値を変更する項目の場合

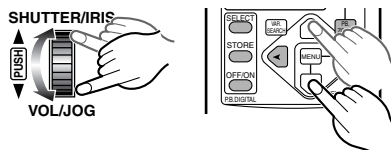
- 5 変更する項目の位置でマルチダイヤルを押し、マルチダイヤルを押しして変更する数値の位置に **[▶]** を移動します。



例：

ソノタ設定	
リモコン	▶VCR1
DVコントロール	▶切
DVコマンドセレクト	▶イチジテイシ
撮影ランプ	▶切
おしらせブザー	▶切
日時設定	▶しない
時サホセイ	しない ▶OFF
↓	
戻る時はメニューボタン	

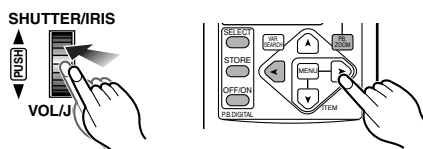
- マルチダイヤルを回して、設定値を変更します。



例：

ソノタ設定	
リモコン	▶VCR1
DVコントロール	▶切
DVコマンドセレクト	▶イチジテイシ
撮影ランプ	▶切
おしらせブザー	▶切
日時設定	▶しない
時サホセイ	しない ▶+2h
↓	
戻る時はメニューボタン	

- 設定値が決まるとマルチダイヤルを押しします。



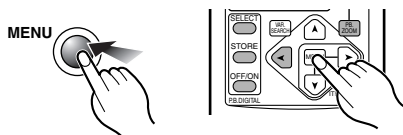
メニューの操作 (つづき)

他のサブ項目を設定する

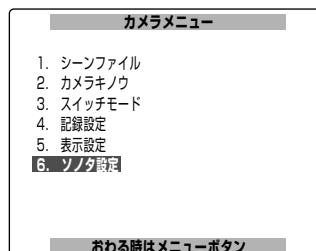
6 他のサブ項目を設定する場合は、4・5 を繰り返します。

メイン項目の画面に戻る

7 MENU ボタンを押します。



例：

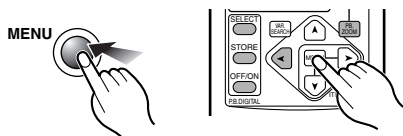


他のメイン項目を設定する

8 他のメイン項目を設定する場合は、2～5 を繰り返します。

メニューモードを解除する

9 再度、MENU ボタンを押します。



メニュー画面の表示を英文にする

ソノタ設定画面のメニュー項目を「エイゴ」に設定すると、メニュー画面と日付の表示が英文に変更されます。(P84)

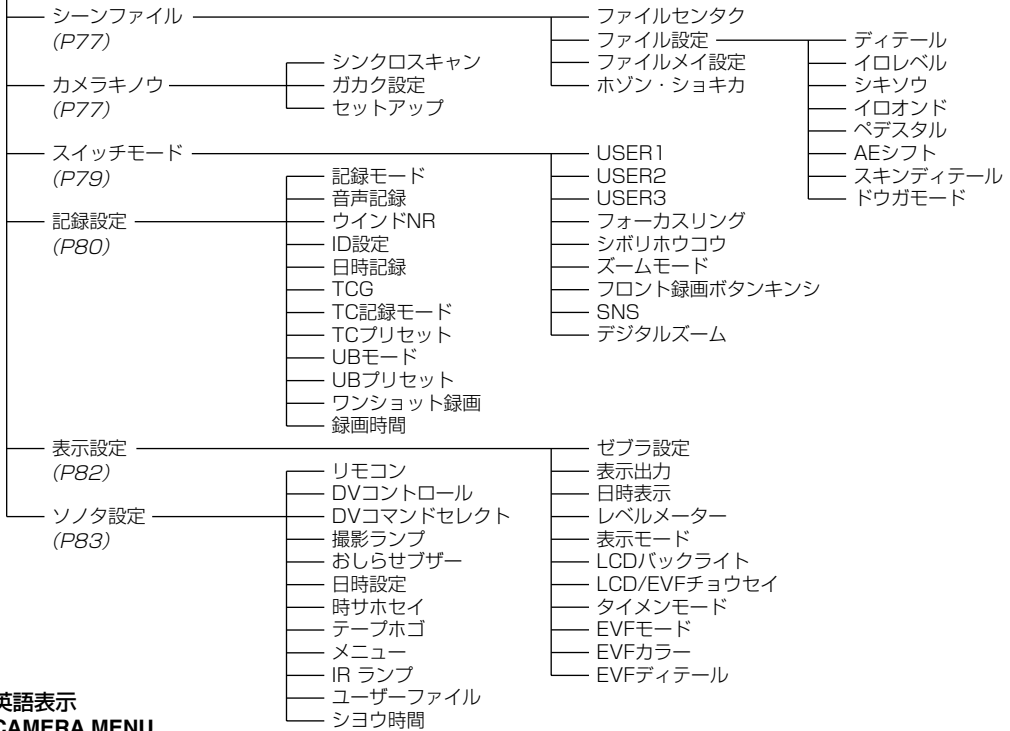
メニューの設定を初期化する

- ソノタ設定画面のユーザーファイル項目で「ショキカ」を選択すると、現在使用しているユーザーファイルのメニュー設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。(P84)
- シーンファイル (シーンファイル画面のファイルセンタク項目内) を使用しているときは、シーンファイル画面のホゾン・ショキカ項目で「ショキカ」を選択すると、シーンファイルのメニュー設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。(P77)

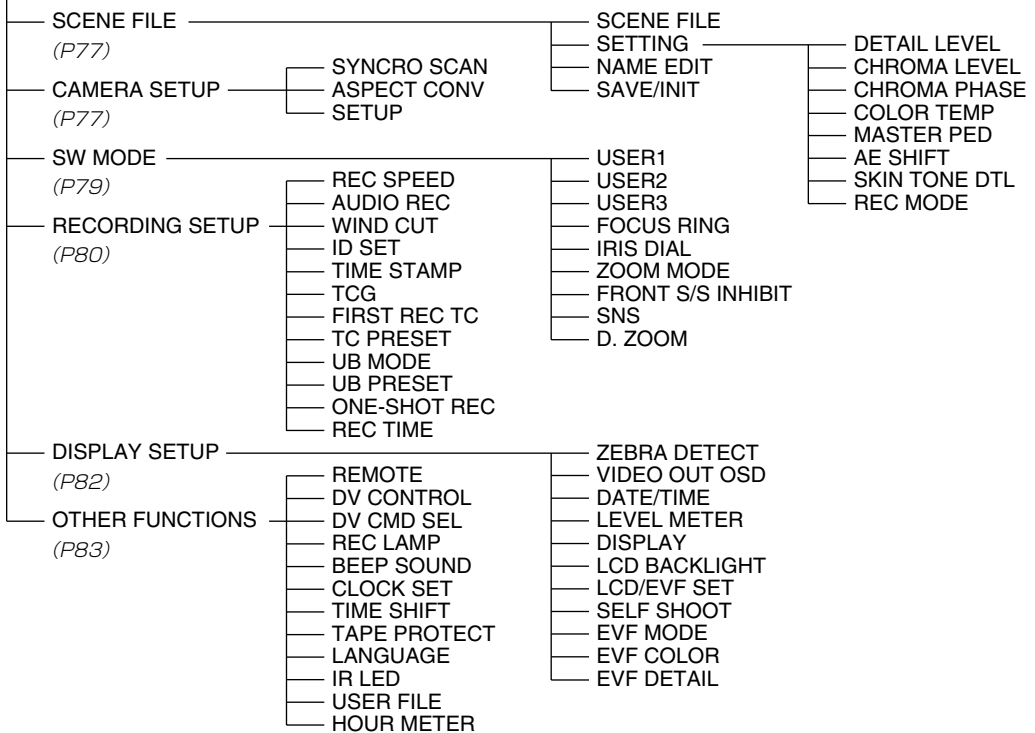
メニューの構成

CAMERA モードのメニュー

日本語表示 カメラメニュー

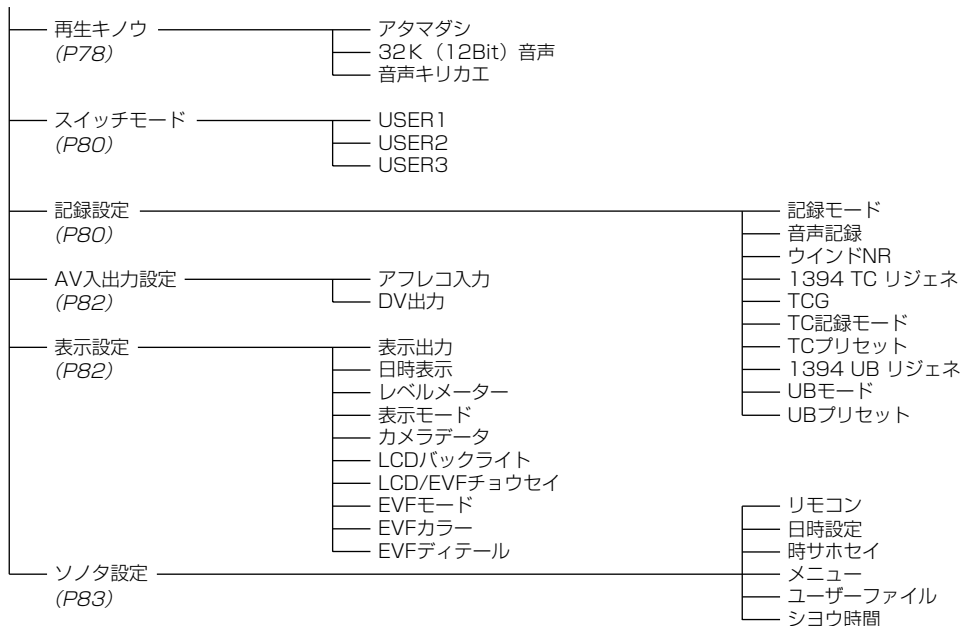


英語表示 CAMERA MENU

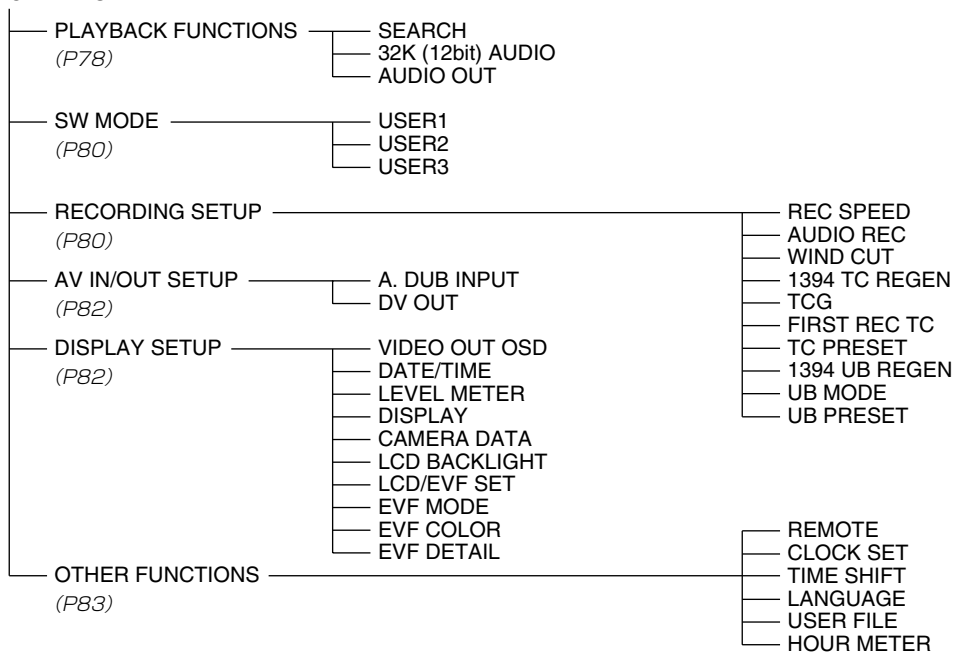


VCR モードのメニュー

日本語表示
VCRメニュー



英語表示
VCR MENU



シーンファイル (SCENE FILE) 画面

項目/ (表示モード)	設定内容
ファイルセンタク SCENE FILE (CAMERA)	<p>本機には、4つの撮影状況に応じた設定をシーンファイルとして保存されています。この項目では、使用するシーンファイルを選択します。</p> <p>1. SCENE1 : 各メニュー項目の設定値が工場出荷時のファイル。</p> <p>2. SCENE2 : 各メニュー項目の設定値が工場出荷時のファイル。</p> <p>3. B.PRESS : 暗い部分のコントラストをよりシャープに撮影するときに適したファイル。</p> <p>4. MOVIE-LIKE : 映画感覚の映像を撮影するときに適したファイル。</p> <p><ノート> シーンファイルは、ファイル設定 (SETTING) 項目で、好みの設定値に変更することができます。</p>
ファイル設定 SETTING (CAMERA)	<p>シーンファイルの設定内容を変更します。</p> <p>ディテール (DETAIL LEVEL) : -7...0...+7 -方向にすると、映像の輪郭がソフトになります。 +方向にすると、映像の輪郭が強調されてシャープな映像になりますが、ノイズも多少増えます。</p> <p>イロレベル (CHROMA LEVEL) : -7...0...+7 -方向にすると、映像の色が薄くなります。 +方向にすると、映像の色が濃くなります。</p> <p>シキソウ (CHROMA PHASE) : -7...0...+7 色合いを調整します。</p> <p>イロオンド (COLOR TEMP) : -7...0...+7 -方向にすると、全体に赤みがかった映像になります。 +方向にすると、全体に青みがかった映像になります。</p> <p>ベデスタル (MASTER PED) : -15...0...+15 -方向にすると、全体に暗い映像になります。-5よりも低くした場合、映像の暗い部分が、黒つぶれを起こすことがあります。 +方向にすると、映像の黒い部分 (影の部分など) が明るくなります。</p> <p>AEシフト (AE SHIFT) : -4...0...+4 オートアイリスの設定を調整します。 -方向にすると、暗い設定になります。 +方向にすると、明るい設定になります。</p>

項目/ (表示モード)	設定内容
	<p>スキンディテール (SKIN TONE DTL) : 切 (OFF) 入 (ON) 入 (ON) にすると、人物を撮影したときにソフトな肌を表現して、人物をより美しく見せます。</p> <p>ドウガモード (REC MODE) : <u>ノーマル (NORM)</u> フィールド記録 (1秒間に60コマ) で撮影を行います。 フレーム (FRAME) フレーム記録 (1秒間に30コマ) で撮影を行います。 静止画を再生するときなど、高画質の映像を得ることができます。</p>
ファイルメイ設定 NAME EDIT (CAMERA)	<p>選択されているシーンファイルのファイル名を編集します。</p>
ホゾン・ショキカ SAVE/INIT (CAMERA)	<p>ホゾン (SAVE) : 変更したシーンファイル (ファイル選択項目内のファイル) の設定値を、保存します。 ホゾン (SAVE) を行わないで、メニューモードを解除した場合や VCR モードに切り替えたとき、また、電源を OFF にしたときは、シーンファイルの設定値が、元に戻ります。</p> <p>ショキカ (INITIAL) : 選択されているシーンファイルの設定値を、工場出荷時の状態に戻します。</p>

カメラキノウ (CAMERA SETUP) 画面

項目/ (表示モード)	設定内容
シンクロスキャン SYNCRO SCAN (CAMERA)	<p>テレビ画面を撮影するときなどに使用するシンクロスキャンシャッタースピードの調整を行います。(P46, P47) <u>1/60.3</u>... 1/250</p>
ガク設定 ASPECT CONV (CAMERA)	<p>記録する映像のアスペクト比を選択します。(P43) <u>ヒョウジュン (NORMAL)</u>、 レターボックス (LETTER BOX)、 スクイーズ (SQUEEZE)</p>
セットアップ SETUP (CAMERA)	<p>セットアップレベル (黒レベル) の付加を設定します。 0% : セットアップレベルを付加しません。 7.5% : 7.5%のセットアップレベルを付加して記録します。</p>

_____ は、工場出荷時の設定値です。

メニューの構成 (つづき)

再生キノウ (PLAYBACK FUNCTION) 画面

項目/ (表示モード)	設定内容	項目/ (表示モード)	設定内容
アタマダシ SEARCH (VCR)	リモコンの INDEX ボタン (▶▶) または ◀◀ を押したときの動作を設定します。 フォト (PHOTO) : フォトサーチを行います。(P56) シーン (SCENE) : インデックスサーチを行います。(P56)	音声キリカエ AUDIO OUT (VCR)	テープを再生したときに、AV IN/OUT ジャックから出力する音声信号を設定します。 CH1・CH2 : CH1 出力 = CH1 信号 CH2 出力 = CH2 信号 CH1 : CH1 出力 = CH1 信号 CH2 出力 = CH1 信号 CH2 : CH1 出力 = CH2 信号 CH2 出力 = CH2 信号
32K (12bit) 音声 32K (12bit) AUDIO (VCR)	32K (12bit) 音声モードで記録されたテープを再生したときに、CH1 信号と CH2 信号として出力する音声を設定します。 ステレオ 1 (ST1) : 撮影時に記録した音声を選択します。 CH1 信号 = CH1 トラック CH2 信号 = CH2 トラック ステレオ 2 (ST2) : アフレコした音声を選択します。 CH1 信号 = CH3 トラック CH2 信号 = CH4 トラック ミックス (MIX) : 撮影時に記録した音声とアフレコした音声をミックスします。 CH1 信号 = CH1+CH3 トラック CH2 信号 = CH2+CH4 トラック <ノート> 48K (16bit) 音声モードで記録されている場合、CH3 と CH4 は存在しませんので、常に CH1 信号 = CH1 トラック CH2 信号 = CH2 トラック となります。		

_____ は、工場出荷時の設定値です。

32K (12 bit) 音声項目/音声キリカエ項目の設定と AV IN/OUT ジャックから出力される音声トラック

音声記録モード	32K (12 bit) 音声項目の設定	音声キリカエ項目の設定	AV IN/OUT ジャック CH1 出力	AV IN/OUT ジャック CH2 出力
32K (12 bit)	ステレオ 1 (ST1)	CH1・CH2 CH1 CH2	CH1 CH1 CH2	CH2 CH1 CH2
	ステレオ 2 (ST2)	CH1・CH2 CH1 CH2	CH3 CH3 CH4	CH4 CH3 CH4
	ミックス (MIX)	—	CH1+CH3	CH2+CH4
48K (16 bit)	—	CH1・CH2 CH1 CH2	CH1 CH1 CH2	CH2 CH1 CH2

スイッチモード (SW MODE) 画面

項目/ (表示モード)	設定内容
USER1 (CAMERA) (VCR)	<p>USER1 ボタンに割り当てる機能を、1つ選択することができます。</p> <p>■ カメラメニューモード (PUSH) AF+ZOOM : ワンプッシュズームを行います。 (P44)</p> <p>(PUSH) AF : マニュアルフォーカスモードで本機を操作しているときに、ボタンを押しているときだけオートフォーカスモードにします。</p> <p>WHITE BAL : ホワイトバランスを設定するときの WHITE BAL ボタンと同じ動きをします。 (P48, P49)</p> <p>AWB LOCK : オートホワイトバランスモードで本機を操作しているときにボタンを押すと、ボタンを押したときのホワイトバランスを維持したまま操作することができます。 (P48)</p> <p>BACKLIGHT : 逆光補正機能の ON/OFF を切り替えます。 (P44)</p> <p>SPOTLIGHT : スポットライト用のオートアイリス制御の ON/OFF を切り替えます。</p> <p>REC CHECK : レックチェックを行います。(P17)</p> <p>D. ZOOM : デジタルズームを行います。(P39)</p> <p>WHITEFADE : 撮影中にボタンを押し続けると、映像全体を白でフェードアウトします。このとき音声も同様にフェードアウトされません。 ボタンを離すと、逆に、白でフェードインしていきます。音声も同様にフェードインしていきます。</p> <p>BLACKFADE : 撮影中にボタンを押し続けると、映像全体を黒でフェードアウトします。このとき音声も同様にフェードアウトされません。 ボタンを離すと、逆に、黒でフェードインしていきます。音声も同様にフェードインしていきます。</p> <p>PHOTO SHOT : フォトショットの記録を行います。 (P42)</p> <p>INDEX : インデックス記録を行います。(P44)</p> <p>SNS : 本機を高感度撮影モードにします。 (P40)</p>

項目/ (表示モード)	設定内容
	<p>EVF DTL : ボタンを押すと、画面映像の輪郭が強調され、フォーカスが合わせやすくなります。このとき、画面中央に「EVF DTL ON」が約2秒間表示されます。なお、記録される映像は、輪郭が強調されない通常の映像になります。 再度、ボタンを押すと元の映像に戻ります。このとき、画面中央に「EVF DTL OFF」が約2秒間表示されます。</p> <p>LUMI-FLICK : 画面をちらつかせて、いかにも昔の撮影フィルムが回っているような感じの映像で記録します。</p> <p>AE LOCK : 本機を AE ロックモードにします。 (P44)</p> <p>■ VCR メニューモード BLANK SEARCH : ブランクサーチを行います。(P55)</p> <p>AUDIO DUB : アフレコを行うとき、リモコンの A. DUB ボタンと同じ動きをします。 (P61)</p> <p>INDEX : インデックス記録を行います。(P44)</p>
USER2 (CAMERA) (VCR)	<p>USER2 ボタンに割り当てる機能を、1つ選択することができます。 詳細は、USER1 項目を参照してください。</p> <p>■ カメラメニューモード (PUSH) AF+ZOOM、(PUSH) AF、AWB LOCK、BACKLIGHT、SPOTLIGHT、REC CHECK、D. ZOOM、WHITEFADE、BLACKFADE、PHOTO SHOT、INDEX、EVF DTL、LUMI-FLICK、AE LOCK</p> <p>■ VCR メニューモード BLANK SEARCH、AUDIO DUB、INDEX</p>
USER3 (CAMERA) (VCR)	<p>USER3 ボタンに割り当てる機能を、1つ選択することができます。 詳細は、USER1 項目を参照してください。</p> <p>■ カメラメニューモード (PUSH) AF+ZOOM、(PUSH) AF、AWB LOCK、BACKLIGHT、SPOTLIGHT、REC CHECK、D. ZOOM、WHITEFADE、BLACKFADE、PHOTO SHOT、INDEX、EVF DTL、LUMI-FLICK、AE LOCK</p> <p>■ VCR メニューモード BLANK SEARCH、AUDIO DUB、INDEX</p>

_____ は、工場出荷時の設定値です。

メニューの構成 (つづき)

スイッチモード (SW MODE) 画面

項目/ (表示モード)	設定内容
フォーカスリング FOCUS RING (CAMERA)	フォーカスリングに割り当てる機能を選択します。 ズーム (ZOOM) : 本機をオートフォーカスモードで操作しているときは、フォーカスリングでズーム操作を行うことができます。 シボリ (IRIS) : 本機をオートフォーカスモードで操作し、アイリス (絞り) をマニュアルで調整するときは、フォーカスリングでアイリス調整を行うことができます。 切 (OFF) : フォーカスリングでマニュアルフォーカスの調整だけを行います。
シボリホウコウ IRIS DIAL (CAMERA)	アイリス (絞り) をマニュアルで調整するとき、マルチダイヤルの回転方向とアイリス制御を設定します。 シタオープン (DOWN OPEN) : マルチダイヤルを下方方向に回したときに、絞りが開きます。 ウエオープン (UP OPEN) : マルチダイヤルを上方向に回したときに、絞りが開きます。
ズームモード ZOOM MODE (CAMERA)	モータードライブで行うレンズズームのスピードを設定します。(P39) ヒョウジュン (NORM) : 標準 コウソク (HIGH) : 高速 テイソク (LOW) : 低速
フロント録画ボタン キংশ FRONT S/S INHIBIT (CAMERA)	レンズ側の START/STOP ボタンによる記録動作を設定します。 切 (OFF) : 記録できます。 入 (ON) : 誤動作を避けるために、記録できないようにします。
SNS (CAMERA)	高感度撮影モードを選択します。(P40) IR, SUPER_IR, COLOR_NS
デジタルズーム D. ZOOM (CAMERA)	デジタルズームを行うときの倍率を選択します。(P39) x24, x160

記録設定 (RECORDING SETUP) 画面

項目/ (表示モード)	設定内容
記録モード REC SPEED (CAMERA) (VCR)	記録時間モードを選択します。 SP : SP (標準) モード LP : LP (長時間) モード
音声記録 AUDIO REC (CAMERA) (VCR)	デジタル音声の記録方式を選択します。 32K(12bit) : 12bit/32kHz (4 チャンネル) で音声を記録します。 アフレコを行っても撮影時の音声を残しておく場合は、このモードにしてください。 48K(16bit) : 16bit/48kHz (音質の良い 2 チャンネル) で音声を記録します。 アフレコを行うと、撮影時の音声が消えます。
ウインドNR WIND CUT (CAMERA) (VCR)	風の強いときなど、マイクに当たる風により発生するノイズを低減するときは、入 (ON) にします。 切 (OFF) 入 (ON)
ID 設定 ID SET (CAMERA)	ID 情報 (5 文字) を設定します。 設定された ID 情報は、カラーバーモードにしたときに表示されます。 ● 設定できる文字 □ (スペース) A ~ Z 0 ~ 9 : . /
日時記録 TIME STAMP (CAMERA)	表示設定画面の日时表示 (DATE/TIME) 項目 (P82) で設定した日付や時刻を映像としてテープに記録するときは、入 (REC) にします。 切 (NO-REC) 入 (REC)
1394 TC リジェネ 1394 TC REGEN (VCR)	DV 端子に接続している機器の信号を記録するとき、記録するタイムコードを選択します。 切 (OFF) : TCG 項目と FIRST REC TC 項目で設定されたタイムコードで記録します。 入 (ON) : DV 端子に入力されている信号のタイムコードで記録します。 ● この項目が入 (ON) に設定された場合、TCG 項目や FIRST REC TC 項目の設定よりも優先されます。 ● DV 端子に信号が入力されていないときは、TCG 項目と FIRST REC TC 項目の設定に従います。

_____ は、工場出荷時の設定値です。

メニューの構成 (つづき)

記録設定 (RECORDING SETUP) 画面

項目/ (表示モード)	設定内容
TCG (CAMERA) (VCR)	タイムコードを歩進させるモードを設定します。 フリーラン (FREE RUN) : 動作モードに関係なく、連続してタイムコードを歩進させます。 本機のカレンダーの時刻に合わせて、タイムコードを記録します。 レックラン (REC RUN) : 記録を行っているときだけ、タイムコードを歩進させます。 つなぎ撮りを行うテープに記録されているタイムコードに連続させて、タイムコードを記録します。
TC 記録モード FIRST REC TC (CAMERA) (VCR)	記録開始時に記録するタイムコードを選択します。 リジェネ (REGEN) : テープ上のタイムコードに連続するようにタイムコードを記録します。 TCG 項目の設定に関係なく、レックラン (REC RUN) モードでタイムコードを記録します。 プリセット (PRESET) : TC PRESET 項目で設定した値を初期値として、タイムコードを記録します。 ただし、つなぎ撮りを行ったときは、テープ上のタイムコードに連続するようにタイムコードを記録します。
TC プリセット TC PRESET (CAMERA) (VCR)	記録するタイムコードの初期値を設定します。 TC 記録モード (FIRST REC TC) 項目でプリセット (PRESET) を選択したときに有効になります。
1394 UB リジェネ 1394 UB REGEN (VCR)	DV 端子に接続している機器の信号を記録するとき、記録するユーザースピットを選択します。 切 (OFF) : UB MODE 項目で選択されているユーザースピットで記録します。 入 (ON) : DV 端子に入力されている信号のユーザースピットで記録します。 ● この項目が入 (ON) に設定された場合、UB MODE 項目の設定よりも優先されます。 ● ユーザースピット情報が無い信号の場合は、ユーザースピットを記録しません。 ● DV 端子に信号が入力されていないときは、UB MODE 項目の設定に従います。

項目/ (表示モード)	設定内容
UB モード UB MODE (CAMERA) (VCR)	ユーザースピットとして記録する内容を設定します。 ユーザー (USER) : ユーザーの情報を記録します。 時間 (TIME) : 記録した時刻を記録します。 日付 (DATE) : 記録した日付を記録します。 TCG : タイムコードを記録します。
UB プリセット UB PRESET (CAMERA) (VCR)	ユーザースピットを設定します。 ただし、UB モード (UB MODE) 項目でユーザー (USER) を選択している必要があります。
ワンショット録画 ONE-SHOT REC (CAMERA)	コマ撮り撮影を行うときは、入 (ON) にします。 切 (OFF) : コマ撮り撮影を行いません。 入 (ON) : コマ撮り撮影モードになります。 START/STOP ボタンを押すと、録画時間 (REC TIME) 項目で設定した秒数の記録を行い、REC PAUSE (記録一時停止) になります。
録画時間 REC TIME (CAMERA)	コマ撮り撮影を行うときの記録時間を設定します。 0.5s : 0.5 秒 1s : 1.0 秒 1.5s : 1.5 秒 2s : 2.0 秒

_____ は、工場出荷時の設定値です。

AV 入出力設定 (AV IN/OUT SETUP) 画面

項目/ (表示モード)	設定内容
アフレコ入力 A. DUB INPUT (VCR)	アフレコを行うときに、記録する音声を選択します。 マイク (MIC) : 内蔵のマイクロホンや外部マイクの音声を記録します。(P61) アナログ入力 (A_IN) : AV IN/OUT ジャックに接続したオーディオ機器の音声を記録します。 <ノート> 48K (16bit) 音声モードで記録されている場合、アフレコを行うと撮影時の音声を上書きして記録されます。
DV 出力 DV OUT (VCR)	入力されているアナログ信号をデジタル信号に変換して、DV 端子から出力するときは、入 (ON) にします。 <u>切 (OFF)</u> 入 (ON)

表示設定 (DISPLAY SETUP) 画面

項目/ (表示モード)	設定内容
ゼブラ設定 ZEBRA DETECT (CAMERA)	ゼブラパターンを表示する輝度レベルを設定します。 80%、85%、90%、95%、100%、105%
表示出力 VIDEO OUT OSD (CAMERA) (VCR)	画面に表示している情報を、AV IN/OUT ジャックからも映像と一緒に出力するときは、入 (ON) にします。 入 (ON) <u>切 (OFF)</u>
日時表示 DATE/TIME (CAMERA) (VCR)	画面表示と AV IN/OUT ジャックから出力する信号に、日付や時刻を表示する設定を行います。 <u>切 (OFF)</u> : 日付や時刻を表示しません。 時間 (TIME) : 時刻を表示します。 日付 (DATE) : 日付を表示します。 日時 (TIME&DATE) : 日付と時刻を表示します。 ● 切 (OFF) 以外に設定すると、AV IN/OUT ジャックから出力する信号には、表示出力 (VIDEO OUT OSD) 項目の設定に関係なく日付や時刻が表示されます。
レベルメーター LEVEL METER (CAMERA) (VCR)	オーディオレベルメーターを画面に表示するときは、入 (ON) にします。 <u>切 (OFF)</u> 入 (ON)
表示モード DISPLAY (CAMERA) (VCR)	画面に表示する情報量を設定します。 (P70) <u>切 (OFF)</u> 、 <u>カンタン (PARTIAL)</u> 、 <u>ショウサイ (ALL)</u>
カメラデータ CAMERA DATA (VCR)	入 (ON) に設定すると、テープを再生するときに撮影時のカメラ情報 (手ぶれ補正、絞り値、ゲイン値、ホワイトバランス情報) を表示します。 <u>切 (OFF)</u> 入 (ON) <ノート> 本機のカメラ情報が記録されたテープを他の機器で再生したときは、カメラ情報が正しく表示されないことがあります。
LCD バックライト LCD BACKLIGHT (CAMERA) (VCR)	液晶モニターのバックライトを調整します。 アカルイ (HI) に設定すると、通常より明るくなります。 アカルイ (HI) <u>ヒョウジュン (NORMAL)</u>

_____ は、工場出荷時の設定値です。

メニューの構成 (つづき)

表示設定 (DISPLAY SETUP) 画面

項目/ (表示モード)	設定内容
LCD/EVF チョウセイ LCD/EVF SET (CAMERA) (VCR)	ビューファインダーや液晶モニター映像の表示レベルを調整します。 LCD アカルサ (LCD BRIGHTNESS) : 液晶モニター映像の明るさを調整します。 LCD イロレベル (LCD COLOR LEVEL) : 液晶モニター映像の色濃度を調整します。 EVF アカルサ (EVF BRIGHTNESS) : ビューファインダー映像の明るさを調整します。
タイムンモード SELF SHOOT (CAMERA)	ミラー (MIRROR) に設定すると、対面撮影を行うときに液晶モニターの映像が左右反転して表示されます。 ノーマル (NORMAL) <u>ミラー (MIRROR)</u>
EVF モード EVF MODE (CAMERA) (VCR)	画面映像の切り替えを選択します。 入 (ON) : ビューファインダーには、常に映像を表示します。 <u>オート (AUTO)</u> : 液晶モニターを開くと、ビューファインダーの映像が消えます。
EVF カラー EVF COLOR (CAMERA) (VCR)	ビューファインダーの画面映像をカラーにすると、入 (ON) にします。 切 (OFF) : モノクロ表示 入 (ON) : カラー表示
EVF ディテール EVF DETAIL (CAMERA) (VCR)	入 (ON) に設定すると、ビューファインダー映像や液晶モニター映像の輪郭が強調され、フォーカスが合わせやすくなります。なお、記録される映像は、輪郭が強調されない通常の映像になります。 <u>切 (OFF)</u> 入 (ON)

ソノタ設定 (OTHER FUNCTIONS) 画面

項目/ (表示モード)	設定内容
リモコン REMOTE (CAMERA) (VCR)	付属のワイヤレスリモコンでの操作を設定します。(P28) <u>VCR1</u> : VCR1 用に設定されたリモコンでの操作を受け付けます。 <u>VCR2</u> : VCR2 用に設定されたリモコンでの操作を受け付けます。 切 (OFF) : リモコンでの操作を受け付けません。
DV コントロール DV CONTROL (CAMERA)	DV 端子にバックアップ用の機器を接続して、バックアップ記録を行う場合の制御方法を設定します。 <u>切 (OFF)</u> : バックアップ用の機器を制御しません。 <u>ガイブ (EXT)</u> : 本機の START/STOP ボタンで、バックアップ用の機器を制御します。本機で撮影している映像を、バックアップ用の機器で記録します。 ただし、本機は記録動作を行いません。 <u>ドウジ (BOTH)</u> : 本機で撮影している映像を、本機とバックアップ用の機器の両方で記録します。 <u>チェイン (CHAIN)</u> : 撮影中に本機のテープが終端付近になると、記録待機状態になっているバックアップ用の機器で、自動的に記録を開始します。
DV コマンドセレクト DV CMD SEL (CAMERA)	本機の START/STOP ボタンを押したときに、バックアップ用の機器が行う記録動作を設定します。 <u>イチジテイシ (REC P)</u> : 記録と記録一時停止に切り替わります。 <u>テイシ (STOP)</u> : 記録と停止に切り替わります。 <ノート> バックアップ用の機器に、記録一時停止の機能がいない場合は、STOP を選択してください。
撮影ランプ REC LAMP (CAMERA)	撮影時にタリーランプを点灯させるときは、入 (ON) にします。(P88) <u>切 (OFF)</u> 入 (ON)

_____ は、工場出荷時の設定値です。

メニューの構成 (つづき)

ソノタ設定 (OTHER FUNCTIONS) 画面

項目/ (表示モード)	設定内容
おしらせブザー BEEP SOUND (CAMERA)	<p>撮影の開始時と終了時、また、異常時の警告をビープ音で知らせるときは、入 (ON) にします。</p> <p><u>切 (OFF)</u> 入 (ON)</p> <p>ビープ音は、PHONES ジャックと AV IN/OUT ジャックからも音声信号として出力されます。このとき、内蔵マイクからの音声信号をミュートしてビープ音を出力します。</p> <p>[ビープ音 1 回]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● POWER レバーを ON の位置にしたとき ● 撮影を開始したとき <p>[ビープ音 2 回]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 撮影を一時停止したとき <p>[ビープ音連続 10 回]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● カセットテープが挿入されていないとき ● カセットテープが記録禁止状態のとき ● 本機内部に結露が発生したとき ● 本機に異常が発生したとき
日時設定 CLOCK SET (CAMERA) (VCR)	本機の内蔵カレンダーを設定します。
時サホセイ TIME SHIFT (CAMERA) (VCR)	<p>この項目で設定した時間を、内蔵カレンダーの時刻に加算 (時差補正) して、ビューファインダーや液晶モニターに表示します。また、テープにも、加算した時刻が記録されます。</p> <p>+ 23h … + 1h, <u>OFF</u>, - 1h … - 23h (1 時間ステップ)</p>
テープホゴ TAPE PROTECT (CAMERA)	<p>撮影一時停止の状態では、約 5 分が経過すると自動的に本機はテープ保護モードに入ります。この項目では、どのようなテープ保護モードにするかを選択します。</p> <p>デンゲンオフ (POWER OFF) : 本機の電源を OFF の状態にします。</p> <p>タイキ (STBY) : シリンダーヘッドを停止状態にします。</p>
メニュー LANGUAGE (CAMERA) (VCR)	<p>メニューの表示言語を切り替えます。</p> <p><u>エイゴ (ENGLISH)</u> <u>ニホンゴ (JAPANESE)</u></p>
IR ランプ IR LED (CAMERA)	<p>高感度撮影を行うときに使用する、IR ライトの制御を設定します。(P40)</p> <p>オート (AUTO) : 高感度撮影のモードに合わせて、IR ライトが点灯します。</p> <p>切 (OFF) : 高感度撮影のモードに関係なく、IR ライトが点灯しません。</p>

項目/ (表示モード)	設定内容
ユーザーファイル USER FILE (CAMERA) (VCR)	<p>ヨミコミ (LOAD) : 前回に保存していたメニュー (シーンファイル以外) の設定値を読み出します。</p> <p>ホゾン (SAVE) : 変更したメニューの設定値を保存します。</p> <p>ショキカ (INITIAL) : メニューの設定値を工場出荷時の状態に戻します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ホゾン (SAVE) を行わないで電源を OFF にしたときは、VCR モードのメニューは保存されますが、CAMERA モードのメニューの設定値は元に戻ります。 ● ヨミコミ (LOAD) やショキカ (INITIAL) を行ったときは、設定値を有効にするために、本機の POWER レバーを OFF の位置にし、再度 ON の位置にしてください。
シヨウ時間 HOUR METER (CAMERA) (VCR)	シリンダーヘッドの総回転時間 (時間単位で 5 桁) を表示します。


_____ は、工場出荷時の設定値です。

故障?と思ったら (Q&A)

電源関係

Q1 : 電源が入らない。
A1 : バッテリーやACアダプターは正しく接続されていますか。接続を確認してみてください。(P15、P27)

Q2 : 電源がかってに切れる。
A2 : バッテリーの消耗やテープの摩耗を防ぐために、撮影の一時停止状態が5分以上続くと、自動的に電源が切れます。ソノタ設定画面のテープホゴ項目を確認してください。(P84)

Q3 : 電源が入ってもすぐに切れる。
A3-1 : バッテリーが消耗していませんか。バッテリー残量表示が点滅していたり、 の表示が出ている場合は、バッテリーが消耗しています。バッテリーを充電するか十分に充電されたバッテリーを入れてください。(P26)

A3-2 : 結露が発生していませんか。寒い所から暖かい所にカメラレコーダーを持ち込んだときなど、内部に結露が発生することがあります。この場合は、自動的に電源が切れ、カセット取り出し以外の操作はできなくなります。結露がなくなるまでお待ちください。(P88)

バッテリー関係

Q1 : バッテリーの消耗が早い。
A1-1 : 十分に充電されていますか。ACアダプターのCHARGEランプが消灯するまで充電してください。(P26)

A1-2 : 低い温度の所で使っていませんか。バッテリーは、周囲の温度の影響を受けます。低い温度の所では、使用時間が短くなります。

A1-3 : バッテリーが寿命になっていませんか。バッテリーには寿命があります。寿命は使いかたによって変わりますが、十分に充電しても使用時間が短いときは、バッテリーの寿命です。

Q2 : バッテリーが充電できない。
A2-1 : DCコードがACアダプターに接続されていませんか。DCコードを接続していると充電できません。

通常記録時

Q1 : カセットテープを正しく入れているのに記録できない。

A1-1 : カセットテープの誤消去防止つまみが開いていませんか。カセットテープについている誤消去防止つまみが開いている(SAVE側になっている)と記録できません。(P21)

A1-2 : カセットテープの終端(テープの一番最後)位置になっていませんか。新しいテープに交換してください。

A1-3 : POWERレバーがONの位置になっていますか。

A1-4 : VCRランプが点灯していませんか。VCRモードのときは、撮影することができません。

A1-5 : 結露が発生していませんか。結露が発生していると、カセットテープの取り出し操作以外はできなくなります。結露がなくなるまでお待ちください。(P88)

A1-6 : AUTO OFF/T REEL LOCKが表示していると、テープが切断していることが考えられます。テープを確認してください。

A1-7 : ソノタ設定画面のDVコントロール項目を「ガイブ」に設定してバックアップ記録を行っているときに、外部機器がDV端子から外れていませんか。(P83)

いろいろな録画時

- Q1 : 自動でピントが合わない。**
A1-1 : 手動フォーカスモードになっていませんか。オートフォーカスモードにすると自動でピントが合います。
(P38、P45)
A1-2 : オートフォーカスモードでピントが合いにくい場面を撮影していませんか。オートフォーカスでは、ピントの合いにくい場面があります。この場合は手動フォーカスモードでピントを合わせることができます。
- ピントの合いにくい場面**
- 遠くと近くのもの撮る
 - 汚れたガラスの向こうのもの撮る
 - 暗い場所撮る
 - キラキラと光るもの周りにある
 - 動きの速いもの撮る
 - コントラストの少ないもの撮る
 - シャッタースピードを遅くして撮る

編集関係

- Q1 : アフレコができない。**
A1-1 : カセットテープの誤消去防止つまみが開いていませんか。誤消去防止つまみが開いている (SAVE 側になっている) と編集できません。(P21)
A1-2 : LP モードで撮影した部分に編集しようとしていませんか。LP モードでは、テープ上のトラック幅がヘッド幅より狭いため、アフレコはできません。

表示関係

- Q1 : タイムコード表示がおかしくなる。**
A1 : 逆スロー再生をすると、タイムコード表示のカウントが一定にならないときがありますが、故障ではありません。
- Q2 : テープ残量表示が実際のテープ残量と合わない。**
A2-1 : 30 秒以下の連続撮影では、残量表示が正確に出ません。
A2-2 : 実際のテープ残量より 2 ~ 3 分少ない表示が出る場合があります。

再生関係 (画像)

- Q1 : 再生ボタンを押しても再生できない。**
A1 : VCR ランプが点灯していますか。VCR ランプが点灯していないと、再生系の操作はできません。(P52)
- Q2 : 早送り再生、巻き戻し再生をすると、モザイク状のノイズが出る。**
A2 : デジタル特有の現象です。故障ではありません。
- Q3 : テレビと正しく接続しているのに再生画が出ない。**
A3 : テレビの入力切り替えが「ビデオ入力」になっていませんか。テレビ側の説明書をよくお読みになり、接続するビデオ入力端子を選んでください。
- Q4 : 再生画像がきれいに映らない。**
A4 : 本機のヘッドが汚れていませんか。ヘッドが汚れていると、再生画像がきれいに映りません。

再生関係 (音声)


- Q1** : 本機のスピーカーから再生音声が出ない。
- A1** : 本機の音量調整が小さくなりすぎていませんか。VCR モード時に、マルチダイヤルで音量を調整します。
(P53)
- Q2** : 音声が重なって聞こえる。
- A2** : 再生キノウ画面の 32K (12bit) 音声項目をミックスに設定していませんか。(P78)
記録設定画面の音声記録項目を 32K (12bit) に設定して記録したテープにアフレコ編集すると、記録時の音声と後から録音した音声が重なって聞こえます。(P80)
- Q3** : アフレコすると元の音声が消えてしまった。
- A3** : 記録設定画面の音声記録項目を 48K (16bit) に設定して撮影した部分にアフレコすると元の音声が消えてしまいます。元の音声も残したい場合は、撮影時に 32K (12bit) に設定して撮影してください。(P80)

その他

- Q1** : カセットテープの取り出しができない。
- A1** : 電源の供給はされていますか。AC アダプターやバッテリーが正しく入っていますか。
電源が供給されていると、POWER レバーを ON の位置にしなくてもカセットを取り出すことができます。
- Q2** : カセットの取り出し操作以外なにもできない。
- A2-1** : 結露が発生していませんか。結露が発生していると、カセットテープの取り出し操作以外はできなくなります。結露がなくなるまでお待ちください。(P88)
- A2-2** : EJECT スイッチをスライドさせてカセットカバーを開いた後、すぐにカセットカバーを閉じると、イジェクト以外の操作が、行えなくなることがあります。
このときは、再度、EJECT スイッチをスライドさせてカセットカバーを開き、カセットメカニズムがイジェクト動作を完了したことを確認してから、カセットカバーを閉じてください。
- Q3** : リモコンが働かない。
- A3-1** : リモコンのボタン電池が消耗していませんか。リモコンを本機のリモコンセンサーの近くで操作しても動作しない場合は、ボタン電池が消耗しています。新しいボタン電池と交換してください。(P28)
- A3-2** : リモコンの設定は合っていますか。
リモコンとカメラレコーダー本体のリモコン項目が合っていないと、リモコンを操作しても動作しません。
(P28、P83)
- Q4** : 本機を前後に傾けたときに、カタカタと音がする。
- A4** : VCR モードのときや、POWER レバーが OFF の位置ときは、カメラ部の構造にカタカタと音がする部分があります。故障ではありません。

結露

内部に結露が起こったときの見わけかたと処置のしかた

カメラレコーダーの電源を入れた後、結露表示マークが点滅したら、カメラレコーダー内に結露が起こっています。この場合、数秒間経過すると自動的に電源が切れます。

次の処置をしてください。

① カセットを出します。

その他の機能は働きません。結露の状態によっては、カセットが出せない場合があります。この場合は、2～3時間待ってから出してください。

② カセットホルダーを開けたまま、2～3時間待ちます。

待ち時間は、結露の状態や周囲の温度により異なります。

③ 2～3時間後、電源を入れて、結露表示が消えているかどうかを確かめます。

結露表示が消えていても念のため1時間ほど待ってから使ってください。

結露表示が出る前にも結露にご注意ください。

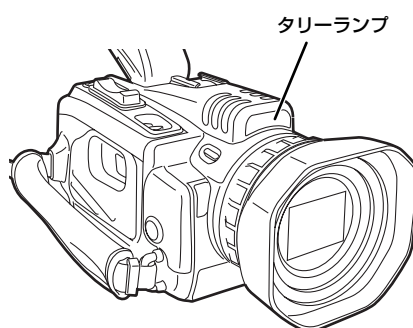
- 結露は徐々に進行しますので、内部で結露が始まってから10～15分間は、結露表示が出ない場合があります。
- 特に温度が低い寒冷地では、露が凍結し、霜になることがあります。このような場合は、霜が溶けて露になるまでさらに2～3時間ほどかかります。

タリーランプ

ソノタ設定画面の撮影ランプ項目 (P83) を「入」に設定すると、撮影時にタリーランプを点灯させることができます。

また、本機が下記の状態のときは、タリーランプが点滅します。

- バッテリーの残量が少なくなったとき
- テープの残量が少なくなったとき
- テープ走行系の異常が発生したとき
- リモコンの操作を受信したとき
- 撮影状態に切り替わるとき



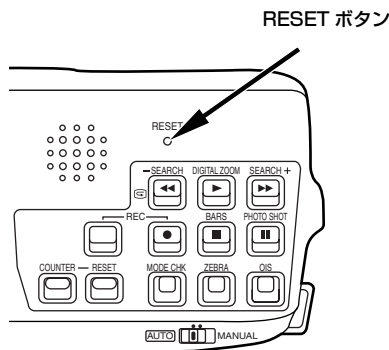
システムリセット

電源が入っているのに操作できないなど、トラブルがおこったときは、システムマイコンのリセットを行います。

カメラレコーダー本体の RESET ボタンを先の細いもので押してください。システムマイコンのリセットを行います。

リセットを行っても、確定したメニューの値や、メモリーしている内容は、消えません。

本機が正常に動作しているときは、押さないでください。



ビデオヘッド

ビデオヘッドがよごれていると、再生したときに部分的にモザイク状のノイズが出たり、画像全体が青くなります。

よごれがひどくなると、録画能力が低下し、最悪の場合は録画ができなくなります。

ヘッドよごれが起こる原因

- 空気中のほこりの多さ。
- 高温、多湿な環境。
- テープの傷。
- 長時間の使用。

クリーニングカセットテープを使う

- ① クリーニングテープをカメラレコーダに挿入し、POWER レバーを ON の位置にします。
- ② POWER レバーを MODE の位置まで回し、VCR ランプが点灯していることを確認します。
- ③ ▶ ボタンを押し、10 秒経過してから、■ ボタンを押します。
(このときテープは巻き戻さないでください。)
- ④ クリーニングテープを取り出し、他のテープで試しに録画・再生をし、画像をチェックします。
- ⑤ 映像が鮮明でない場合、①～④の手順を繰り返します。
(クリーニングテープは 4 回以上続けて使用しないでください。)

- クリーニングテープは途中で巻き戻さないでください。テープの最後で巻き戻し、テープの始めから同様にもう一度使ってください。
- クリーニングしてもすぐにヘッドが汚れるときはテープが劣化している場合がありますので、直ちに使用を中止してください。
- クリーニングテープを使いすぎると、ヘッド摩耗の原因になります。摩耗すると、ヘッドをクリーニングした直後でも映像がきれいに再生されません。
- クリーニングテープを使用してもヘッド汚れが改善されない場合は、販売店で掃除・修理が必要です。販売店にご相談ください。

定期点検

美しい画像をご覧いただくために、ビデオヘッドなどの摩耗部品を、およそ使用 2,000 時間を目安に交換されることをおすすめします。
(ただし、温度、湿度、ほこりなどの使用環境によって、この時間は大幅に異なります。)

お手入れについて

お手入れの際は、ベンジンやシンナーを使わないでください。

- ベンジンやシンナーを使うと、カメラレコーダー本体が変形したり、塗装がはげるおそれがあります。
- お手入れの際は、バッテリーを外しておくか、AC コードをコンセントから抜いておきます。
- 柔らかい、清潔な布でカメラレコーダーを拭いてください。汚れがひどいときは、水でうすめた台所用洗剤にひたした布で汚れを拭き、乾いた布で仕上げてください。

故障・修理・お取扱い・メンテナンス

などのご相談は、まず、

お買い上げの販売店

へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。

※ 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みいただいた上、大切に保存してください。

万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

ただし、下記の部品につきましては、保証期間内でも使用時間による保証となります。

メカニズムユニット：2,000 時間

■ 補修用性能部品

当社では、デジタルビデオカメラレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8 年間保有しています。

※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 定期メンテナンス（保守・点検）

定期メンテナンス（保守・点検）は、お客様が安心して機器をご使用いただくために、定期的に必要なメンテナンスを行い、機器の機能を常に良好な状態に維持するためのものです。

部品の劣化、ゴミ、ホコリの付着などによる突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能を維持するために、定期メンテナンスのご契約を推奨いたします。

なお、メンテナンス実施の周期、費用につきましては、機器のご使用状況、時間、環境などにより変化します。

定期メンテナンス（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認の上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

◆ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは、保証書をご覧ください。

◆ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。


ご連絡いただきたい内容

品名	デジタルビデオカメラレコーダー
品番	AG-DVC30
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

定格

【総合】

電源電圧	DC7.2 V/7.9 V
消費電力	5.0 W (ビューファインダー使用時) 6.1 W (液晶モニター使用時)
XLR マイクロホンアダプター (AG-MYA30G)	
接続時の消費電力	6.2 W (ビューファインダー使用時) 7.4 W (液晶モニター使用時)

 は安全項目です。

動作周囲温度

0℃～+40℃

動作周囲湿度

10%～85% (結露なし)

質量

1.05 kg (バッテリーや付属品を除く)

外形寸法 (幅×高さ×奥行き)

110×116×253 mm

ハンドルを取り付けたときは、高さが160 mmになります

記録フォーマット

デジタルビデオ SD仕様

テープフォーマット

Mini DV方式

記録ビデオ信号

525i (NTSC)

撮影モード

60i

記録オーディオ信号

PCM デジタル記録

16bit : 48kHz/2ch

12bit : 32kHz/4ch

記録トラック

デジタル・ビデオ/オーディオ:

ヘリカルトラック

タイムコード:

ヘリカルトラック (サブコード領域)

テープスピード

SPモード : 18.812 mm/秒

LPモード : 12.555 mm/秒

記録時間 (AY-DVM60 使用時)

SPモード : 60分

LPモード : 90分

使用テープ

6.35 mm幅メタルテープ

早送り/巻き戻し時間

約140秒 (AY-DVM60 使用時)

撮像素子

CCD型固体撮像素子×3

(1/4インチ、インターライン型)

画素数

総画素 41万画素、有効画素 38万画素 (水平画素ずらし方式)

レンズ

LEICA DICOMAR 光学式手振れ補正レンズ、電動16倍ズーム、F1.6 (f=4.1～65.6 mm) (35 mm換算 : 39.5～632 mm)

色分解光学系

プリズム方式

NDフィルター

アイリス連動、自動ON/OFF

ゲイン切り替え

0/+3/+6/+9/+12/+15/+18dB

シャッタースピード

スローシャッタースピード

1/4、1/8、1/15、1/30秒

通常のシャッタースピード

1/60、1/100、1/120、1/180、

1/250、1/350、1/500、1/750、

1/1000、1/1500、1/2000、1/3000、

1/4000、1/8000秒

シンクロスキャンシャッタースピード

1/60.3～1/250秒

最低被写体照度

4 lux :

F1.6、ゲイン+18dB、映像出力50 IRE

レンズフード

広視野大型レンズフード

フィルター径

43 mm

液晶モニター

3.5インチ、液晶カラーモニター、20万画素

ビューファインダー

0.44インチ、液晶カラービューファインダー、18万画素

内蔵マイク

ステレオマイクロホン

内蔵スピーカー

20 mm丸形

【ビデオ】

サンプリング周波数

Y : 13.5MHz、PB/PR : 3.375MHz

量子化

8bit

ビデオ圧縮方式

DCT + 可変長符号

エラー訂正

リードソロモン積符号

【オーディオ】

サンプリング周波数

48kHz/32kHz

量子化

16bit/12bit

周波数特性

20Hz ~ 20kHz

ワウ・フラッター

測定限界値以下

【コネクター部】

MIC

ステレオ (3.5 mm 径)、
マイク感度 : - 70 dBV

S-VIDEO IN/OUT (入出力自動切り替え)

S 端子、Y/C セパレート信号入出力、
Y : 1.0 V [p-p]、C : 0.286 V [p-p]、
75 Ω

AV IN/OUT (入出力自動切り替え)

ミニジャック (3.5 mm 径)
ビデオ :
アナログ・コンポジット入出力、1.0 V [p-p]、
75 Ω

オーディオ (CH1、CH2) :
入力 : - 10 dBV、ハイインピーダンス
出力 : - 10 dBV、ローインピーダンス

XLR ADAPTER

専用ミニ XLR 端子

電源 (INPUT 7.9 V)

DC 7.9 V

PHONES

ステレオ (3.5 mm 径)

DV

4 ピン、デジタル入出力、IEEE1394 規格に
準拠

CAM REMOTE

ミニジャック (2.5 mm 径)

【AC アダプター】

定格入力 100V - 240V、50/60HZ

定格出力 8.4V、1.2A (充電時)
7.9V、1.4A (電源供給時)

入力容量

23VA (100V) /32VA (240V) 充電時
25VA (100V) /35VA (240V) 電源供給時

 は安全項目です。

質量

160 g

外形寸法 (幅×高さ×奥行き)

70 × 44.5 × 116 mm

【別売周辺機器】

ワイドコンバージョンレンズ

AG-LW4307P

ステレオマイクロホン

AG-MC15P

XLR マイクロホン

AG-MC100G

XLR マイクロホンアダプター

AG-MYA30G

IR ライト

AG-YRL30G

ハードキャリングケース

AG-HT30G

ソフトキャリングケース

AG-SC100G

バッテリー

VW-VBD33 (1500 mAh : 付属のバッテ
リーと同等品)
VW-VBD35 (2700 mAh)
VW-VBD55 (5400 mAh)

AC アダプターキット

AG-B15 (付属の AC コード・DC コー
ド・AC アダプターと同等品)

クリーニングテープ

AY-DVMCL

松下電器産業株式会社 システム事業グループ

☎ 571-8503 大阪府門真市松葉町 2 番 15 号 ☎ (06) 6901 - 1161